

豊春小学校外 7 校避難所空調設備設置工事 (宮川小学校)

[illegible]

(図面サイズ：A1版、A3版は50%縮小)

[illegible]

② 仮設工事	1 騒音・粉じん等の対策	② 足場等	「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の(1)手すり据置き方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。	外部足場 ○設置する（設置範囲○図示・・） 防護ネット等○設置する（設置範囲○図示・・） 内部足場○設置する（※脚立、足場板等○図示・・） 材料、撤去材等の運搬方法 種別（・A種・B種・C種・D種・E種） ○種：利用可能なエレベーター（○図示・・） D種：利用可能な階段（○図示・・打合せによる）	③ 既存部分の養生	4 仮設間仕切り	5 監督員事務所	⑥ 現場表示板	⑦ 工事用水	⑧ 工事用電力	⑨ 工事用搬入路	⑩ 仮囲い	⑪ 交通誘導員	12 快適トイレ	A 仮設物	B 火元責任者	C その他	① 解体施工	B建設廃棄物の処理	① 一般事項	② 再資源化等（再資源化及び縮減）	3 再資源化し、現場で利用する建設廃棄物	4 産業廃棄物広域認定制度の活用	5 最終処分	6 処理に注意を要する建設廃棄物	⑦ 舗装版切断時に発生する濁水の処理	① 施工調査	2 分析調査	3 特別管理産業廃棄物の処理	4 PCBを含む機器類	5 PCB含有シ-リング材	6 ダイオキシン類	① 石綿含有建材の事前調査	2 石綿含有分析調査	3 石綿粉じん濃度測定	⑨ その他	E 特殊な建設副産物の処理	1 施工調査	2 回収及び処分	分析調査を行う特殊な建設副産物の種類	採取する部位・箇所数	備 考	回収又は処分機械設備図による	回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類	備 考	① 騒音・粉じん等の対策	② 足場等	「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の(1)手すり据置き方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。	外部足場 ○設置する（設置範囲○図示・・） 防護ネット等○設置する（設置範囲○図示・・） 内部足場○設置する（※脚立、足場板等○図示・・） 材料、撤去材等の運搬方法 種別（・A種・B種・C種・D種・E種） ○種：利用可能なエレベーター（○図示・・） D種：利用可能な階段（○図示・・打合せによる）	③ 既存部分の養生	4 仮設間仕切り	5 監督員事務所	⑥ 現場表示板	⑦ 工事用水	⑧ 工事用電力	⑨ 工事用搬入路	⑩ 仮囲い	⑪ 交通誘導員	12 快適トイレ	A 仮設物	B 火元責任者	C その他	① 解体施工	B建設廃棄物の処理	① 一般事項	② 再資源化等（再資源化及び縮減）	3 再資源化し、現場で利用する建設廃棄物	4 産業廃棄物広域認定制度の活用	5 最終処分	6 処理に注意を要する建設廃棄物	⑦ 舗装版切断時に発生する濁水の処理	① 施工調査	2 分析調査	3 特別管理産業廃棄物の処理	4 PCBを含む機器類	5 PCB含有シ-リング材	6 ダイオキシン類	① 石綿含有建材の事前調査	2 石綿含有分析調査	3 石綿粉じん濃度測定	⑨ その他	E 特殊な建設副産物の処理	1 施工調査	2 回収及び処分	分析調査を行う特殊な建設副産物の種類	採取する部位・箇所数	備 考	回収又は処分機械設備図による	回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類	備 考	① 騒音・粉じん等の対策	② 足場等	「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の(1)手すり据置き方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。	外部足場 ○設置する（設置範囲○図示・・） 防護ネット等○設置する（設置範囲○図示・・） 内部足場○設置する（※脚立、足場板等○図示・・） 材料、撤去材等の運搬方法 種別（・A種・B種・C種・D種・E種） ○種：利用可能なエレベーター（○図示・・） D種：利用可能な階段（○図示・・打合せによる）	③ 既存部分の養生	4 仮設間仕切り	5 監督員事務所	⑥ 現場表示板	⑦ 工事用水	⑧ 工事用電力	⑨ 工事用搬入路	⑩ 仮囲い	⑪ 交通誘導員	12 快適トイレ	A 仮設物	B 火元責任者	C その他	① 解体施工	B建設廃棄物の処理	① 一般事項	② 再資源化等（再資源化及び縮減）	3 再資源化し、現場で利用する建設廃棄物	4 産業廃棄物広域認定制度の活用	5 最終処分	6 処理に注意を要する建設廃棄物	⑦ 舗装版切断時に発生する濁水の処理	① 施工調査	2 分析調査	3 特別管理産業廃棄物の処理	4 PCBを含む機器類	5 PCB含有シ-リング材	6 ダイオキシン類	① 石綿含有建材の事前調査	2 石綿含有分析調査	3 石綿粉じん濃度測定	⑨ その他	E 特殊な建設副産物の処理	1 施工調査	2 回収及び処分	分析調査を行う特殊な建設副産物の種類	採取する部位・箇所数	備 考	回収又は処分機械設備図による	回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類	備 考	① 騒音・粉じん等の対策	② 足場等	「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の(1)手すり据置き方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。	外部足場 ○設置する（設置範囲○図示・・） 防護ネット等○設置する（設置範囲○図示・・） 内部足場○設置する（※脚立、足場板等○図示・・） 材料、撤去材等の運搬方法 種別（・A種・B種・C種・D種・E種） ○種：利用可能なエレベーター（○図示・・） D種：利用可能な階段（○図示・・打合せによる）	③ 既存部分の養生	4 仮設間仕切り	5 監督員事務所	⑥ 現場表示板	⑦ 工事用水	⑧ 工事用電力	⑨ 工事用搬入路	⑩ 仮囲い	⑪ 交通誘導員	12 快適トイレ	A 仮設物	B 火元責任者
-----------	--------------	-------	--	---	-----------	----------	----------	---------	--------	---------	----------	-------	---------	----------	-------	---------	-------	--------	-----------	--------	-------------------	----------------------	------------------	--------	------------------	--------------------	--------	--------	----------------	-------------	---------------	-----------	---------------	------------	-------------	-------	---------------	--------	----------	--------------------	------------	-----	----------------	----------------------	-----	--------------	-------	--	---	-----------	----------	----------	---------	--------	---------	----------	-------	---------	----------	-------	---------	-------	--------	-----------	--------	-------------------	----------------------	------------------	--------	------------------	--------------------	--------	--------	----------------	-------------	---------------	-----------	---------------	------------	-------------	-------	---------------	--------	----------	--------------------	------------	-----	----------------	----------------------	-----	--------------	-------	--	---	-----------	----------	----------	---------	--------	---------	----------	-------	---------	----------	-------	---------	-------	--------	-----------	--------	-------------------	----------------------	------------------	--------	------------------	--------------------	--------	--------	----------------	-------------	---------------	-----------	---------------	------------	-------------	-------	---------------	--------	----------	--------------------	------------	-----	----------------	----------------------	-----	--------------	-------	--	---	-----------	----------	----------	---------	--------	---------	----------	-------	---------	----------	-------	---------

③防水改修工事

1 施工数量調査

8 塗膜防水

⑨シーリング

10 とい

11 アルミニウム製笠木

12 防水工事施工票

4外壁改修工事

⑤建具改修工事

1 改修工法

18 オーバーヘッドドア

19 ガラス

20 ガラスブロック

⑫ガラス用フィルム

⑥内装改修工事

2 降雨等に対する養生方法（とい共）

3 既存防水の処理

4 既存下地の処理

5 アスファルト防水

6 改質アスファルトシート防水

7 合成高分子系ルーフィングシート防水

シーリング改修工法の種類

①シーリング充填工法

・シーリング再充填工法

・拡張シーリング再充填工法

・ブリッジ工法

・ボンドブレイカー張り

・適用する

②適用しない

・適用する

③適用しない

シーリング材の種類・施工箇所

下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
アルミパネル廻り	SR-1

仕上げを行わない施工箇所

・図示による

シーリング材の目地寸法

※改修標準仕様書3.7.3(1)による

・図示による

・接着性試験

※簡易接着性試験

・引張接着性試験

注 練り混ぜた2成分形シーリング材は、1組の作業班が1日に行った施工箇所を1ロットとして、各ロットごとにサンプリングを行い、サンプリング試料を監督員に提出すること。

⑦改修範囲

2 既存床の撤去及び下地補修

3 既存壁の撤去及び下地補修

④施工一般

5 製材

6 造作用集成材

7 造作用単板積層材

⑧合板等

9 接合具等

⑩接着剤

11 防蟻・防蟻処理

12 内部間仕切輪組及び床組み

13 窓、出入口その他

14 軽量鉄骨天井下地

15 軽量鉄骨壁下地

⑪ビニル床シート

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲

※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

・図示

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲

※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

・図示

既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修

※既存のまま

・図示

ビニル床シート等の除去

※仕上げ材のみ（接着剤とも）

・図示の範囲

・除去範囲全て

合成樹脂塗床材の除去工法

・機械的除去工法

・目押し工法

コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。

改修後の床の清掃範囲

※改修箇所の室内

・図示

材料のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(イ)(ロ)による

・JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
壁下地	45×90 45×50	※2級	※A種・B種	・	・
		※2級	・	※A種・B種	・

・JAS 1083-6 製材・第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※1等	※10%以下	・	・
		・	・A種・B種	・	・
		※1等	※10%以下	・	・
		・	・A種・B種	・	・

・「合板の日本農林規格」による普通合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
アリーナ	※5.5 ①2.0	シナ	※1類・2類	・	②適用する ③適用しない

・「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	※2級以上 ・1級	・	※1類 ・特類	※C-0以上 ・	※12 ・	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・

造作材の化粧面の釘打ち

※隠し釘打ち

・釘頭埋め

・つぶし頭釘打ち

・釘頭現し

諸金物

※かすがい、座金、箱金物、短冊金物

（改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度）

（形状）

・材質：

接着剤のホルムアルデヒドの放散量

※F☆☆☆☆

間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）

※杉又は松

床組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）

※杉又は松

窓、出入口その他に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）

吊元材、水掛りの下枠及び敷居

※ひのき

その他

※松又は杉

野縁等の種類

屋外（※25形・19形）

屋内（※19形・25形）

屋外の形式及び寸法

野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔

・図示

周辺部の端からの間隔

・図示

野縁の間隔

・図示

既存の埋込みインサート

・使用する

・使用しない

あと施工アンカーの施工後の確認試験

・行う

試験箇所数

※屋内の場合、当該階において3箇所

（ ）箇所

引張試験にて確認する強度

※つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度

・（ ）N

・行わない

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法

※図示

・天井のふところから3.0mを超える場合の補強方法

※図示

・天井下地材における耐震性を考慮した補強

補強箇所

※図示

補強方法

※図示

スタッド、ランナーの種類

※表6.7.1]により「スタッドの高さによる区分」に応じた種類

・図示

スタッドの高さが5mを超える場合

※図示

出入口及びこれに準じる開口部の補強

※表6.7.4] (5)による

⑬ビニル床タイル

材質の種類

・軟質

・硬質

・床シート巻上げ（端部の処理は図示による）

高さ (mm)

※60

・75

・100

厚さ (mm)

※1.5以上

種類

・単層品

・積層品

色柄

（ ）

厚さ (mm)

・3.0

・4.5

・6.0

・9.0

寸法 (mm)

（ ）×（ ）

18 特殊機能床材

19 ビニル幅木

20 ゴム床タイル

21 カーベット敷き

22 合成樹脂塗床

23 フローリング張り

24 畳敷き

⑭せっこうボード

その他のボード張り

⑯ビニル床シート

種類の記号

色柄

厚さ (mm)

備考

※FS（複層ビニル床シート）

・無地

・柄物

※2.0

①2.5

接合部の処理

※熱溶接工法

・

種類の記号

色柄

厚さ (mm)

備考

※FS（複層ビニル床シート）

・無地

・柄物

※2.0

・2.5

接合部の処理

※熱溶接工法

・

種類の記号

色柄

寸法 (mm)

厚さ (mm)

備考

※KT（コバシシボビニル床シート）

・無地

・柄物

・300×300

・450×450

※2.0

・3.0

・TT（単層ビニル床シート）

・無地

・柄物

・300×300

・450×450

・2.0

・

・FT（複層ビニル床シート）

・無地

・柄物

・300×300

・450×450

・2.0

・2.5

・3.0

・FOA（置敷きビニル床シート）

・無地

・柄物

・500×500

・4.0

・

・FOB（薄型置敷きビニル床シート）

・無地

・柄物

・

材質の種類

・軟質

・硬質

・床シート巻上げ（端部の処理は図示による）

高さ (mm)

※60

・75

・100

厚さ (mm)

※1.5以上

種類

・単層品

・積層品

色柄

（ ）

厚さ (mm)

・3.0

・4.5

・6.0

・9.0

寸法 (mm)

（ ）×（ ）

18 特殊機能床材

19 ビニル幅木

20 ゴム床タイル

21 カーベット敷き

22 合成樹脂塗床

23 フローリング張り

24 畳敷き

⑭せっこうボード

その他のボード張り

⑮木質系セメント板

種類

厚さ (mm)、規格等

・硬質 (HW)

・15

・20

・25

・

・中質 (MW)

・15

・20

・25

・

・普通 (NW)

・15

・20

・25

・

木片セメント板

種類

厚さ (mm)、規格等

・硬質 (HF)

・12

・15

・18

・21

・

・普通 (NF)

・30

・

繊維強化セメント板

種類

厚さ (mm)、規格等

①けい酸カルシウム板

普通ボード0.8FKタイプ2（無石綿）

・5

②6

・8

・化粧化粧けい酸カルシウム板

普通ボード0.8FKタイプ2（無石綿）

・6

・8

表面への化粧張り等の加工

・アクリル樹脂系塗付け

吸音材料

種類

厚さ (mm)、規格等

・ロックウール化粧吸音板 (DR)

・フラットタイプ

・（ ）9（不燃）

・12（不燃）

・

・凹凸タイプ

・（ ）12（不燃）

・15（不燃）

・

・ロックウール吸音ボード1号

・25

・

・グラスウール吸音ボード32K

・25（ガラスクロス包）

・

26 壁紙張り

壁紙のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

・

⑬モルタル塗り

モルタル

・現場調査材料

・既調査材料

既製目地材

・設ける

施工箇所（ ）形状（※図示）

・

床目地

・設ける

目地割り

※2㎡程度（最大目地間隔3m程度）

・

・設けない

種類

※押し目地

壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理

※図示による

・

28 タイル張り

33 トイレブース

⑭手すり

材料の種類及び仕上げ

(20.2.6)

①SUS304

表面処理

※HL程度

・

・鋼製

表面処理

溶融亜鉛めっき

（※標準仕様書 表14.2.2による種別（ ）種）

②アルミニウム

表面処理

（※標準仕様書 表14.2.1による種別（ BC-1 種））

色合等

③標準色

（ ）

・特注色

（ ）

手すりの握り部分

材種	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考
・集成材（材種： ）	・リブ加工	・30程度・35程度・45程度	・	・
・アルミ製のドレール	・	・30程度・35程度・45程度	・	・
④ステンレス	・HL	①34φ	・42.7φ	外部 SUS手摺
・樹脂被膜タイプ	・	・34φ	・	内部 FAS手摺

35 階段滑り止め

36 黒板及びホワイトボード

37 表示

衝突防止表示

・設置場所

※図示による

・形状・寸法

（ ・30φ ）

・（ ・ステンレス製 ・塩ビシート ）

・設置しない

誘導標識、非常用進入口等の表示

※消法に適合する市販品

・

・サイン、ビクトグラフィ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等（案内用図記号はJIS Z 8210による）

※図示による

20.2.16

41 カーテン

形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付け箇所	備考
・シングル	・片引き	・手引き	・つまみひだ	・	・図示
・ダブル	・引分け	・ひも引き	・箱ひだ、片ひだ	・	・
	・電動	・	・アレンひだ	・	・

生地仕様

・消法で定める防火性能の表示があるもの

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用する場合は、⑬とする

暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり

※300mm以上

20.2.16

42 カーテンレール

材料による区分

※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材

・ステンレス製

強さによる区分

※10-90

・

・アルマイト

・

・形状

※角形

43 ブラインドボックス及びカーテンボックス

清幅×深さ (mm)

・90×150

・120×80

・120×150

・150×80

・図示

・集成材（仕上げ： ）

・アルミニウム製 押出し型材（市販品）

種別（標準仕様書表14.2.1）

・BC-1種

・BC-2種

・色合い

・標準色

（ ）

・特注色

（ ）

・鋼製（仕上げ： ）

44 天井点検口

材種	寸法	形式	外枠	内枠
※アルミニウム製	・450×450	・一般形	・屋内外用	・縁縁タイプ
・（豊野中）	・600×600	・	・屋内用	・目地タイプ
		・気密形	・	・目地タイプ

45 床点検口

52 収納家具

46 くつろぎマット

47 流し台ユニット

48 鋼製書架及び物品棚

49 屋内掲示板

50 洗面カウンター

51 防煙垂れ壁

日付

2023.9.1

署名

豊春小学校外7校避難所空調設備設置工事（宮川小学校）

特記仕様書3

図面No.

共通-03

10鉄筋工事	①鉄筋	鉄筋の種類(5.2.1) 種類 記号 呼び径 (mm) 備考 ○SD295 ※D16以下 室外機架台スロニブ SD345 ※D19以上 形状等(5.2.2) 種類 種類の記号 細目の形状、寸法、鉄筋の径 (mm) 使用部位 ・溶接金網 6×150×150 渡り廊下周囲土間 ・鉄筋格子 鉄筋の継手方法等(5.3.4) 部 位 継手方法 呼び径 (mm) 柱、梁の主筋 ・ガス圧接 ・機械式継手 ※D19以上 ・溶接継手 耐力壁の鉄筋 ・重ね継手 基礎、耐圧スラブ、土圧壁 ○重ね継手 ・ガス圧接 その他の鉄筋() ・重ね継手 継手位置 ・図示による (構造関係共通図 (配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7.3、8.1) 基礎梁主筋の継手位置 ・図5.2 ・図5.3 ・図5.4 ・図示による () 柱及び梁の重ね継手の長さ ・図示による () 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図)3(1)(㊴)) ・図示による () 柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所 に設ける部分の位置及び施工方法等 ・図示による () 鉄筋の定着長さ ・図示による () 機械式定着工法 適用場所 ・図示による () 種類 ・摩擦圧接接合 ・蝶合グラウト固定 ・板合グラウト固定 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 鉄筋の余長の長さ 構造関係共通図 (配筋標準図) による。これによらない箇所は図示による。 最小かぶり厚さ (目地底から算出を行う) ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図)4(1)表4.1) ・図示による () 柱及び梁の主筋にD29以上の使用 ・あり 適用箇所() 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分 (塩害等を受けるおそれのある部分等) ・あり 適用箇所() ・最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm ⑥各部配筋 ※図示による (5.3.7)	①コンクリートの種類等 ②セメント ③骨材 ④混和材料 ⑤打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 ⑥湿潤養生 ⑦コンクリートの仕上り ⑧打増し厚さ (打放し仕上げ部) ⑨型枠 ⑩軽量コンクリート 11 高コンクリート 12 暑コンクリート 13 マスコンクリート 14 無筋コンクリート ⑮コンクリートの単位水量測定	種類 (6.2.1) ※Ⅰ類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) ※Ⅱ類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート) 普通コンクリート (6.2.1～6.2.4) 設計基準強度 (N/mm ²) 気乾単位容積質量 (t/m ³) スランプ 適用箇所 24 2.3程度 ・15又は18 ・18 ○21 2.3程度 ○18 図示 ・ ・ ・ ・ 構造強度補正値 (S) (6.3.2) ※標準仕様書 表6.3.2による 補正値 S=3 (3月3日～7月10日、9月11日～11月18日) S=6 (7月11日～9月10日、11月19日～3月2日) ・ 種類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所 (※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352 J/g以下、かつ28日目で 402 J/g以下のものとする。 ・高炉セメントB種 [G] 適用箇所 (・1FLより下部 (立上り部含む)) ・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所 (・) アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A ・B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m ³ 以下) ○混和剤 (6.3.1) 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による 打継ぎの位置 (6.6.4) 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁・梁又は基礎の上端 ・図示による () 目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3(1)(㊴)による ・※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による () ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) ・図示による () 湿潤養生の期間 (6.7.2) ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 () 日 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.8.2) 種 別 適用箇所 ・A種 ※図示による () ・B種 ※図示による () ○C種 ※図示による () コンクリートの仕上りの平たんさ 種 別 適用箇所 ・a種 ※図示による () ・b種 ※図示による () ○c種 ※図示による () 打増し厚さ (6.8.1) ・打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 ・図示による () せき板の材料及び厚さ (6.8.2) ○合板 (※12mm) [G] コンクリート打設時の充填性の確保のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 ・図示による () ・MCR工法用シートの使用 適用箇所 ・図示による () 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 ・図示による () スリーブの材質・規格等 ・図示による () 存置期間及び取外し (6.8.4) ※標準仕様書6.8.4による ・普通エコセメントの場合 (※図示による ()) 本工事対象外 本工事対象外 本工事対象外 本工事対象外 本工事対象外 本工事対象外 本工事対象外 本工事対象外 実施要領 (1)単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(㊴)(g)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打放する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を書面(計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、ITF-メソッド又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。	①埋戻し及び盛土 (3.2.3) 埋戻し及び盛土の種類 (3.2.3) ・A種 適用場所 () ○B種 適用場所 () ・C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 () ・D種 適用場所 () 品質 細粒分 (75μm以下)の含有率 (重量百分率)の上限を50%未満とする。 ・六価クロム溶出試験結果報告 ・行う(再生品の場合) ・行わない 建設発生土の処理 (3.2.5) ・場外搬出適切処理 ○構内指示の場所にたい積 ・構内指示の場所に敷き均し 3 山留めの撤去 (3.3.3) 鋼矢板等の抜き跡 ・地盤の変形を防止する適切な措置を講ずる (3.3.3) 1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1)(表14.2.1) 種 別 施工箇所 (成形板、笠木、建具以外) ・AB-1種 ・AB-2種 ・AC-1種 ・AC-2種 ・BA-1種 ・BA-2種 ・BB-1種 ・BB-2種 ・BC-1種 ・BC-2種 ・C種 陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ・三次電解着色 ・シルバー ・アンバー ・ブラック系 ・特注色 () ・ブロンズ ・ステンカラー ・ 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2)(表14.2.2) 表面処理方法 種 別 施工箇所 (手すり、タラップ以外) ・A種 溶融亜鉛めっき ○B種 ○室内機架台 ・C種 ・D種 電気亜鉛めっき ・F種 3 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2～4)(表14.4.1) 野縁等の種類 屋外 (※25形 ・19形) 屋内 (※19形 ・25形) 屋外の形式及び寸法 野縁受、つりボルト及びびンサートの間隔 ・図示 ・図示 周辺部の端からの間隔 ・図示 野縁の間隔 ・つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示 ・天井のふところが3.0mを超える場合の補強方法 ※図示 ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示 屋外の軒天井、ピロティ天井の工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 スタッド、ランナーの種類 (14.5.3、4)(表14.5.1) ※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※標準仕様書14.5.4(5)による 5 金属成形板張り (14.6.2、3)(表14.2.1) 種別 製法 形状 板幅 (mm) 板厚 (mm) 表面処理 種別 色合い等 ・アルミニウム ・押出し・ロール JAL'ND'形 ・プレス パネル形 取付け用下地 ※標準仕様書14.4による ・図示 伸縮調整継手 ・設ける (施工箇所 ・図示) ・設けない 屋外の軒天井、ピロティ天井の工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 6 アルミニウム製笠木	29 間知石及びコンクリート間知ブロック積み ①路床 路床の材料 (22.2.2、3～5)(表22.2.1) 種別 材料 厚さ (mm) ○盛土 ・A種 ○B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G] ・凍上抑制層 ・再生クラッシャーラン [G] ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂 (標準仕様書表21.2.2による) ・フィルター層 ・川砂、海砂、良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下) ・ ・ (凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ・行わない 路床安定処理 安定処理の方法 ・安定処理工法 ・置き換え工法 添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 (・特号 ・1号) ・消石灰 (・特号 ・1号) 添加量 ・ kg/m ³ (目標QBR ・3以上) ・不織布 (ジオテキスタイル) 単位面積質量 ・ 60g/m ² 以上 厚さ (mm) ・ 0.5～1.0 引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・ 1.5×10 ⁻¹ ～1cm/sec以上 試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床土支持力比 (CBR) 試験 ・行う (箇所) ・行わない 現場CBR
--------	-----	--	--	--	--	---

電気設備工事特記仕様書

1 工事概要

1.1 工事名 建築工事特記仕様書による

1.2 工事場所 建築工事特記仕様書による

1.3 工期 建築工事特記仕様書による

1.4 工事科目（○印の付いたものを適用する）

○ 電灯設備 ○ 動力設備 ・ 電熱設備 ・ 雷保護設備 ○ 受変電設備 ・ 電力貯蔵設備 ・ 充電設備 ・ 構内情報通信網設備 ・ 構内交換設備 ・ 情報表示設備 ・ 映像、音響設備 ・ 拡声設備（非常放送設備） ・ 誘導支援、呼出し設備	・ テレビ共同受信設備 ・ テレビ電波障害防除設備 ・ 監視カメラ設備 ・ 駐車場管制設備 ・ 防犯、入退室管理設備 ・ 自動火災報知設備 ・ 自動閉鎖設備 ・ ガス漏れ火災警報設備 ・ 電話配管設備 ・ 中央監視制御設備 ・ 医療関係設備 ・ 昇降機設備
--	---

1.5 指定部分 ○ 無 ・ 有（ 工期：令和 年 月 日）

1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間（建設業法により必要になった場合）
建築工事特記仕様書による

1.7 建物概要
建築工事特記仕様書による

1.8 工事概要
建築工事特記仕様書による

1.9 同時期発注の関連工事 ※なし（ただし、工事対象エリアで施設管理委託受注者が作業を行う）

2 工事仕様

2.1 共通仕様

（1）この工事は特記仕様書、図面によるほか、春日市電気設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版）、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版）、公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（最新版）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に従い施工する。
なお、市営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。

（2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。

（3）法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。

2.2 特記仕様（特記事項の選択項目は、○印のついたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。
○ 印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。）

項 目	特 記 事 項
① 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図面に規定するもの又はこれと同等のものと する。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
② 施工条件	施工時間 建築工事特記仕様書による
③ 工事用電力・水	建築工事特記仕様書による
④ 工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることができる。
⑤ 足場・さんばし類	建築工事特記仕様書による ○本工事とする。
⑥ 監督員事務所	建築工事特記仕様書による
⑦ 保 険	建築工事特記仕様書による
⑧ 再使用機材	取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出する。
⑨ 建設リサイクル法の適用	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の適用について ※ 適用する（契約金額による） ・ 適用しない
⑩ 完成図書の電子納品	建築工事特記仕様書による
⑪ 発生材処理	引渡を要するもの以外は構外に搬出し、適切に処理する。 （構外搬出処理費は、※本工事 ・ 別途） （1）引渡しを要するもの（ ） （2）買取処分を要するもの（銅屑・鉄屑） （3）再生資源化を図るもの（蛍光管） 蛍光管等は再資源化施設等に搬出し、全てリサイクルするものとする。 （4）特別管理産業廃棄物（ ） ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。

⑫ 金属電線管の塗装

⑬ 鍵

⑭ 地中電線路

露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。
また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。
ただし、見えかかり部の塗装については監督員の指示による。
壁等の鍵は、既存壁の鍵と整合を極力図るものとする。
（1）管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。

敷き均し土	管 種 別
良質土	硬質ビニル電線管（VE） 耐衝撃性塩化ビニル管（HIVE） 波付硬質合成樹脂管（FEP） ポリエチレン被覆鋼管（PLP）

（2）地中電線路には、ケーブル埋設槽及び保護シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の保護シートは図面特記による。
（3）地中電線路の敷設は管路式とし、埋設深さは地表面（舗装する部分では路盤材下面）から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。
ハンドホール、ブルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路の種別、行先の表示を行う。
湿気の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。
上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。
屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじなし工法としてもよい。
漏電遮断機で保護されている回路と保護されていない回路のD種接地極が共用していない場合の接地線は、混触防止のため、緑色、緑・黄又は緑・色帯で区別する。
埋戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。
・ 構外搬出適切処理する。
契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、 ・ 使用できる。 ※使用できない。
再生砂使用に先立ち、1購入あたり1機体の六面クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。
設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 最新版」（独立行政法人建築研究所監修）による。
なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。
（1）設計用水平地震力
機器の重量[kgf]に、設計用水平震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 類（※1）	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6

【備 考】（※1）：水槽類には、オイルタンク等を含む。
重要機器
・ 配電盤 ・ 発電装置（防災用） ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置
・ 交換機 ・ 火災報知器受信機 ・ 中央監視装置 ・ 太陽光発電装置
上層階の定義は次による。
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
（2）設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。
施工は、（一社）日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。
金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。
接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。
（原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。）
あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。
既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。
電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。
本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。
（1）内部足場 ※ 脚立足場
（2）外部足場 ※ 建築工事特記仕様書による
※使用を要する 墜落制止用具の安全な使用に関するガイドライン（平成30年6月22日付け基発0622第2号）による
・ 使用を要しない

⑮ 回路の種別行先の表示

⑯ 電線の接続

⑰ 電線管の接続

⑱ 接地工事

⑲ 建設発生土の処理

⑳ 再生砂・再生アスコン

㉑ 耐震施工

㉒ あと施工アンカー

㉓ はつり及びあと施工アンカー打設

㉔ 改修部分の足場

㉕ 墜落制止用具（フルハーネス型）

㉖ 施工計画書

㉗ アスベスト事前調査結果の報告

㉘ その他

※施工に先立ち、次の施工計画書を提出し監督員の承認を受ける
※総合施工計画書（工程・品質・安全・環境配慮・仮設計画等を含む）
※工種別施工計画書
○電力設備工事 ○受変電設備工事 ・ 電力貯蔵設備工事
・ 発電設備工事 ・ 通信、情報設備工事 ・ 中央監視制御設備工事
・ 医療関係設備工事 ・ 昇降機設備工事
※その他監督員が必要と認めるもの
全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を実施し、アスベスト使用の有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告する。
（1）施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。
（2）本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製作する。
（3）本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。
（4）本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。
（5）特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。
（6）改修工事等を施工する場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。
（7）受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。
（8）本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。
（9）特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。
（10）工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。
以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

2.3 工事別一般事項（特記事項選択項目は、○印の付いたものを適用する）

項 目	特 記 事 項
① 電灯設備	（1）配線器具 スイッチ・壁付コンセント(2P15A)は運用形とする。なお、2ロコンセントは横式を使用してもよい。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。 ただし、市営住宅における住戸内のフラッシュプレートについては、樹脂プレートを使用することができる。 コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。 （2）照明器具 防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘導灯とし、関係法令に適合したものとする。 （3）照度測定 電灯設備工事に際し、新営工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定をJIS C 7612「照度測定方法」により、学校においては学校環境衛生基準により実施すること。 （4）分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 （5）継絆 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと仕上り面とが10mm程度以上離れる場合は継絆を使用する。ただし、ボード張りで、ボード表面と塗りしろカバーの間に離れないように施工した場合は、継絆を必要としない。 （6）位置ボックスの省略 ケーブルところがし配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略しても良い。 （1）動力制御盤及び開閉器箱の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷用送り端子台は1負荷につきU・V・W・Eの4Pを原則とする。 （2）電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。 受雷部突針はLR1とする。 （既存） 主 道 断 装 置 定格電圧 7.2kV 定格遮断電流 40kA 変圧器設備容量 動力用 100kVA× 1台 電灯用 75kVA× 1台 高圧直相コンデンサ 21.3kVar× 1台 （改修後） 主 道 断 装 置 定格電圧 7.2kV 定格遮断電流 14.4kA 変圧器設備容量 動力用 100kVA×2台（1台新設） 電灯用 75kVA×1台 高圧直相コンデンサ 21.3kVar× 2台 直列リアクトル ○6％ ・ 1.3％ 1.6kVar× 2台

5 構内情報通信網設備	
6 電力貯蔵設備	
7 発電設備	・ ディーゼル発電装置 ・ ガスエンジン発電装置 ・ ガスタービン発電装置 ・ マイクロガスタービン発電装置 ・ 燃料電池発電装置 ・ 熱併給(コージェネレーション)発電装置 ・ 太陽光発電装置 ・ 風力発電装置 ・ (概要)
8 構内交換設備	
9 自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、拡声設備（非常放送設備）	
10 昇降機設備	

2.4 取付高さ
壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

名 称	測 点	取付高さ（mm）	
		一 般	市営住宅
スイッチ（一般）	床上～中心	1,300	1,200
＂（身体障害者用）	＂	1,100	1,000
＂（人感センサー切換用）	＂	2,000	2,000
コンセント、電話用7Aトリプル、直列コンセント（一般）	＂	300	400
＂（和室）	＂	150	200
＂（台上）	台上～中心	150	500
防水型コンセント	床上～中心	500	500
分電盤、制御盤、開閉器箱	＂	(上端1,900以下)1,500	(上端1,900以下)1,500
呼出ボタン（身体障害者用）	＂	900	900
夜帰ボタン（ 〃 ）	＂	1,800	1,800
廊下表示灯（ 〃 ）	＂	2,000	2,000
端子盤	＂	(上端1,900以下)1,500	2,000

3 その他

3.1 他工事との取合区分
建築工事特記仕様書による

3.2 図面上の縮尺
建築工事特記仕様書による

3.3 疑義
本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

3.4 工事用図面
建築工事特記仕様書による

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書
建築工事特記仕様書による

		春日部市 学校教育課	日付 縮尺 A1：— A3：—	工事名称 豊春小学校外7校避難所空調設備設置工事（宮川小学校） 図面名称 特記仕様書6 電気設備工事	図面No. 共通-06
--	--	---------------	-----------------------	---	----------------

機械設備工事特記仕様書

I 工事概要

1 工事名称

建築工事特記仕様書による

2 工事場所

建築工事特記仕様書による

3 工期

建築工事特記仕様書による

現場施工期間

建築工事特記仕様書による

4 建物概要

建築工事特記仕様書による

5 工事種目（●印を付いたものを適用する。）

工事種目	
●空気調和設備	一式
●換気設備	一式
○排煙設備	
○自動制御設備	
○衛生器具設備	
○給水設備	
○排水設備	
○給湯設備	
○消火設備	
○厨房機器設備	
○ガス設備	

6 指定部分

※無・有

対象部分：

工期：令和 年 月 日

7 主任技術者又は監理技術者の専任期間（建設業法により必要になった場合）

建築工事特記仕様書による

8 工事範囲

図示のとおり

9 機械設備工事概要

建築工事特記仕様書による

10 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項は、電気設備工事は春日都市電気設備工事特別共通仕様書により、建築工事は春日都市建築工事特別共通仕様書による。

11 同時期発注の関連工事

※なし（ただし、工事対象エリアで施設管理委託受注者が作業を行う）

II 工事仕様

1 共通仕様

（1）この工事は特記仕様書、図面によるほか、春日都市機械設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）、公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（最新版）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に従い施工する。

なお、市営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。

（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。

（3）法令・基準・仕様書等は、原則として施工時ににおいて最新のものを適用する。

2 特記仕様

（1）章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。

（2）特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものがなければ、※印を適用し、・印のものは適用しない。○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。

章項目

① 機材等

本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注先を記載した報告書を監督員に提出すること。使用機材等については、7Aを含有の有無を確認し、7Aを含有機材は、使用しないこと。「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品目に該当する機材は、その判断基準、配慮事項を満たすこと。調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。

建築工事特記仕様書による

② 電気保安技術者

③ 施工条件

施工時間

建築工事特記仕様書による

④ 技能士の適用

・配管施工（配管工事） ・建築板金施工（風道制作及び取付け）

・熱絶縁施工（保温工事） ・冷凍空調調機器施工（冷凍空調機器の据付け）

⑤ 機材の検査及び試験、施工の検査及び試験

検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書及び特別仕様書による。

⑥ 監督員事務所

建築工事特記仕様書による

⑦ 官公署その他への届出手続等

工事の着手、施工、完成に当り、関係官公署などへの必要な届出手続等は受注者が代行し遅滞なく行う。

⑧ 工用電力・水等

建築工事特記仕様書による

⑨ 工用仮設物

すべて受注者の負担とし、構内につくることが ※できる ・できない

⑩ 足場・さんばし類

建築工事特記仕様書による ・本工事とする。

11 建設発生土の処理

埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。

・構外搬出適切処理する。

12 埋め戻し土・盛土

※根切土の中の良質土（但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類） ・山砂の類

13 再生砂、再生砕石、再生アスコン使用

契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、 ・使用できる。 ※使用できない。

再生砂の使用に先立ち、1購入あたり1機体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。

⑭ 発生材の処理等

※引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。

（構外搬出処理費は ※本工事 ・別途）

（1）引渡しを要するもの（ ）

（2）買取処分をするもの（ ）

（3）再生資源化を図るもの（ ・硬質塩化ビニル管 ・ ）

（4）特別管理産業廃棄物（ ）

※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。

⑮ 容量等の表示

（1）機器等の能力、容量等は表示された数値以上とする。

（2）電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。

16 配管

（1）地中埋設配管（排水管を除く）

1）地中埋設標（コンクリート製） ※要（図示の箇所） ・不要

2）地中埋設鉄（キャッツアイ） ※要（舗装部の分岐、曲部） ・不要

3）埋設表示テープ（2倍折込み） ※要 ・不要

⑰ 耐震施工

設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）を参考とする。

ただし、設計用地震力（水平及び鉛直）は次の設計用水平地震力K_h及び設計用鉛直地震力K_v（K_h／2）を用いて計算する。

設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。

設計用水平地震		耐震安全性の分類			
設置場所		特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.5	1.0	1.0
	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)	(1.5)
中間階	<2.0>	<1.5>	<1.5>	1.0	1.0
	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6
	(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)	(1.0)
1階及び地下階	<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>	<0.6>
	1.0	0.6	0.6	0.4	0.4
	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)	(0.6)

（注）（ ）内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。

< >内の数値は水槽類に適用する。

※上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階）

中間階とは地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの（平屋建の場合は無し）

重要機器は次のものを示す。

給水装置	排水装置	換気機器	空調機器	熱源機器
防災設備	監視制御設備	危険物貯蔵装置		
火を使用する設備	避難経路上に設置する機器			

⑰-1) あと施工アンカー

機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。

重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。

施工は、（一社）日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。

金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。

接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。

（原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。）

あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。

⑱ 防露保温工事

標準仕様書第2編によるほか下記による。

区分	施工箇所	保温種別
ドレシ管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・（ハ）・Ⅶ
	機械室、書庫、倉庫	b・（ハ）・Ⅶ
	天井内、PS内及び空腔隙中	c2・（ロ）・Ⅶ
	浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ

（注）1．冷媒管は、断熱材被覆銅管を使用し、外装は下記による。

屋内露出部 ※保温化難カバー（※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製）

屋外露出部 ※溶融アルミニウム亜鉛鍍板ラッキング ・SUSラッキング

・保温化難カバー（※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製）

2．施工種別Bの材料及び施工順序4、5に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。

3．機器類の保温材の種別は、（※グラスウール保温材 ・ロックウール保温材）とする。

19 防凍保温

20 塗装

下記の亜鉛メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。

※機械室、書庫、倉庫 ・

下記の金属電線管は塗装を行う。

※屋外露出 ※多湿箇所 屋内露出（※見えかぶり部 ・ ）

21 電線

表示なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。

ただし、自動制御設備に関わる配線は標準仕様書の自動制御設備の項による。

22 はつり及びあと施工アンカー打設

既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示した箇所についてX線撮影調査と実施すること。

電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。

23 管の埋設深さ

（1）公道上は、道路管理者の指定する深さとする。

（2）構内車両通路では、路盤材下面から管の上端まで600mmとする。

（3）その他の場所では、地表面（舗装する部分では路盤材下面）から管の上端まで300mmとする。

24 既設管分岐・接続

既設管に接続・分岐する場合は、原則として新設時の接合方法として標準仕様書に規定された工法による。

やむを得ずそれ以外の工法を採用する場合は監督員の承諾を受ける。

25 絶縁継手の設置・種別

※コンクリートの建築物に出入りする箇所の付近の露出部配管

※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分

※SOA以下は絶縁ユニオンとし、それ以上は絶縁フランジ ・全て絶縁フランジ

仕上表による

26 天井仕上げ区分

27 他工事との取合区分

28 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に帰属するものとする。

29 保険

建築工事特記仕様書による

30 配管識別

配管等の識別は、その方法等について監督員と協議のうえ行うこと。

31 墜落制止用器具（フルハーネス型）

※使用を要する 墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン（平成30年6月22日付け基発0622第2号）による

・使用を要しない

32 施工計画書

※施工に先立ち、次の施工計画書を提出し監督員の承認を受ける。

※総合施工計画書（工程・品質・安全・環境配慮・仮設計画等を含む）

※工種別施工計画書

○共通工事 ○空気調和設備工事 ・自動制御設備工事 ・給排水衛生設備工事

・ガス設備工事 ・さく井設備工事 ・浄化槽設備工事 ・昇降機設備工事

・機械式駐車設備工事 ・医療ガス設備工事

※その他監督員が必要と認めるもの

33 誘導電動機

三相誘導電動機はJISC4213（IE3）トップランナーモーターとする。

34 その他

完成図の表紙及び背景紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。

また、完成図の中に主要機器一覧表（名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等）を記載すること。

工事用図面

建築工事特記仕様書による

① 共通事項

改修工事で特別に付加すべき事項について指定するものとし、それ以外は本特記仕様書の一般共通事項による。

② 改修部分の足場

本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。

（1）内部足場 ※ 脚立足場 ・ 枠組足場 ・

（2）外部足場 建築工事特記仕様書による

③ 既存部分養生・既存家具等養生

（1）関係受注業者と共用部分

※別契約の関係受注業者が定着したものは無償で使用できる。

・本工事で負担とする。（種別は（2）による。）

（2）本工事で単独で必要となる養生は、下記による。

※ビニールシート ・合板 ・

④ 備品等の移動

・別途工事 ○本工事 ※接続配管等の取外し、接続は本工事

5 仮設間仕切り

建築工事特記仕様書による

●改修一般事項（付加事項）

⑥ 撤去後機材の扱い

（1）改修部分の機材は原則として撤去後新品に取替えるものとし、再使用する場合は図示区分による。

（2）撤去後再使用の指定がない機材のうち、撤去後使用価値を有するものは、現場発生品として監督員に報告する。

それ以外の機材は種類別に産業廃棄物として分別処分し、マニフェストを監督員に提出する。

⑦ 支持金物の再使用

（1）インサート金物 ・インサートの径毎に引張試験を行った場合は、再使用できる ※新品

（2）形鋼支持金物等 ・再使用できる ※新品

8 フロン回収

⑨ 総合調整

・全体再調整 ※改修部及び影響部のみ調整

⑩ 既設基礎等の解体はつり

建設機械は、原則として、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用すること。

現場内で使用する重機等は、解体建築物の位置及び規模に応じた機種及び規格のものを選定すること。

粉じんの飛散等により周辺環境に影響を及ぼさないよう適宜散水や粉じん発生源を覆うなど環境対策に配慮すること。

⑪ アスベスト事前調査結果の報告

全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石棉障害予防規則の事前調査を実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告すること。

⑫ その他

（1）図面上の縮尺は、JIS A1版、A3版とした縮尺とする。

（2）受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。

（3）特に騒音振動など周辺に基大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。

（4）F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について

F式温風暖房機の一時的取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（（一財）日本石油燃焼機器保守協会）が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時的取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。

日付

2024.12.13

図面A1:NO SCALE

A3:NO SCALE

工事名称

豊春小学校外7校避難所空調設備設置工事（宮川小学校）

図面名称

特記仕様書7 機械設備工事

図面No.

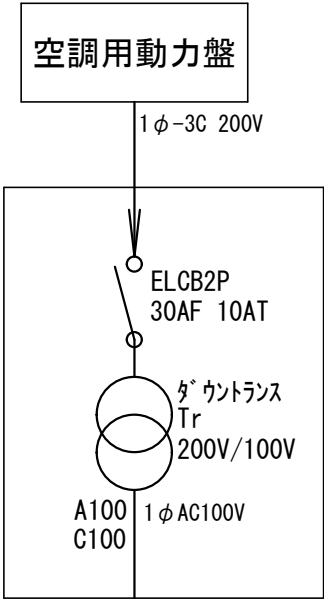
共通-07

● 空 気 調 和 設 備	① 設計温湿度	<table><tr><th colspan="2"></th><th colspan="2">外 気</th><th colspan="4">屋 内</th><th colspan="2"></th></tr><tr><th></th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th></th></tr><tr><td>夏 期</td><td>36.9℃</td><td>46.1%</td><td>28℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td></td></tr><tr><td>冬 期</td><td>0.6℃</td><td>50.7%</td><td>20℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td></td></tr></table> ※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。			外 気		屋 内							温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)		夏 期	36.9℃	46.1%	28℃	%	℃	%	℃	%		冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	%	℃	%	℃	%		● 換 気 設 備	1 長方形ダクト ※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分） 2 円形ダクト ※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製） ・硬質塩化ビニル管（VU） ・耐火二層換気管（大臣認定品） ※フレキシブルダクト（・保温付 ・保温無） (注)1 使用区分は図示による。 3 風量測定口 取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト 4 チャンパー （1）内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 （2）消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 （3）外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。 5 ダンパー （1）防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 （2）ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 6 多湿箇所の排気ダクト （1）排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管（VU） （防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火VP）を使用できる。 ※浴室（シャワー室、脱衣室を含む） ・ （2）水抜き管は（※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・ ）の排気ダクトには設ける 7 保 温 下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN・（ロ）・XIとする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※（※厨房 ・湯沸室 ・ ）用の隠蔽ぺい部ダクト（仕様はh・（イ）・Ⅹとし範囲は図示による） 風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ・する ※しない	● 自 動 制 御	1 中央監視制御装置 ・有り ※無し ② 構成・機能 図示による ③ 電気計装用機材 使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。 ④ 計装制御 カードタイマーにより発停を制御する。 仕様は別紙のとおり カードのメモリ書き込み、納品は本工事とする。	○ 排 水 設 備	1 配管材料 配管材料は ※下記 ・図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。 <table><tr><th></th><th>施 工 箇 所</th><th>管 種 別</th></tr><tr><td rowspan="4">雑排水配管</td><td>床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)</td><td>※RF－VP又はリサイクルVP ・VP</td></tr><tr><td>厨房等の温排水</td><td>※SGP（白） ・</td></tr><tr><td>耐火性能を要求される箇所</td><td>※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白）</td></tr><tr><td>その他の部分</td><td>※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td></tr><tr><td rowspan="2">汚水配管</td><td>床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)</td><td>※RF－VP又はリサイクルVP ・VP</td></tr><tr><td>耐火性能を要求される場所</td><td>※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・排水用/ナカパイプ塗装鋼管</td></tr><tr><td rowspan="6">共通</td><td>その他の部分</td><td>※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td></tr><tr><td>地中埋設部</td><td>※RS－VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管（ゴム輪接合） ※REP－VU（軽荷重の場合） ・RF－VP又はリサイクルVP ・VP</td></tr><tr><td>通気配管</td><td>耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVP又はRF－VP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td></tr></table> （注）1．リサイクルVP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-VP、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2．1．2．6による。 2．雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3．原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY45度で行う。 2 洗面器等の排水管 3 満水試験継手 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット 4 樹の適用 別紙樹表による。		施 工 箇 所	管 種 別	雑排水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP	厨房等の温排水	※SGP（白） ・	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白）	その他の部分	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	汚水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・排水用/ナカパイプ塗装鋼管	共通	その他の部分	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	地中埋設部	※RS－VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管（ゴム輪接合） ※REP－VU（軽荷重の場合） ・RF－VP又はリサイクルVP ・VP	通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVP又はRF－VP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書 建築工事特記仕様書による
			外 気		屋 内																																																																				
		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																																																
	夏 期	36.9℃	46.1%	28℃	%	℃	%	℃	%																																																																
	冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	%	℃	%	℃	%																																																																
		施 工 箇 所	管 種 別																																																																						
	雑排水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP																																																																						
		厨房等の温排水	※SGP（白） ・																																																																						
		耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白）																																																																						
		その他の部分	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																						
汚水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP																																																																							
	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・排水用/ナカパイプ塗装鋼管																																																																							
共通	その他の部分	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																							
	地中埋設部	※RS－VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管（ゴム輪接合） ※REP－VU（軽荷重の場合） ・RF－VP又はリサイクルVP ・VP																																																																							
	通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVP又はRF－VP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																							
	② 総合試運転調整	※本工事 ・別途 風量調整 ※する ・しない 水量調整 ・する ※しない 騒音の測定 ○する ※しない 室内外空気の温湿度の測定 ※する ・しない 室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ・する ※しない	● 目 的 制 御	1 中央監視制御装置 ・有り ※無し ② 構成・機能 図示による ③ 電気計装用機材 使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。 ④ 計装制御 カードタイマーにより発停を制御する。 仕様は別紙のとおり カードのメモリ書き込み、納品は本工事とする。	○ 排 水 設 備	1 配管材料 配管材料は ※下記 ・図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。 <table><tr><th></th><th>施 工 箇 所</th><th>管 種 別</th></tr><tr><td rowspan="4">雑排水配管</td><td>床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)</td><td>※RF－VP又はリサイクルVP ・VP</td></tr><tr><td>厨房等の温排水</td><td>※SGP（白） ・</td></tr><tr><td>耐火性能を要求される箇所</td><td>※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白）</td></tr><tr><td>その他の部分</td><td>※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td></tr><tr><td rowspan="2">汚水配管</td><td>床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)</td><td>※RF－VP又はリサイクルVP ・VP</td></tr><tr><td>耐火性能を要求される場所</td><td>※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・排水用/ナカパイプ塗装鋼管</td></tr><tr><td rowspan="6">共通</td><td>その他の部分</td><td>※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td></tr><tr><td>地中埋設部</td><td>※RS－VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管（ゴム輪接合） ※REP－VU（軽荷重の場合） ・RF－VP又はリサイクルVP ・VP</td></tr><tr><td>通気配管</td><td>耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVP又はRF－VP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td></tr></table> （注）1．リサイクルVP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-VP、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2．1．2．6による。 2．雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3．原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY45度で行う。 2 洗面器等の排水管 3 満水試験継手 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット 4 樹の適用 別紙樹表による。		施 工 箇 所	管 種 別	雑排水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP	厨房等の温排水	※SGP（白） ・	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白）	その他の部分	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	汚水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・排水用/ナカパイプ塗装鋼管	共通	その他の部分	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	地中埋設部	※RS－VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管（ゴム輪接合） ※REP－VU（軽荷重の場合） ・RF－VP又はリサイクルVP ・VP	通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVP又はRF－VP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書 建築工事特記仕様書による																																										
		施 工 箇 所	管 種 別																																																																						
	雑排水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP																																																																						
厨房等の温排水		※SGP（白） ・																																																																							
耐火性能を要求される箇所		※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白）																																																																							
その他の部分		※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																							
汚水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP																																																																							
	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・排水用/ナカパイプ塗装鋼管																																																																							
共通	その他の部分	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																							
	地中埋設部	※RS－VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管（ゴム輪接合） ※REP－VU（軽荷重の場合） ・RF－VP又はリサイクルVP ・VP																																																																							
	通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVP又はRF－VP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																							
	3 煙 道 10 ダンパー	4 煙 突 5 長方形ダクト 6 円形ダクト 7 風量測定口 8 チャンパー 9 吹出口及び吸込口ボックス	● 目 的 制 御	1 中央監視制御装置 ・有り ※無し ② 構成・機能 図示による ③ 電気計装用機材 使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。 ④ 計装制御 カードタイマーにより発停を制御する。 仕様は別紙のとおり カードのメモリ書き込み、納品は本工事とする。	○ 排 水 設 備	1 配管材料 配管材料は ※下記 ・図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。 <table><tr><th></th><th>施 工 箇 所</th><th>管 種 別</th></tr><tr><td rowspan="4">雑排水配管</td><td>床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)</td><td>※RF－VP又はリサイクルVP ・VP</td></tr><tr><td>厨房等の温排水</td><td>※SGP（白） ・</td></tr><tr><td>耐火性能を要求される箇所</td><td>※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白）</td></tr><tr><td>その他の部分</td><td>※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td></tr><tr><td rowspan="2">汚水配管</td><td>床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)</td><td>※RF－VP又はリサイクルVP ・VP</td></tr><tr><td>耐火性能を要求される場所</td><td>※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・排水用/ナカパイプ塗装鋼管</td></tr><tr><td rowspan="6">共通</td><td>その他の部分</td><td>※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td></tr><tr><td>地中埋設部</td><td>※RS－VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管（ゴム輪接合） ※REP－VU（軽荷重の場合） ・RF－VP又はリサイクルVP ・VP</td></tr><tr><td>通気配管</td><td>耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVP又はRF－VP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td></tr></table> （注）1．リサイクルVP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-VP、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2．1．2．6による。 2．雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3．原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY45度で行う。 2 洗面器等の排水管 3 満水試験継手 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット 4 樹の適用 別紙樹表による。		施 工 箇 所	管 種 別	雑排水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP	厨房等の温排水	※SGP（白） ・	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白）	その他の部分	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	汚水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・排水用/ナカパイプ塗装鋼管	共通	その他の部分	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	地中埋設部	※RS－VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管（ゴム輪接合） ※REP－VU（軽荷重の場合） ・RF－VP又はリサイクルVP ・VP	通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVP又はRF－VP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書 建築工事特記仕様書による																																										
		施 工 箇 所	管 種 別																																																																						
	雑排水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP																																																																						
厨房等の温排水		※SGP（白） ・																																																																							
耐火性能を要求される箇所		※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白）																																																																							
その他の部分		※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																							
汚水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP																																																																							
	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・排水用/ナカパイプ塗装鋼管																																																																							
共通	その他の部分	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																							
	地中埋設部	※RS－VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管（ゴム輪接合） ※REP－VU（軽荷重の場合） ・RF－VP又はリサイクルVP ・VP																																																																							
	通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVP又はRF－VP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																							
	⑩ 配管材料	（1）冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・ （2）冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・ （3）ブライン管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ （4）冷媒管 ※断熱材被覆鋼管 （保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上） ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。 （5）ドレン管（屋外） ※配管用炭素鋼鋼管（白） ○硬質塩化ビニル管VP ドレン管（屋内） ※保温機能付空調用ドレン管（ISO/ASTM 11P17 相当品） ・耐火二層管VP（FDPS－1） ・配管用炭素鋼鋼管（白） ・硬質塩化ビニル管VP （消防協議事項： ） ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 （6）油管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ （7）蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ 還 管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管（黒） Sch40 ・ステンレス鋼管 （8）膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・	● 目 的 制 御	1 中央監視制御装置 ・有り ※無し ② 構成・機能 図示による ③ 電気計装用機材 使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。 ④ 計装制御 カードタイマーにより発停を制御する。 仕様は別紙のとおり カードのメモリ書き込み、納品は本工事とする。	○ 排 水 設 備	1 配管材料 配管材料は ※下記 ・図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。 <table><tr><th></th><th>施 工 箇 所</th><th>管 種 別</th></tr><tr><td rowspan="4">雑排水配管</td><td>床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)</td><td>※RF－VP又はリサイクルVP ・VP</td></tr><tr><td>厨房等の温排水</td><td>※SGP（白） ・</td></tr><tr><td>耐火性能を要求される箇所</td><td>※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白）</td></tr><tr><td>その他の部分</td><td>※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td></tr><tr><td rowspan="2">汚水配管</td><td>床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)</td><td>※RF－VP又はリサイクルVP ・VP</td></tr><tr><td>耐火性能を要求される場所</td><td>※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・排水用/ナカパイプ塗装鋼管</td></tr><tr><td rowspan="6">共通</td><td>その他の部分</td><td>※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td></tr><tr><td>地中埋設部</td><td>※RS－VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管（ゴム輪接合） ※REP－VU（軽荷重の場合） ・RF－VP又はリサイクルVP ・VP</td></tr><tr><td>通気配管</td><td>耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVP又はRF－VP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td></tr></table> （注）1．リサイクルVP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-VP、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2．1．2．6による。 2．雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3．原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY45度で行う。 2 洗面器等の排水管 3 満水試験継手 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット 4 樹の適用 別紙樹表による。		施 工 箇 所	管 種 別	雑排水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP	厨房等の温排水	※SGP（白） ・	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白）	その他の部分	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	汚水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・排水用/ナカパイプ塗装鋼管	共通	その他の部分	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	地中埋設部	※RS－VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管（ゴム輪接合） ※REP－VU（軽荷重の場合） ・RF－VP又はリサイクルVP ・VP	通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVP又はRF－VP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書 建築工事特記仕様書による																																										
		施 工 箇 所	管 種 別																																																																						
	雑排水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP																																																																						
厨房等の温排水		※SGP（白） ・																																																																							
耐火性能を要求される箇所		※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白）																																																																							
その他の部分		※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																							
汚水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP																																																																							
	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・排水用/ナカパイプ塗装鋼管																																																																							
共通	その他の部分	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																							
	地中埋設部	※RS－VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管（ゴム輪接合） ※REP－VU（軽荷重の場合） ・RF－VP又はリサイクルVP ・VP																																																																							
	通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVP又はRF－VP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																							
	12 弁 類 17 冷却塔	13 温 度 計 14 圧 力 計 15 瞬間流量計 16 油面制御装置	● 目 的 制 御	1 中央監視制御装置 ・有り ※無し ② 構成・機能 図示による ③ 電気計装用機材 使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。 ④ 計装制御 カードタイマーにより発停を制御する。 仕様は別紙のとおり カードのメモリ書き込み、納品は本工事とする。	○ 排 水 設 備	1 配管材料 配管材料は ※下記 ・図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。 <table><tr><th></th><th>施 工 箇 所</th><th>管 種 別</th></tr><tr><td rowspan="4">雑排水配管</td><td>床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)</td><td>※RF－VP又はリサイクルVP ・VP</td></tr><tr><td>厨房等の温排水</td><td>※SGP（白） ・</td></tr><tr><td>耐火性能を要求される箇所</td><td>※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白）</td></tr><tr><td>その他の部分</td><td>※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td></tr><tr><td rowspan="2">汚水配管</td><td>床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)</td><td>※RF－VP又はリサイクルVP ・VP</td></tr><tr><td>耐火性能を要求される場所</td><td>※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・排水用/ナカパイプ塗装鋼管</td></tr><tr><td rowspan="6">共通</td><td>その他の部分</td><td>※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td></tr><tr><td>地中埋設部</td><td>※RS－VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管（ゴム輪接合） ※REP－VU（軽荷重の場合） ・RF－VP又はリサイクルVP ・VP</td></tr><tr><td>通気配管</td><td>耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVP又はRF－VP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td></tr></table> （注）1．リサイクルVP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-VP、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2．1．2．6による。 2．雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3．原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY45度で行う。 2 洗面器等の排水管 3 満水試験継手 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット 4 樹の適用 別紙樹表による。		施 工 箇 所	管 種 別	雑排水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP	厨房等の温排水	※SGP（白） ・	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白）	その他の部分	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	汚水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・排水用/ナカパイプ塗装鋼管	共通	その他の部分	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	地中埋設部	※RS－VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管（ゴム輪接合） ※REP－VU（軽荷重の場合） ・RF－VP又はリサイクルVP ・VP	通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVP又はRF－VP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書 建築工事特記仕様書による																																										
		施 工 箇 所	管 種 別																																																																						
	雑排水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP																																																																						
厨房等の温排水		※SGP（白） ・																																																																							
耐火性能を要求される箇所		※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白）																																																																							
その他の部分		※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																							
汚水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP																																																																							
	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・排水用/ナカパイプ塗装鋼管																																																																							
共通	その他の部分	※RF－VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																							
	地中埋設部	※RS－VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管（ゴム輪接合） ※REP－VU（軽荷重の場合） ・RF－VP又はリサイクルVP ・VP																																																																							
	通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVP又はRF－VP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																							

		参考工程表													
		月 日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
工 事 項 目			10・20・30	10・20・31	10・20・30	10・20・31	10・20・31	10・20・30	10・20・31	10・20・30	10・20・31	10・20・31	10・20・28	10・20・31	
学校運営			学校前金せ・現地調査				学校前金せ・現地調査				学校前金せ・現地調査				
契約			契約				契約				契約				
書類作成			書類作成				書類作成				書類作成				
準備工事			準備工事				準備工事				準備工事				
共通仮設工事			共通仮設工事				共通仮設工事				共通仮設工事				
空調設備工事			空調設備工事				空調設備工事				空調設備工事				
空調設備工事に伴う電気設備工事			空調設備工事に伴う電気設備工事				空調設備工事に伴う電気設備工事				空調設備工事に伴う電気設備工事				
空調設備工事に伴う建築工事			空調設備工事に伴う建築工事				空調設備工事に伴う建築工事				空調設備工事に伴う建築工事				
アリーナLED化工事			アリーナLED化工事				アリーナLED化工事				アリーナLED化工事				
建築改修工事			建築改修工事				建築改修工事				建築改修工事				
受変電設備工事			受変電設備工事				受変電設備工事				受変電設備工事				
検査			検査				検査				検査				

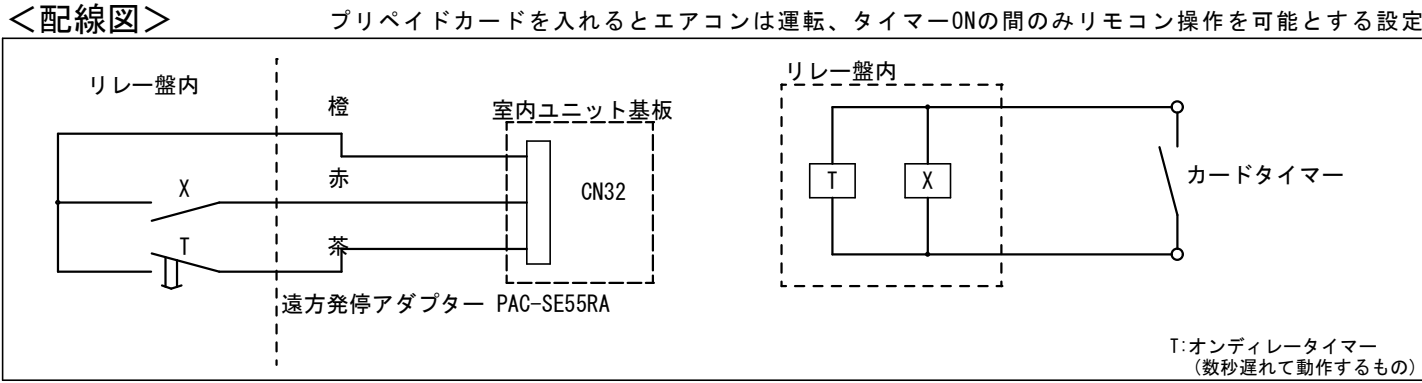
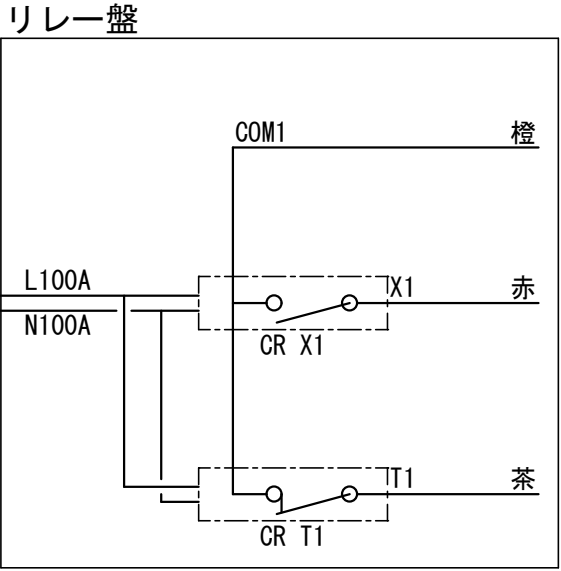
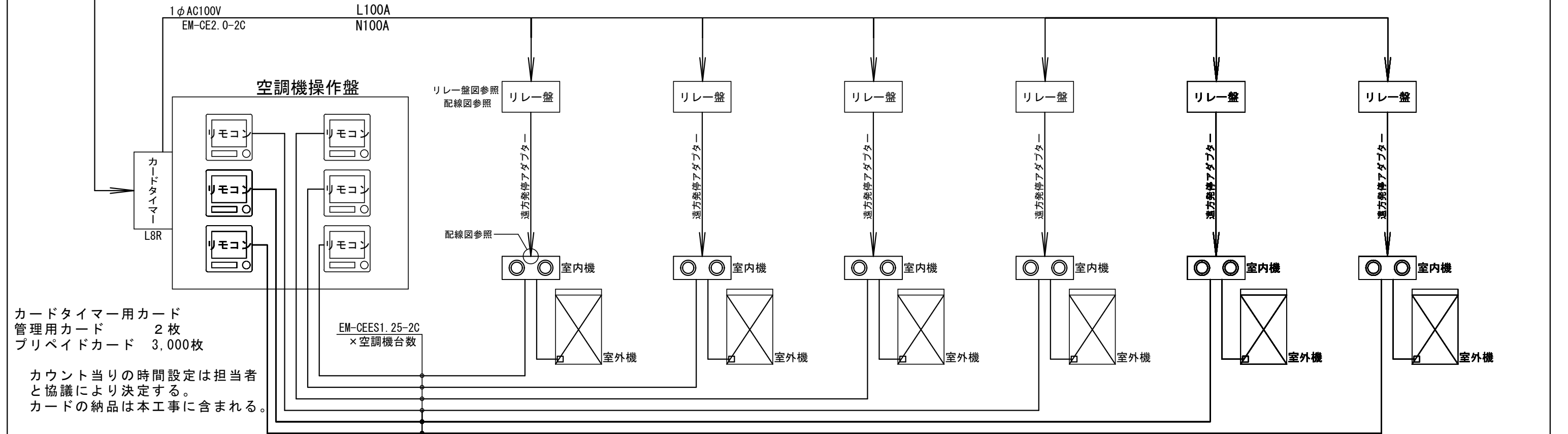
この工程表は参考であり、契約を拘束するものではない。学校関係者と協議の上、学校の意向を汲み、工程を決定すること。
この工事は学校、放課後クラブを運営しながらの工事である。工程は両運営に配慮した計画とすること。
設備発注は早期に実施し、工程の遅れが生じないようにすること。

春日部市 学校教育課 教育施設課		日付 2024.12.13 編入A1:NO SCALE A3:NO SCALE	工事名称 豊春小学校外7校避難所空調設備設置工事（宮川小学校） 特記仕様書 8 機械設備工事	図面No. 共通-08
------------------------	--	--	--	----------------



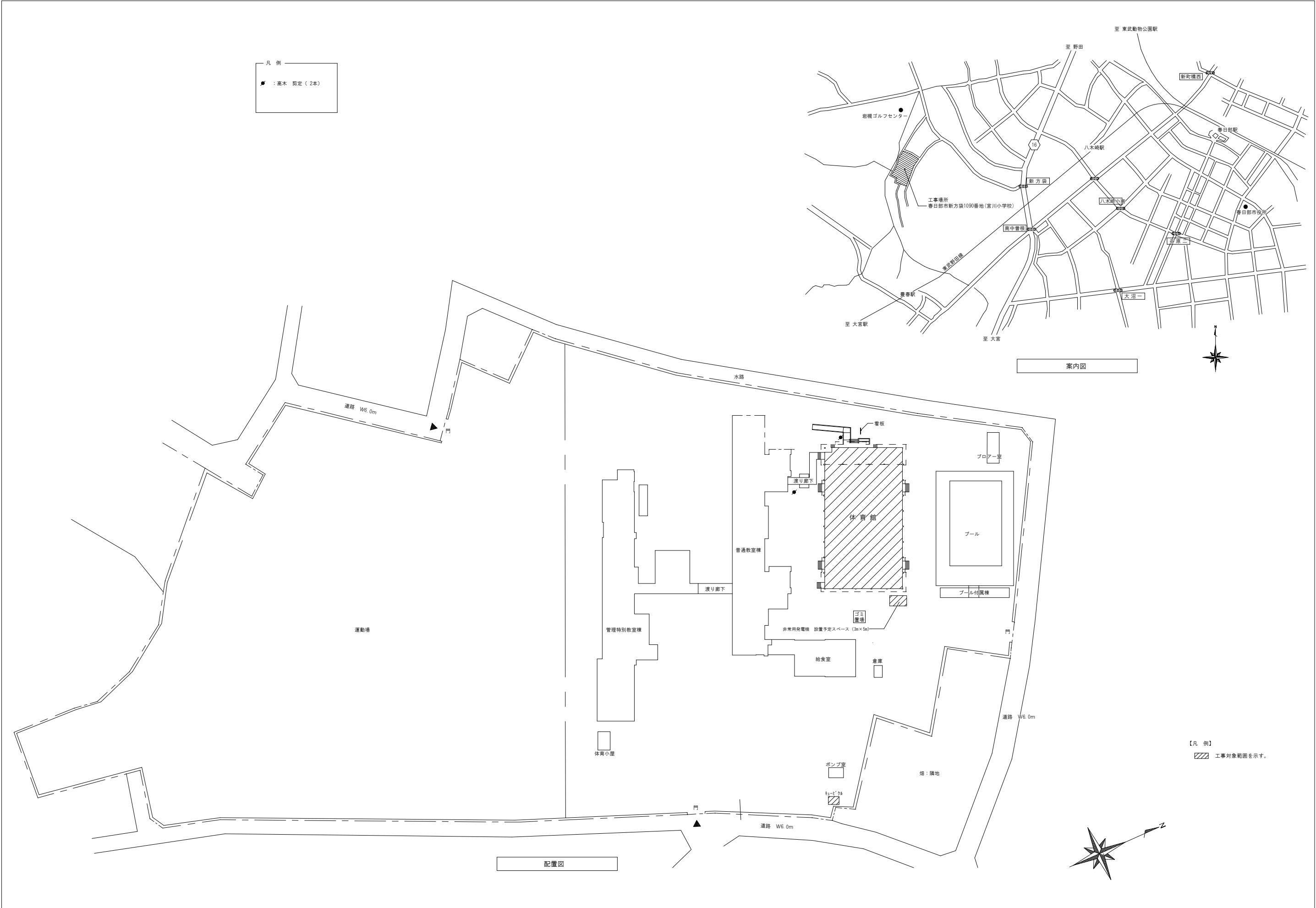
[動作]		手元リモコンからの操作	
		運転/停止操作	その他設定(温度/風速など)
カードタイマー接点 オンディレータイマー接点	状態	許可 (オンディレータイマー接点OFF後)	許可
ON	タイマー制御/運転開始→		
OFF(数秒遅れ)	リモコン制御		
OFF	タイマー制御/停止	禁止	停止
ON			

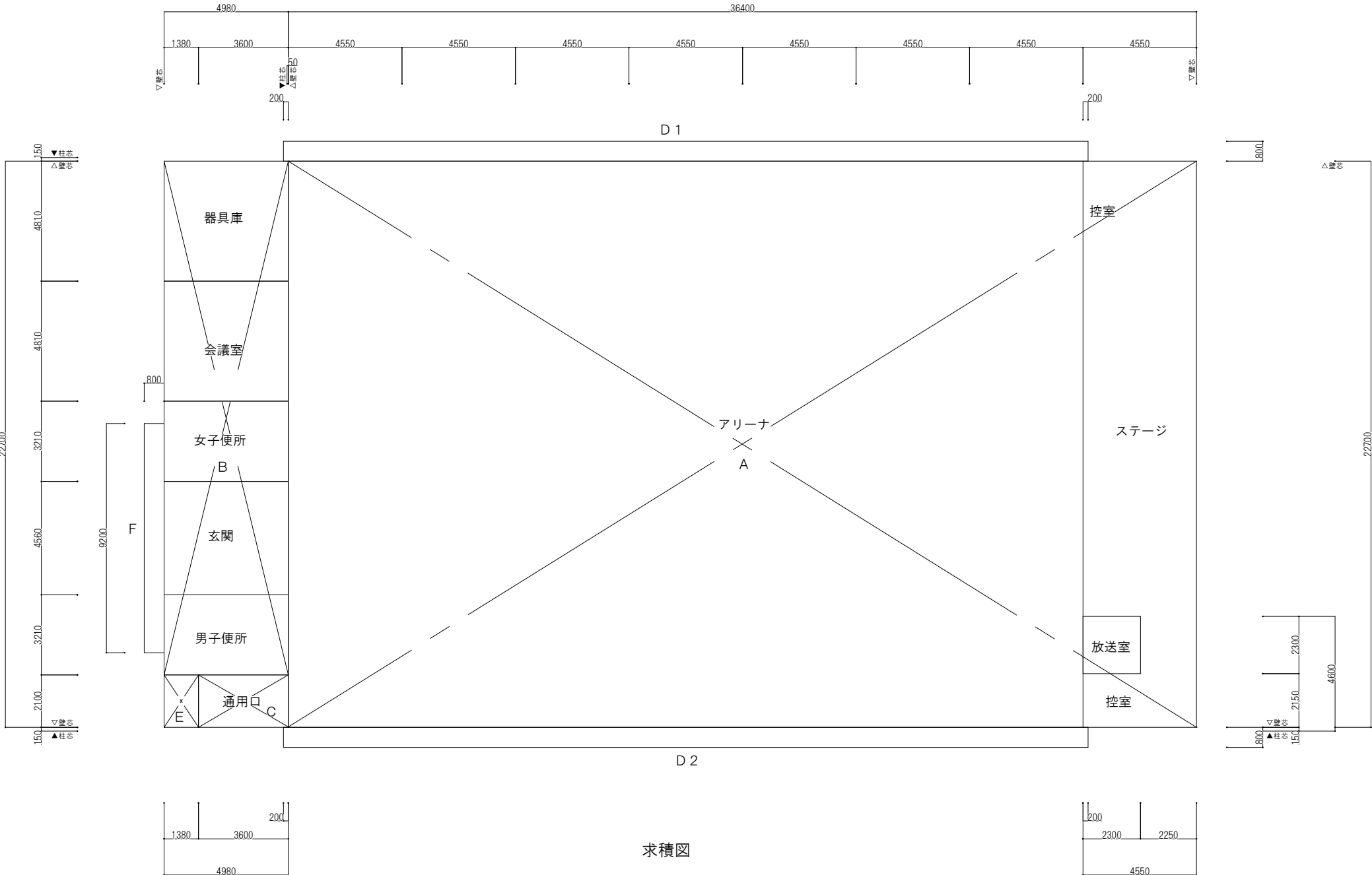
停止ボタンを押してもカードタイマーのカウントは停止しない。



カードタイマー運転フロー

- ①カードタイマーにカードを差し込む
カードタイマーに設定された度数が引き落とされる。
カードタイマーからカードが自動で出てくる。
連続でカードを抜き差しすると設定された度数がその
回数分、引き落とされ、カードタイマーに加算される。
カードタイマーに引き落とされた度数の清算はできない。
- ②自動で全空調が稼働する。
設定(冷暖房、温度、風量)は前利用した運転時の設定
を引き継ぐ。
リモコンの操作ロックが解除される。
リモコンで運転OFFにできるが、カードタイマーの残
数は減り続ける。
- ③カードタイマーの残数が0になると全空調が停止する。
リモコンの操作はロックされる。





面積表

記号		面積
A	22.7×36.4	826.2800
B	20.6×4.98	102.5880
C	2.1×3.6	7.5600
D1	$0.8 \times (31.85 + 0.2 + 0.2)$	25.8000
D2	$0.8 \times (31.85 + 0.2 + 0.2)$	25.8000
E	2.1×1.38	2.8980
F	9.2×0.8	7.3600
床面積 (A+B+C) (㎡)		936.4280
建築面積 (A+B+C+D1+D2+E+F) (㎡)		998.2860

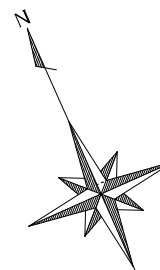
求積図

外部仕上表						※外部仕上げは、既存のままとする（ただし、改修部を除く）	
場所		仕上	場所		仕上		
屋根	屋根	カバー工法 アルミメッキ鋼板 t=0.6（裏貼断熱材 ポリエチレンフォーム t=4） 防水：圧縮空気混入超速硬化ウレタン防水 t=3 仕上：アクリルウレタン系高反射トップコート【既存のまま】	軒裏		珪酸カルシウム板 t=6 目透し張り 外装薄塗材 E 軽量鉄骨天井下地25形 アルミ製廻り縁【既存のまま】		
	笠木	アルミメッキ鋼板 t=0.6 仕上：アクリルウレタン系高反射トップコート【既存のまま】	ポーチ・外階段		モルタル金縷仕上 一部【撤去】		
	幕板	角波鉄板 カラーガルバリウム鋼板 t=0.5 仕上：D P塗装【既存のまま】	スロープ		コンクリート刷毛引き仕上【新設】		
外壁	一般部	ラスシート張り モルタル刷毛引 アクリル系リシンガン吹付 目地切 下塗材兼主材：可とう形断熱性仕上塗材 上塗材：アクリルシリコン系 遮熱塗料 一部【撤去】【新設】					
	外巾木	モルタル金縷 (H=900)の上、樹脂モルタル薄塗り t=3【既存のまま】					
庇	屋根	長尺カラー鉄板瓦葺き 仕上：D P塗装【既存のまま】					
	幕板	カラー鉄板 t=0.5 仕上：D P塗装【既存のまま】					
樋	軒樋（内樋）	耐酸被覆鋼板 t=0.4 防水：圧縮空気混入超速硬化ウレタン防水 t=3 仕上：アクリルウレタン系高反射トップコート【既存のまま】					
	縦樋	カラーV P 100Φ 仕上：D P塗装 支持金物 SUS製【既存のまま】					

内部仕上表								※内部仕上げは、既存のままとする（ただし、改修部を除く）	
階	室 名	床	巾 木	壁	天 井	廻り縁	備 考		
1 階	アリーナ	イタヤフローリング t=18 耐水合板張り t=15 捨張り【既存のまま】	ラウン OS塗装 (H=100)【既存のまま】 一部：タモ集成材 OS、CL塗装 (H=100)	ラウン合板 t=12 OS塗装 一部【撤去】【新設】 上部壁：ラウン合板 t=6 OS塗装 木胴縁下地 (縦・横)40×45 450@	一部：シナ合板 t=12 OS、CL塗装 一部【撤去】【新設】 上部壁（一部）：シナ合板 t=5.5 OS、CL塗装 一部：木胴縁下地 (縦・横)40×45 450@	木毛セメント板 t=25 現し【既存のまま】 鉄骨梁・母屋 FP塗装【既存のまま】	—	バスケット装置 (2対)【既存のまま】 防球ネット (3張)【既存のまま】 ロープ式暗幕 (17張) 紅白幕用フック【既存のまま】	
	ステージ	イタヤフローリング t=18 耐水合板張り t=15 捨張り【既存のまま】	ラウン OS塗装 (H=100)【既存のまま】	ラスシート張り モルタル金縷 EP塗装【既存のまま】 一部：ラウン合板 t=6 OP塗装【既存のまま】		木毛セメント板 t=25 現し【既存のまま】 鉄骨梁・母屋 FP塗装【既存のまま】	—		
	控室	イタヤフローリング t=18 耐水合板張り t=15 捨張り【既存のまま】 一部：ビニル床シート t=2.5【既存のまま】	ラウン OS塗装 (H=100)【既存のまま】	ラスシート張り モルタル金縷 EP塗装【既存のまま】		有孔石膏ボード t=9 目透し張り VP塗装【既存のまま】 軽量鉄骨天井下地【既存のまま】	塩ビ製 【既存のまま】		
	放送室	イタヤフローリング t=18 耐水合板張り t=15 捨張り【既存のまま】	ラウン OS塗装 (H=100)【既存のまま】	有孔シナ合板 t=6 目透し張り OS塗装【既存のまま】 グラスウール充填 t=25 寒冷紗張り【既存のまま】		ロックウール化粧吸音板 (平板) t=12【既存のまま】 石膏ボード t=9.5 捨張り【既存のまま】 軽量鉄骨天井下地19形【既存のまま】	塩ビ製 【既存のまま】		
	玄関	150角 クリンカータイル 一部【撤去】 一部：ビニル床シート t=2.5【既存のまま】	人研 (H=100)【既存のまま】 一部：ラウン OS塗装 (H=100)	ラスシート張り モルタル金縷 EP塗装【既存のまま】		石膏ボード t=9 目透し張り VP塗装【撤去】【新設】 軽量鉄骨天井下地【既存のまま】	—	スロープ：ノンスリップ長尺シート t2.5【新設】	
	会議室	ビニル床シート t=2.5【既存のまま】	ラウン OS塗装 (H=100)【既存のまま】	ラスシート張り モルタル金縷 EP塗装【既存のまま】		ロックウール化粧吸音板 (平板) t=12【既存のまま】 石膏ボード t=9.5 捨張り【既存のまま】 軽量鉄骨天井下地19形【既存のまま】	塩ビ製 【既存のまま】		
	通用口	モルタル金縷仕上【既存のまま】 一部：ビニル床シート t=2.5【既存のまま】	モルタル金縷仕上 (H=100)【既存のまま】 一部：ラウン OS塗装 (H=100)	ラスシート張り モルタル金縷 EP塗装【既存のまま】		石膏ボード t=9 目透し張り VP塗装【既存のまま】 軽量鉄骨天井下地【既存のまま】	—		
	器具庫	モルタル金縷仕上 目地切【既存のまま】	モルタル金縷仕上 (H=100)【既存のまま】	ラスシート張り モルタル金縷 EP塗装【既存のまま】		木毛セメント板 t=25 現し【既存のまま】 鉄骨梁・母屋 FP塗装【既存のまま】	—		
	男子便所	24角 磁気質モザイクタイル【既存のまま】 踏込：ビニル床シート t=2.5【既存のまま】	踏込：人研 (H=100)【既存のまま】	腰 (H=1200)：100角 半磁気質タイル【既存のまま】 ラスシート張り モルタル金縷 EP塗装【既存のまま】		珪酸カルシウム板 t=6 目透し張り EP塗装【撤去】【新設】 軽量鉄骨天井下地19形【既存のまま】	塩ビ製 【撤去】【新設】		
	女子便所	24角 磁気質モザイクタイル【既存のまま】 踏込：ビニル床シート t=2.5【既存のまま】	踏込：人研 (H=100)【既存のまま】	腰 (H=1200)：100角 半磁気質タイル【既存のまま】 ラスシート張り モルタル金縷 EP塗装【既存のまま】		珪酸カルシウム板 t=6 目透し張り EP塗装【撤去】【新設】 軽量鉄骨天井下地19形【既存のまま】	塩ビ製 【撤去】【新設】		

共通事項・特記事項	材料略号	塗料略号	防火認定番号				備考	
	S : 鉄 SUS : ステンレス AL : アルミ LGS : 軽量形鋼 FB : フラットバー（平鋼） プレート（平鋼） ALC : 軽量気泡コンクリート CB : コンクリートブロック RC : コンクリート	SOP : 合成樹脂調合ペイント塗 OS : オイルステイン塗 OSC : オイルステインクリア塗 OSW : オイルステインワックス塗 UC : ウレタン樹脂クリア塗 FC : フタル酸ワニス塗 CL : クリアラッカー塗 EP : 合成樹脂エポキシペイント塗 EPG : つや有合成樹脂エポキシペイント塗	石膏ボード PB9.5 : 石膏ボード（不燃） 強化石膏ボード 化粧PB : 化粧石膏ボード 化粧石膏ボード（不燃） シージング石膏ボード 厚9.5 シージング石膏ボード 厚12.5	準不燃 不燃 不燃 準不燃 不燃 準不燃 不燃	QM-9828号（厚 9.5） NM-8619号（厚12.5、15） NM-8615号（厚12.5、15） QM-9824号（厚 9.5） NM-0441号（厚 9.5） QM-9826号（厚 9.5） NM-9639号（厚12.5）	ロックウール化粧吸音板（厚9ミリ以上） 珪酸カルシウム板（厚6ミリ以上） 化粧珪酸カルシウム板 厚6.0 顔料練込硬質珪酸カルシウム板 厚5.0 突板化粧合板 厚5.0（不燃） ビニルクロス ビニルクロス（不燃） 金属サイディング	不燃 不燃 不燃 不燃 不燃 準不燃 不燃	NM-8599号 NM-8578号 NM-8577号 NM-1693号 NM-1739号 QM-9401号 NM-9768号 QM-0642号

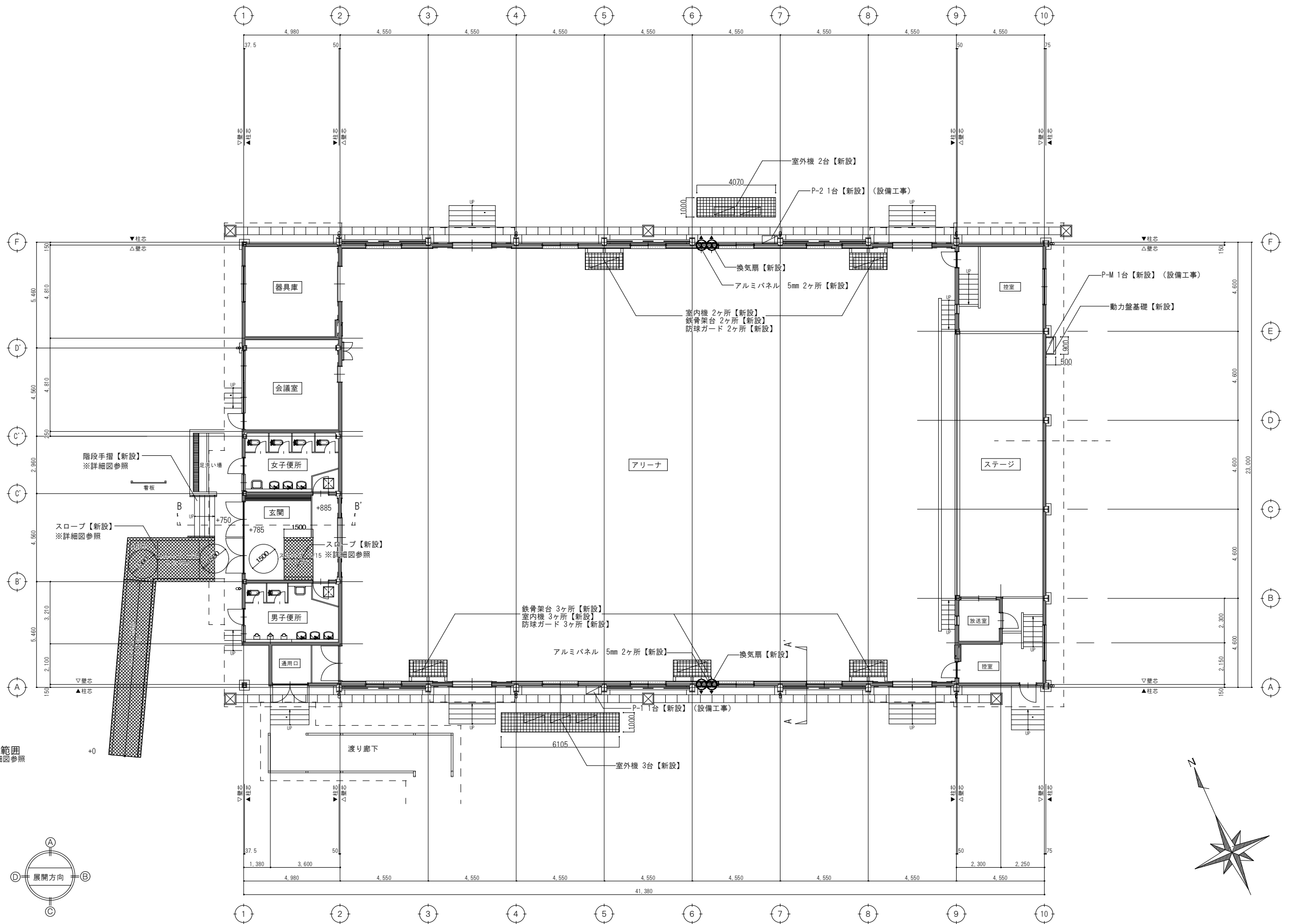
			春日部市 学校教育課 教育施設課		日付 2024. 7. 1 縮尺 A1:1/100 A3:1/200	工事名称 豊春小学校外7校避難所空調設備設置工事（宮川小学校） 図面名称 仕上表	図面No. A-03



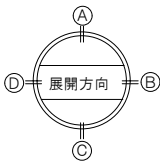
市 部 日 春
課 育 教 学
設 施 校 教
育 育 育

工事名称	豊春小学校外7校避難所空調設備設置工事（宮川小学校）
図面名称	平面図（改修前）

図面No.
A-04

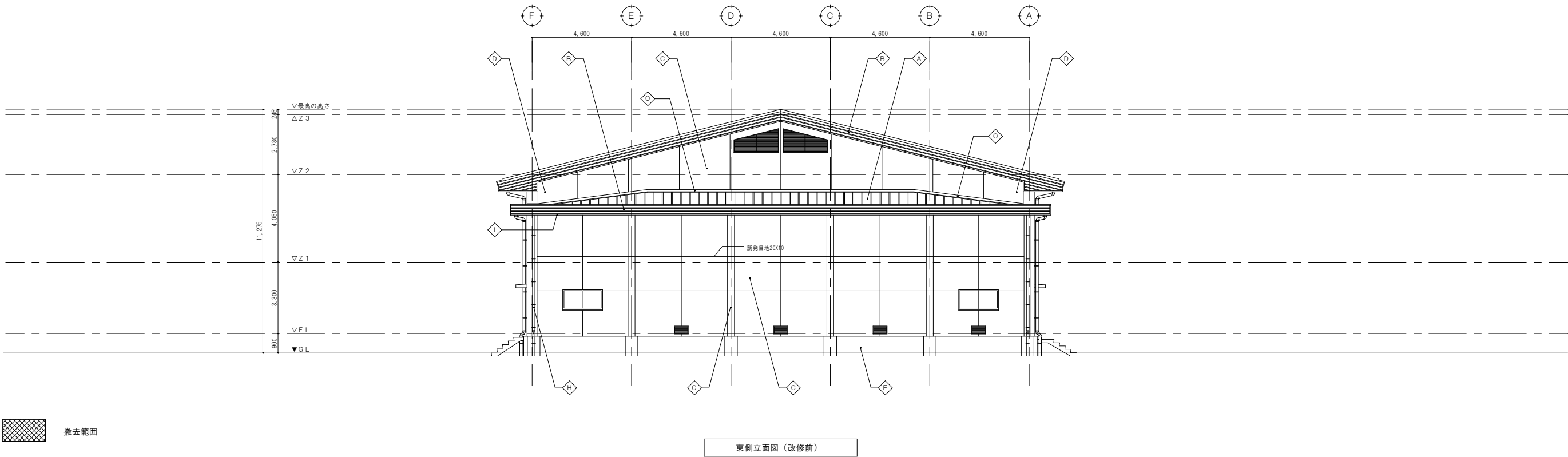
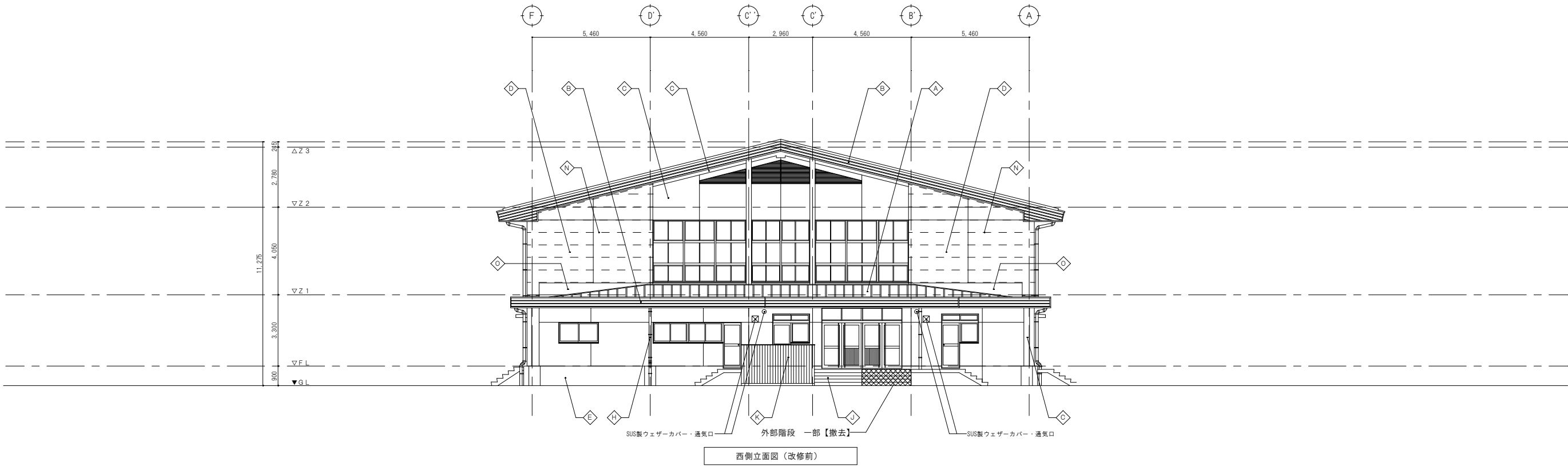


新設範囲
※詳細図参照



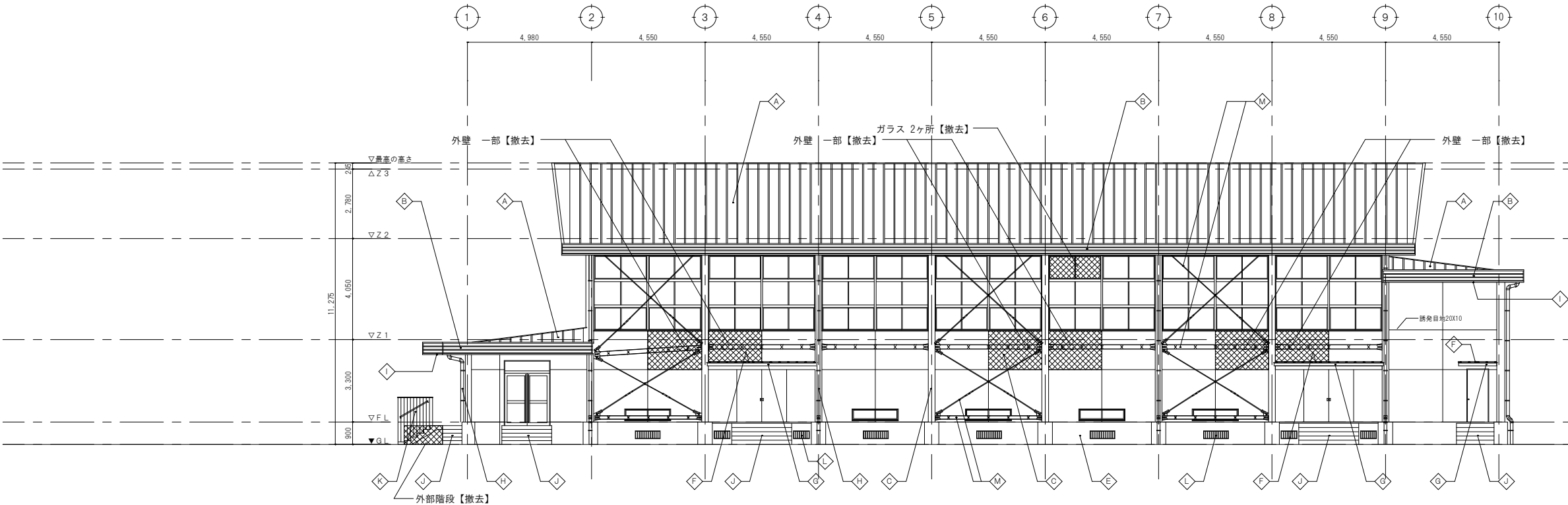
平面図 (改修後)

備考
・架台等がバスケットラインにかかる場合、ライン引き直しの上ウレタン塗装。

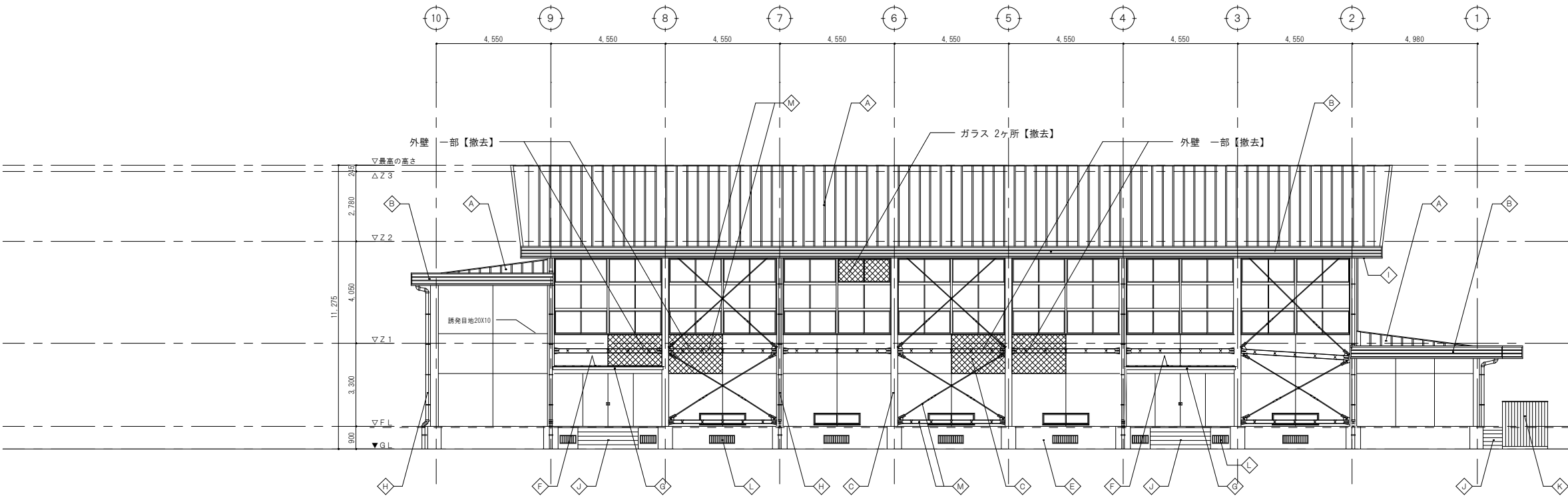


外部仕上表

部位	記号	仕上	部位	記号	仕上	部位	記号	仕上	部位	記号	仕上
屋根	A	カバー工法 アルミメッキ鋼板 t=0.6 (裏貼断熱材 ポリエチレンフォーム t=4) 【既存のまま】 防水：圧縮空気混入超速硬化ウレタン防水 t=3 仕上：アクリルウレタン系高反射トップコート 【既存のまま】	外巾木	E	モルタル金銀 (H=900)の上、樹脂モルタル薄塗り t=3 【既存のまま】	軒裏	I	珪酸カルシウム板 t=6 目隠し張り 外装薄塗材 E 【既存のまま】 軽量鉄骨天井下地25形 【既存のまま】 アルミ製廻り縁	耐震補強部材	M	仕上：D P 塗装 【既存のまま】
幕板	B	角波鉄板 カラーガルバリウム鋼板 t=0.5 仕上：D P 塗装 【既存のまま】	庇 屋根	F	長尺カラー鉄板瓦葺き 仕上：D P 塗装 【既存のまま】	外部階段	J	モルタル金銀仕上 一部【撤去】 ノンスリップタイル 【既存のまま】	外壁	N	鉄骨胴縁：C-100×50×20×2 3 600@ 【既存のまま】
外壁(一般部)	C	ラスシート張り モルタル刷毛引 アクリル系リシンガン吹付 目地切 一部【撤去】 下塗材兼主材：可とう形断熱性仕上塗材 上塗材：アクリルシリコン系 遮熱塗料 一部【撤去】	庇 幕板	G	カラー鉄板 t=0.5 仕上：D P 塗装 【既存のまま】	足洗い場 壁	K	仕上：複層仕上塗材 E 笠木：トップコートのみ 【既存のまま】	防水立上	O	防水：圧縮空気混入超速硬化ウレタン防水 仕上：アクリルウレタン系高反射トップコート 【既存のまま】
外壁(耐震部)	D	ラスシート張り モルタル刷毛引 アクリル系リシンガン吹付 目地切 一部【撤去】 下塗材兼主材：可とう形断熱性仕上塗材 上塗材：アクリルシリコン系 遮熱塗料 一部【撤去】	壁礎	H	カラーVP 100Φ 仕上：D P 塗装 支持金物 SUS製 【既存のまま】	床下換気口	L	仕上：D P 塗装 【既存のまま】	備 考		※ 外部建具は建具表参照



南側立面図（改修前）

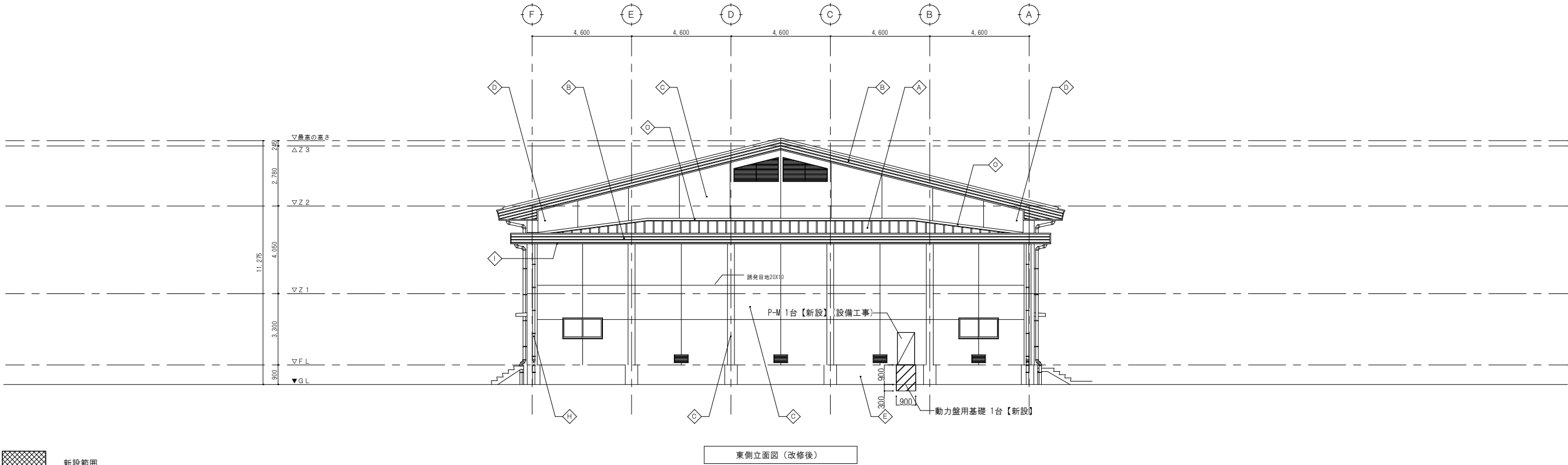
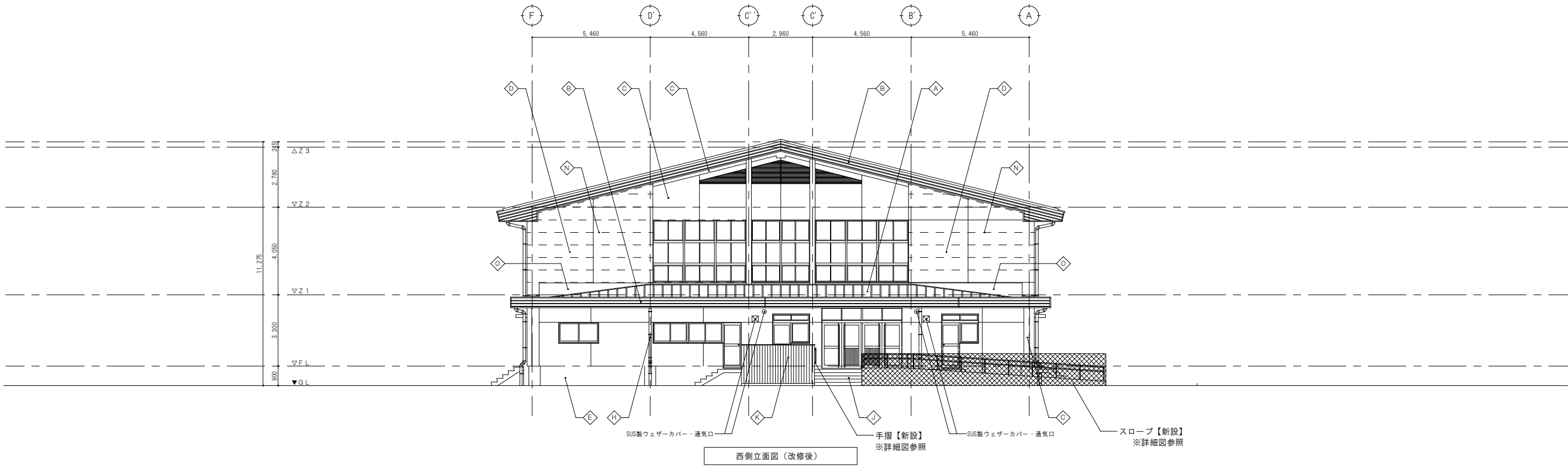


北側立面図（改修前）

 撤去範囲

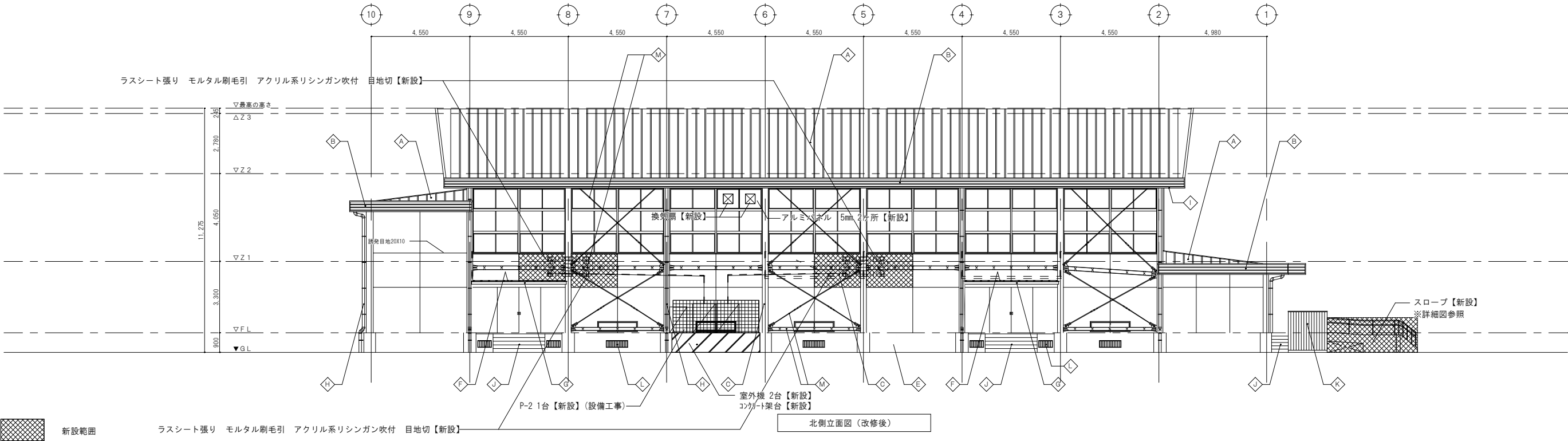
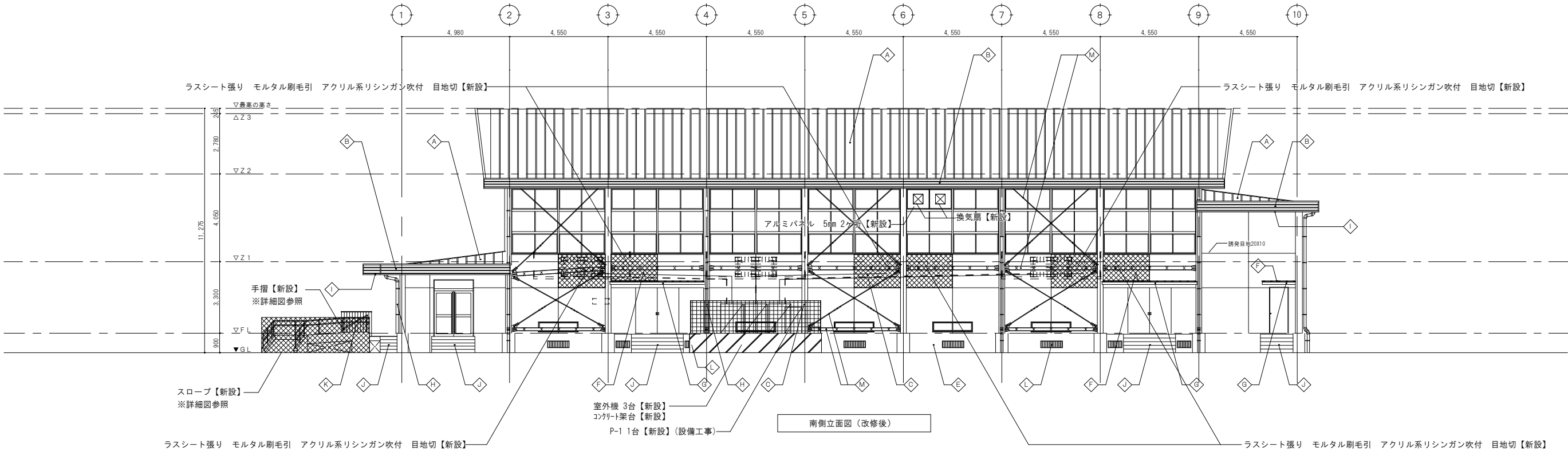
外部仕上表

部位	記号	仕上	部位	記号	仕上	部位	記号	仕上	部位	記号	仕上
屋根	A	カバー工法 アルミメッキ鋼板 t=0.6 (裏貼断熱材 ポリエチレンフォーム t=4) 【既存のまま】 防水：圧縮空気混入超速硬化ウレタン防水 t=3 仕上：アクリルウレタン系高反射トップコート 【既存のまま】	外巾木	E	モルタル金銀 (h=900) の上、樹脂モルタル薄塗り t=3 【既存のまま】	軒裏	I	珪酸カルシウム板 t=6 目透し張り 外装薄塗材 E 【既存のまま】 軽量鉄骨天井下地25形 【既存のまま】	耐震補強部材	M	仕上：D P 塗装 【既存のまま】
幕板	B	角波鉄板 カラーガルバリウム鋼板 t=0.5 仕上：D P 塗装 【既存のまま】	庇 屋根	F	長尺カラー鉄板瓦棒葺き 仕上：D P 塗装 【既存のまま】	外部階段	J	モルタル金銀仕上 一部【撤去】 ノンスリップタイル 【既存のまま】	外壁	N	鉄骨胴縁：C-100×50×20×2 3 600@ 【既存のまま】
外壁(一般部)	C	ラスシート張り モルタル刷毛引 アクリル系リシンガン吹付 目地切 一部【撤去】 下塗材兼主材：可とう形断熱性仕上塗材 上塗材：アクリルシリコン系 速熟塗料 一部【撤去】	庇 幕板	G	カラー鉄板 t=0.5 仕上：D P 塗装 【既存のまま】	足洗い場 壁	K	仕上：複層仕上塗材 E 笠木：トップコートのみ 【既存のまま】	防水立上	O	防水：圧縮空気混入超速硬化ウレタン防水 仕上：アクリルウレタン系高反射トップコート 【既存のまま】
外壁(前震部)	D	ラスシート張り モルタル刷毛引 アクリル系リシンガン吹付 目地切 一部【撤去】 下塗材兼主材：可とう形断熱性仕上塗材 上塗材：アクリルシリコン系 速熟塗料 一部【撤去】	堅壁	H	カラーVP 100Φ 仕上：D P 塗装 支持金物 SUS製 【既存のまま】	床下換気口	L	仕上：D P 塗装 【既存のまま】	備 考		※ 外部建具は建具表参照



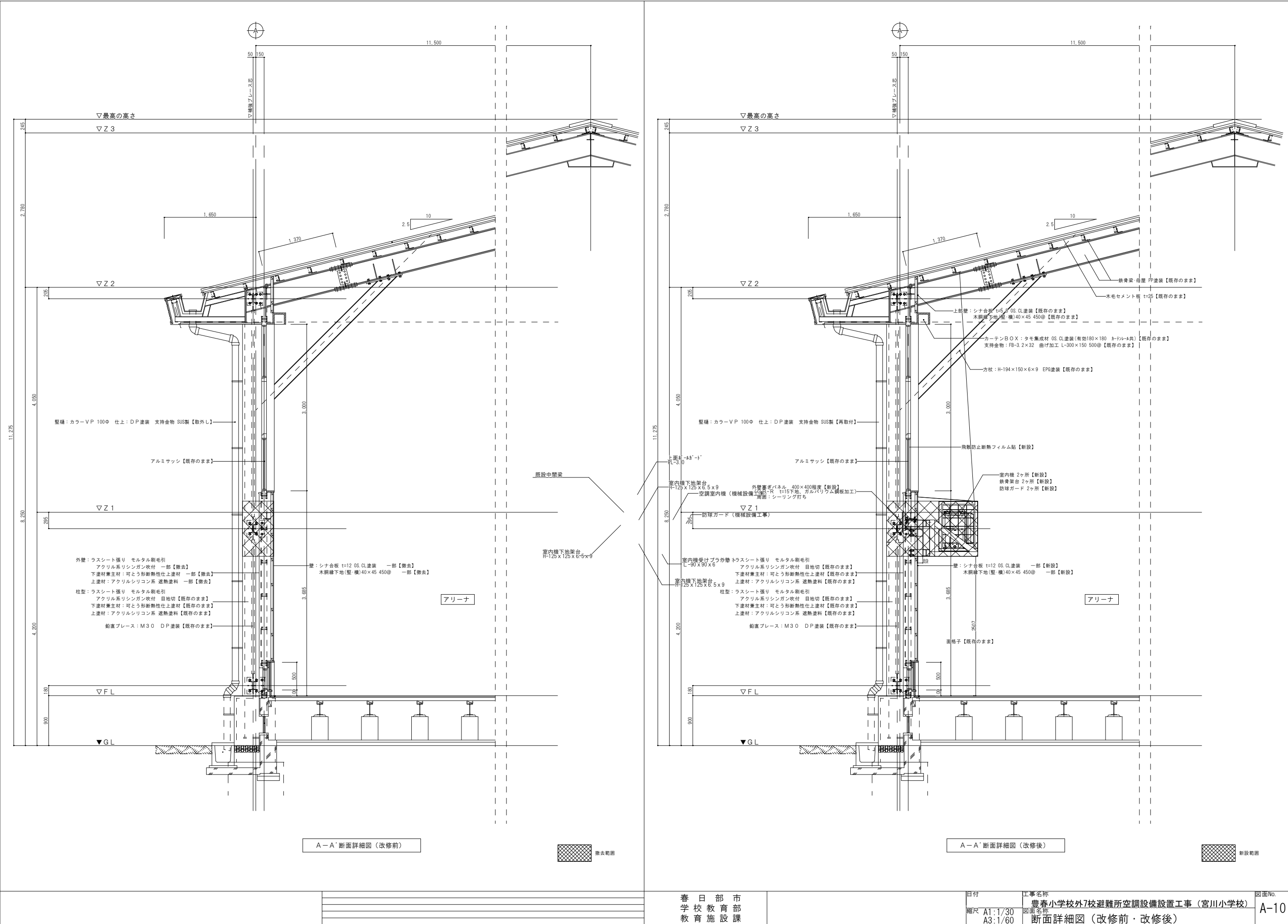
外部仕上表

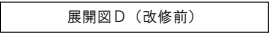
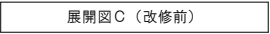
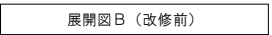
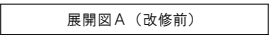
部位	記号	仕上	部位	記号	仕上	部位	記号	仕上	部位	記号	仕上
屋根	A	カバー工法 アルミメッキ鋼板 t=0.6 (裏貼断熱材 ポリエチレンフォーム t=4) 【既存のまま】 防水：圧縮空気混入超速硬化ウレタン防水 t=3 仕上：アクリルウレタン系高反射トップコート 【既存のまま】	外巾木	E	モルタル金銀 (h=900) の上、樹脂モルタル薄塗り t=3 【既存のまま】	軒裏	I	珪酸カルシウム板 t=6 目隠し張り 外装薄塗材 E 【既存のまま】 軽量鉄骨天井下地25形 【既存のまま】 アルミ製廻り縁	耐震補強部材	M	仕上：DP塗装 【既存のまま】
幕板	B	角波鉄板 カラーガルバリウム鋼板 t=0.5 仕上：DP塗装 【既存のまま】	庇 屋根	F	長尺カラー鉄板瓦葺き 仕上：DP塗装 【既存のまま】	外部階段	J	モルタル金銀仕上 腰壁・スロープ 【新設】 ノンスリップタイル 【既存のまま】	外壁	N	鉄骨胴縁：C-100×50×20×2.3 600@ 【既存のまま】
外壁(一般部)	C	ラスシート張り モルタル刷毛引 アクリル系リシンガン吹付 目地切 一部【撤去】 下塗材兼主材：可とう形断熱性仕上塗材 上塗材：アクリルシリコン系 遮熱塗料 一部【撤去】	庇 幕板	G	カラー鉄板 t=0.5 仕上：DP塗装 【既存のまま】	足洗い場 壁	K	仕上：機層仕上塗材 E 笠木：トップコートのみ 【既存のまま】	防水立上	O	防水：圧縮空気混入超速硬化ウレタン防水 仕上：アクリルウレタン系高反射トップコート 【既存のまま】
外壁(前震部)	D	ラスシート張り モルタル刷毛引 アクリル系リシンガン吹付 目地切 一部【撤去】 下塗材兼主材：可とう形断熱性仕上塗材 上塗材：アクリルシリコン系 遮熱塗料 一部【撤去】	壁礎	H	カラーVP 100Φ 仕上：DP塗装 支持金物 SUS製 【既存のまま】	床下換気口	L	仕上：DP塗装 【既存のまま】	備 考		※ 外部建具は建具表参照



外部仕上表

部位	記号	仕上	部位	記号	仕上	部位	記号	仕上	部位	記号	仕上
屋根	A	カバー工法 アルミメッキ鋼板 t=0.6 (裏貼断熱材 ポリエチレンフォーム t=4) 【既存のまま】 防水：圧縮空気混入超速硬化ウレタン防水 t=3 仕上：アクリルウレタン系高反射トップコート 【既存のまま】	外巾木	E	モルタル金銀 (H=900) の上、樹脂モルタル薄塗り t=3 【既存のまま】	軒裏	I	珪酸カルシウム板 t=6 目隠し張り 外装薄塗材 E 【既存のまま】 軽量鉄骨天井下地25形 【既存のまま】	耐震補強部材	M	仕上：D P 塗装 【既存のまま】
幕板	B	角波鉄板 カラーガルバリウム鋼板 t=0.5 仕上：D P 塗装 【既存のまま】	庇 屋根	F	長尺カラー鉄板瓦棒葺き 仕上：D P 塗装 【既存のまま】	外部階段	J	モルタル金銀仕上 腰壁・スロープ 【新設】 ノンスリップタイル 【既存のまま】	外壁	N	鉄骨胴縁：C-100×50×20×2.3 600@ 【既存のまま】
外壁(一般部)	C	ラスシート張り モルタル刷毛引 アクリル系リシンガン吹付 目地切 一部【新設】 下塗材兼主材：可とう形断熱性仕上塗材 上塗材：アクリルシリコン系 遮熱塗料 一部【新設】	庇 幕板	G	カラー鉄板 t=0.5 仕上：D P 塗装 【既存のまま】	足洗い場 壁	K	仕上：機層仕上塗材 E 笠木：トップコートのみ 【既存のまま】	防水立上	O	防水：圧縮空気混入超速硬化ウレタン防水 仕上：アクリルウレタン系高反射トップコート 【既存のまま】
外壁(前震部)	D	ラスシート張り モルタル刷毛引 アクリル系リシンガン吹付 目地切 一部【新設】 下塗材兼主材：可とう形断熱性仕上塗材 上塗材：アクリルシリコン系 遮熱塗料 一部【新設】	壁 礎	H	カラーVP 100Φ 仕上：D P 塗装 支持金物 SUS製 【既存のまま】	床下換気口	L	仕上：D P 塗装 【既存のまま】	備 考		※ 外部建具は建具表参照





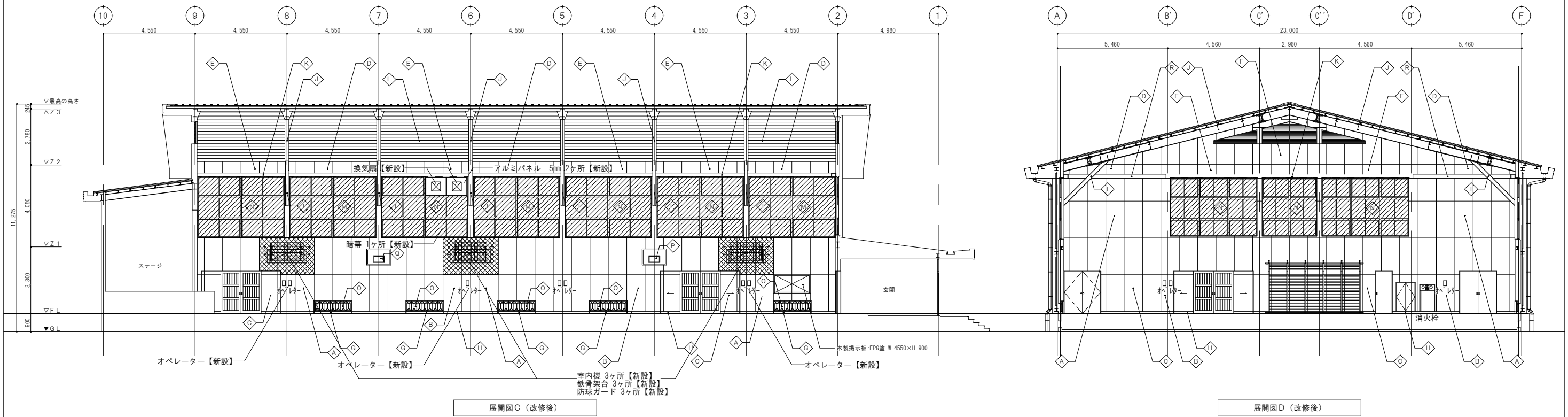
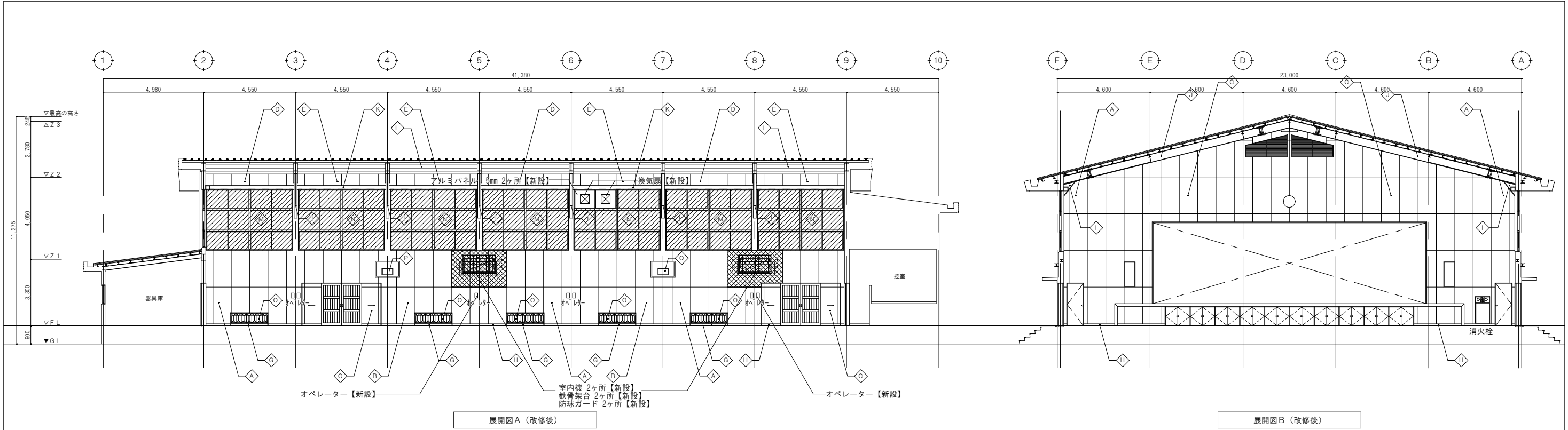
部位	記号	仕上	部位	記号	仕上	部位	記号	仕上
壁		現況 シナ合板 t=12 OS CL塗装 一部【撤去】 木胴縁下地(壁・横)40×45 450@ 一部【撤去】	巾木		現況 タモ集成材 OS CL塗装(H=100) 【既存のまま】	建具		現況 アルミサッシ 【既存のまま】
		現況 シナ合板 t=12 OS CL塗装 一部【撤去】 木胴縁下地(壁・横)40×45 450@ 一部【撤去】			現況 耐震補強部材 プレース：DP塗装 【既存のまま】			現況 アルミサッシ 一部ガラス【撤去】
		現況 珪酸カルシウム板 t=6 目返し張り 外装薄塗材 E 【既存のまま】 軽量鉄骨天井下地25形 アルミ製廻り縁 【既存のまま】			現況 方柱補強：H-194×150×150×9 EPG塗装 【既存のまま】 プラケット補強：EPG塗装 【既存のまま】			現況 アルミサッシ(面格子共) 【既存のまま】
上部壁		現況 シナ合板 t=5.5 OS CL塗装 【既存のまま】 木胴縁下地(壁・横)40×45 450@ 【既存のまま】	梁		現況	バスケット ゴール		現況 壁面固定式バスケット装置本体一式 【既存のまま】
		現況 シナ合板 t=5.5 OS CL塗装 【既存のまま】 木胴縁下地(壁・横)40×45 450@ 【既存のまま】	ホ-リゾBOX		現況 タモ集成材 OS CL塗装(ホ-リゾル=共) 【既存のまま】			現況 壁面固定式バスケット装置本体一式 【既存のまま】
			直天井				幕板	

ガラス：既存フィルム【撤去】

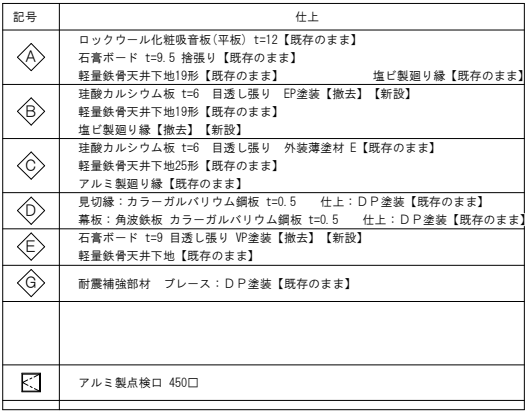
／

暗幕：34ヵ所 一時【取外し】

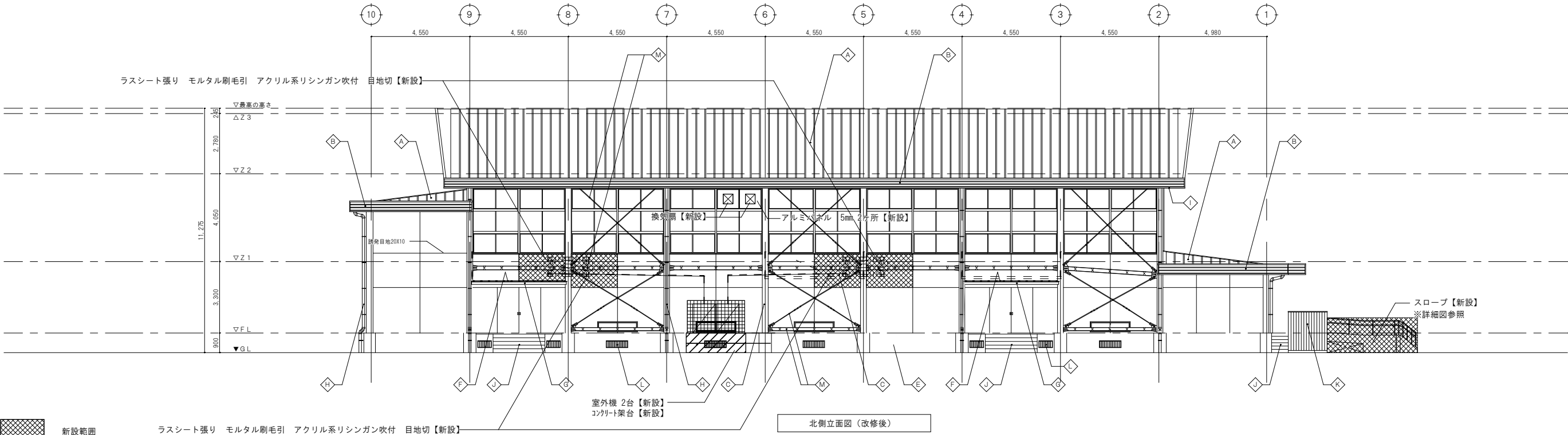
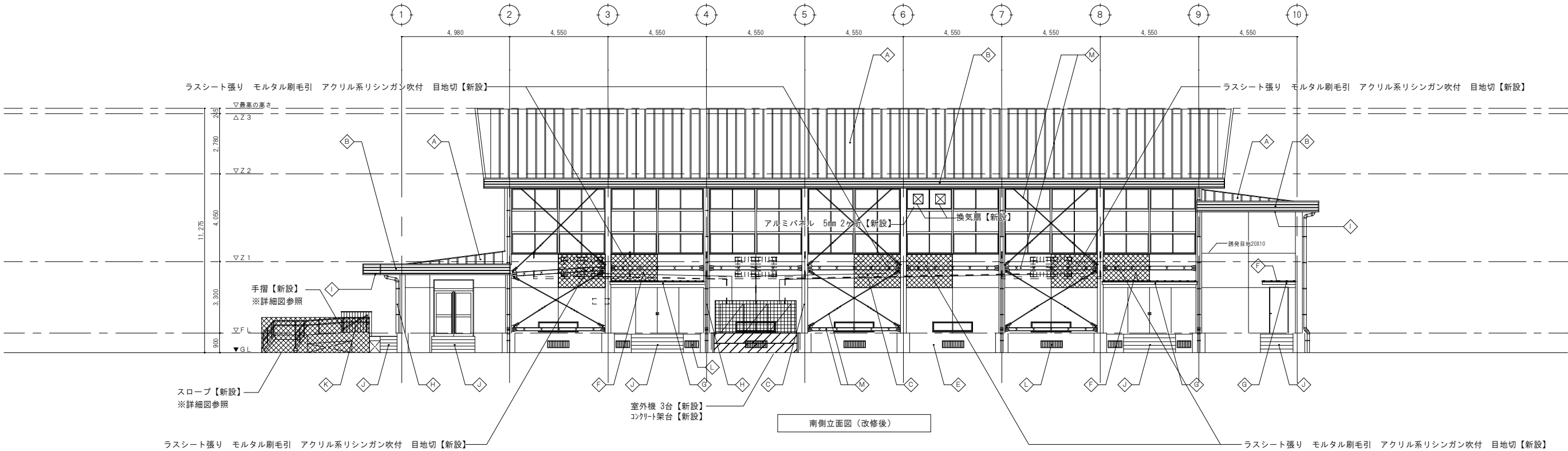
壁 撤去範囲



内部仕上表											
部位	記号	仕上	部位	記号	仕上	部位	記号	仕上	ガラス：全面クリーニングの上、飛散防止断熱フィルム【新設】 ／暗幕：34カ所【再取付】 壁 新設範囲 ／ 暗幕：20カ所【再取付】		
壁	A	現況	巾木	G	現況	建具	M	現況			
	B	現況		H	現況		N	現況			
	C	現況		I	現況		O	現況			
上部壁	D	現況	梁	J	現況	バスケットゴール	P	現況			
	E	現況		K	現況		Q	現況			
	F	現況		L	現況		R	現況			



日付	工事名称	図面No.
縮尺 A1:1/100 A3:1/200	豊春小学校外7校避難所空調設備設置工事 (宮川小学校) 図面名称 天井伏図 (改修前・改修後)	A-13



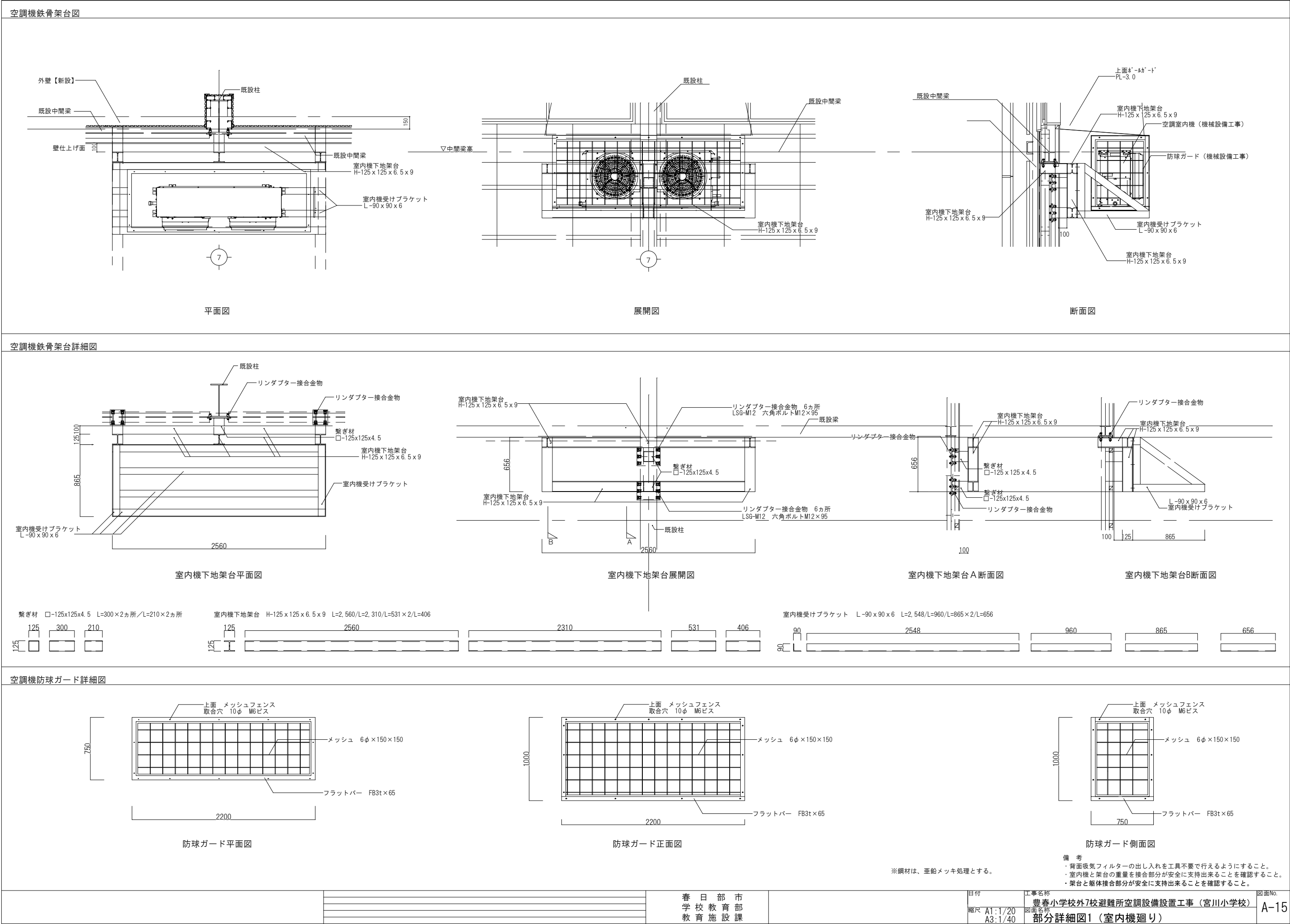
新設範囲

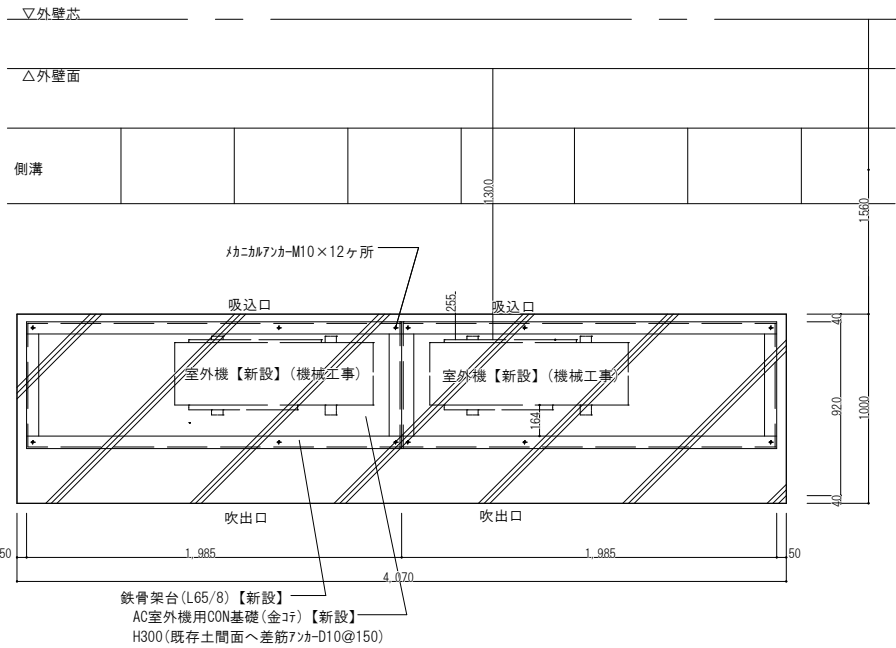
外部仕上表

部位	記号	仕上	部位	記号	仕上	部位	記号	仕上	部位	記号	仕上
屋根	A	カバー工法 アルミメッキ鋼板 t=0.6 (裏貼断熱材 ポリエチレンフォーム t=4) 【既存のまま】 防水: 圧縮空気混入超速硬化ウレタン防水 t=3 仕上: アクリルウレタン系高反射トップコート 【既存のまま】	外巾木	E	モルタル金網 (H=900) の上、樹脂モルタル薄塗り t=3 【既存のまま】	軒裏	I	珪酸カルシウム板 t=6 目隠し張り 外装薄塗材 E 【既存のまま】 軽量鉄骨天井下地25形 【既存のまま】	耐震補強部材	M	仕上: D P 塗装 【既存のまま】
幕板	B	角波鉄板 カラーガルバリウム鋼板 t=0.5 仕上: D P 塗装 【既存のまま】	庇 屋根	F	長尺カラー鉄板瓦葺き 仕上: D P 塗装 【既存のまま】	外部階段	J	モルタル金網仕上 腰壁・スロープ 【新設】 ノンスリップタイル 【既存のまま】	外壁	N	鉄骨胴縁: C-100×50×20×2.3 600@ 【既存のまま】
外壁(一般部)	C	ラスシート張り モルタル刷毛引 アクリル系リシンガン吹付 目地切 下塗材兼主材: 可とう形断熱性仕上塗材 上塗材: アクリルシリコン系 遮熱塗料	庇 幕板	G	カラー鉄板 t=0.5 仕上: D P 塗装 【既存のまま】	足洗い場 壁	K	仕上: 複層仕上塗材 E 笠木: トップコートのみ 【既存のまま】	防水立上	O	防水: 圧縮空気混入超速硬化ウレタン防水 仕上: アクリルウレタン系高反射トップコート 【既存のまま】
外壁(前震部)	D	ラスシート張り モルタル刷毛引 アクリル系リシンガン吹付 目地切 下塗材兼主材: 可とう形断熱性仕上塗材 上塗材: アクリルシリコン系 遮熱塗料	堅礎	H	カラーVP 100Φ 仕上: D P 塗装 支持金物 SUS製 【既存のまま】	床下換気口	L	仕上: D P 塗装 【既存のまま】	備 考		※ 外部建具は建具表参照

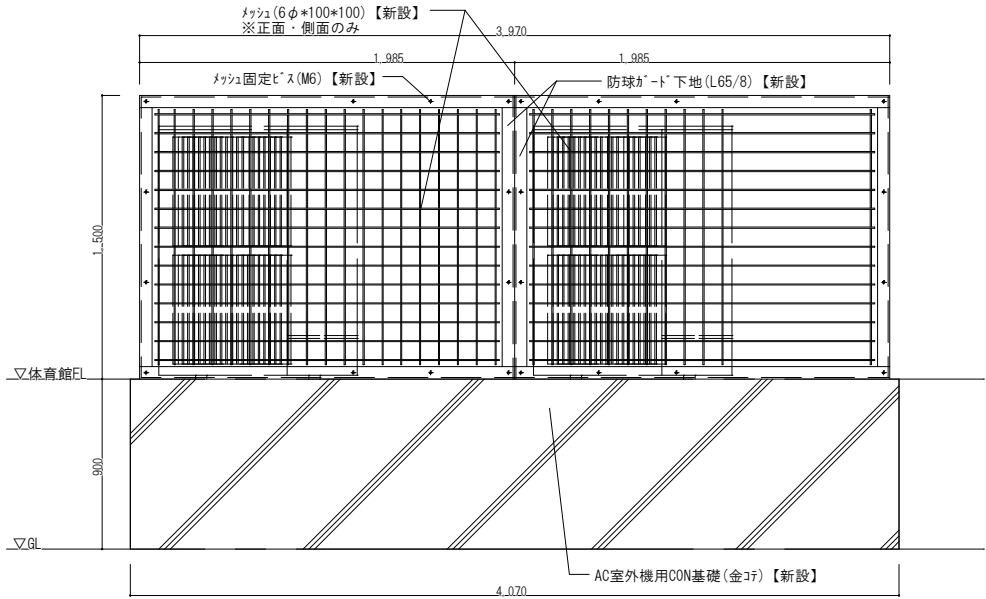
春日部市
学校教育課
教育施設課

日付 2024. 7. 1
縮尺 A1:1/100
A3:1/200
工事名称 豊春小学校外7校避難所空調設備設置工事 (宮川小学校)
図面名称 立面図2 (改修後)
図面No. A-14

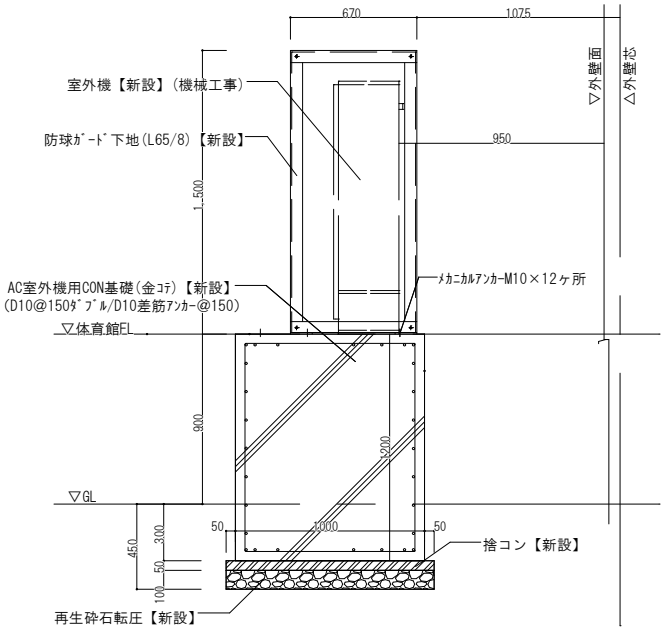




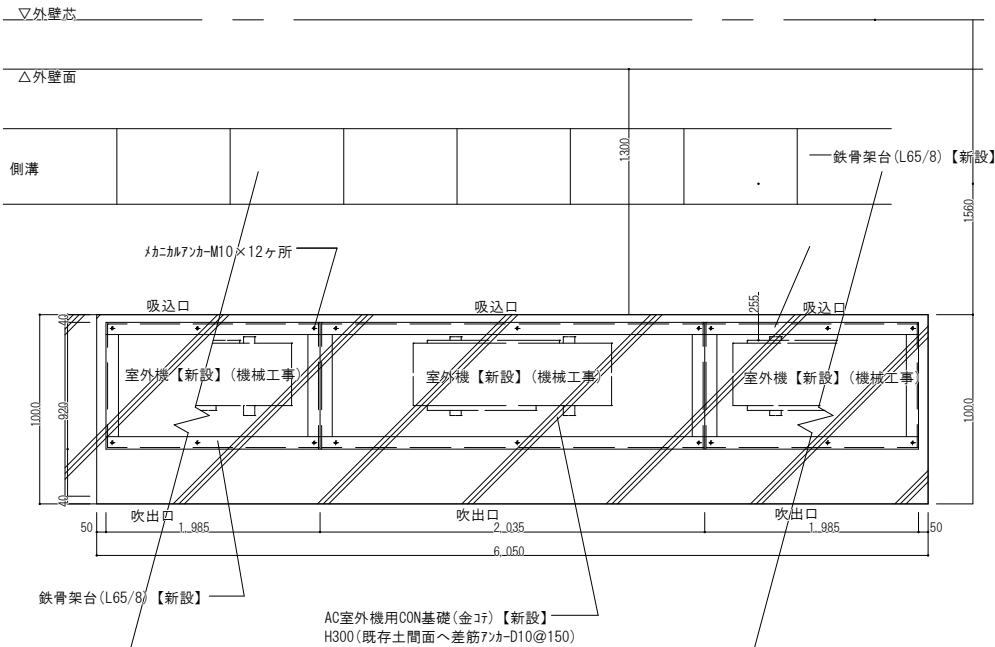
北側室外機平面図



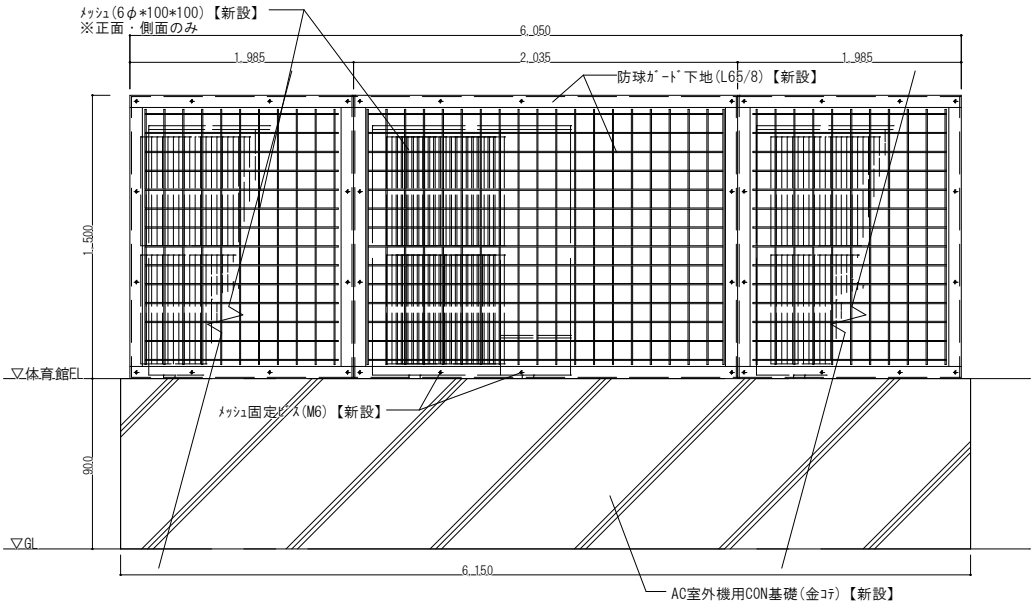
北側室外機正面図



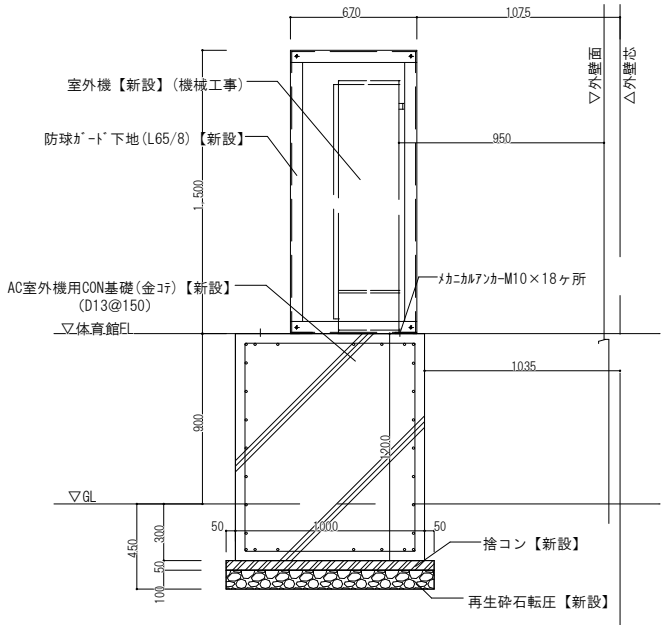
北側室外機断面図



南側室外機平面図

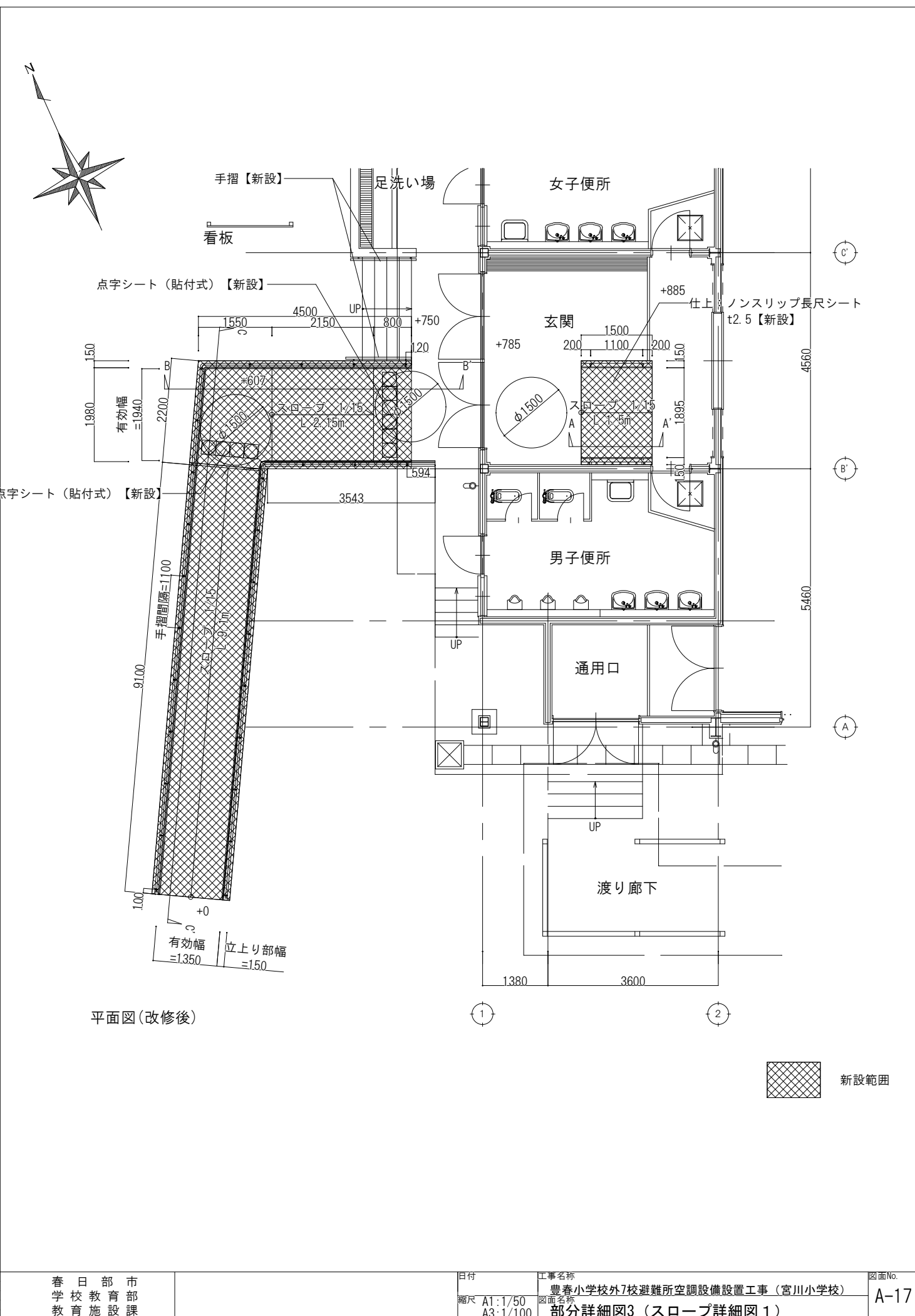


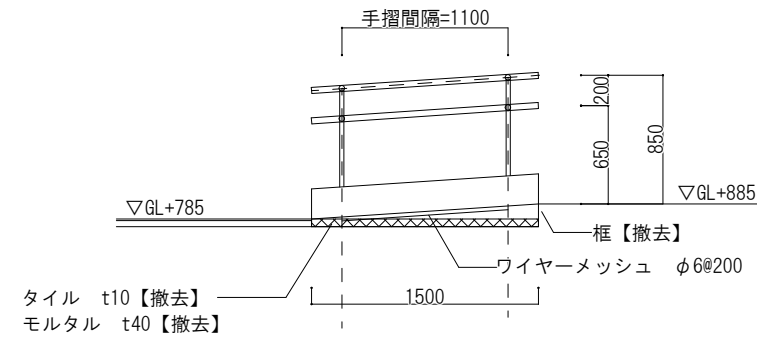
南側室外機正面図



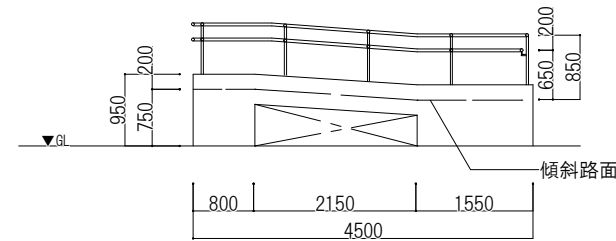
南側室外機断面図

※誘発目地については、2mピッチで施工すること
※鉄筋の定着長さについては、40dとすること

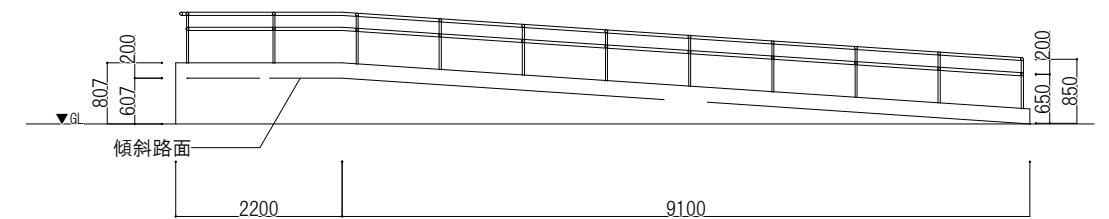




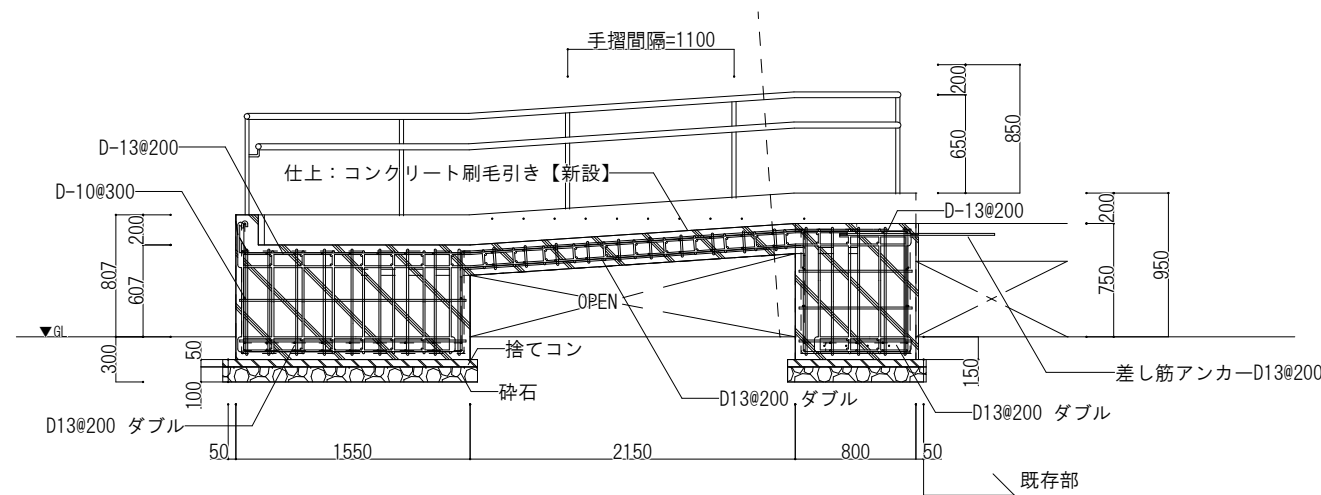
(屋内スロープ) A-A' 断面図
Scale=1:50 (A3)



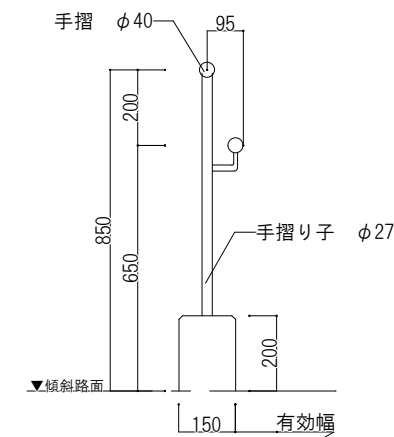
(屋外スロープ) 北立面図
Scale=1:100 (A3)



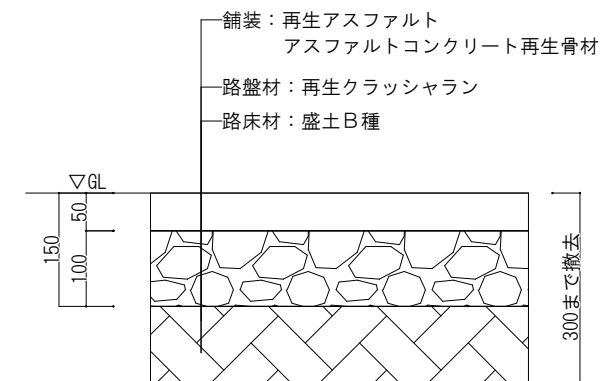
(屋外スロープ) 西立面図
Scale=1:100 (A3)



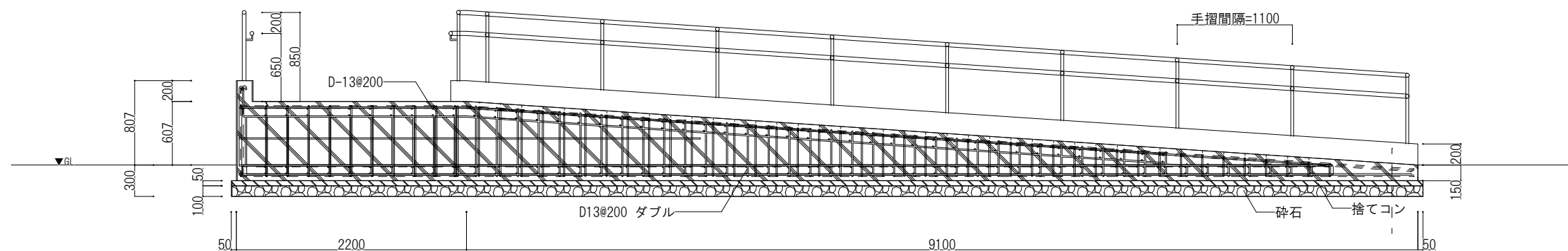
(屋外スロープ) B-B' 断面図
Scale=1:50 (A3)



手摺詳細図
Scale=1:20 (A3)

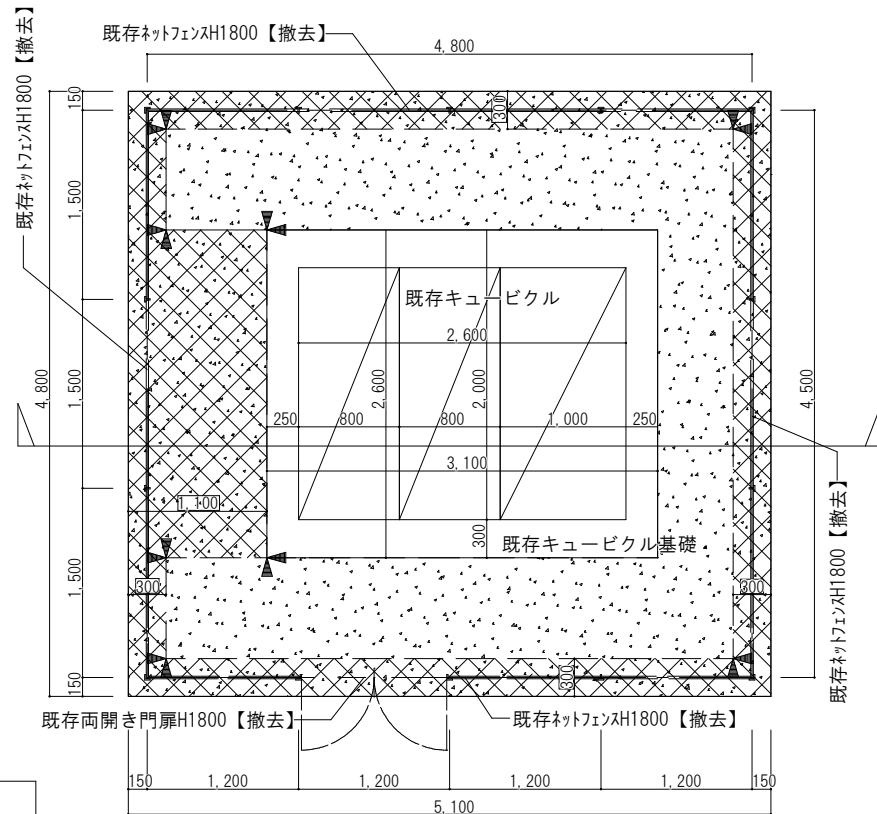
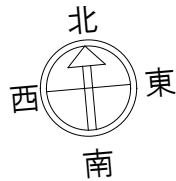


舗装 (撤去部) 断面詳細図
Scale=1:10 (A3)

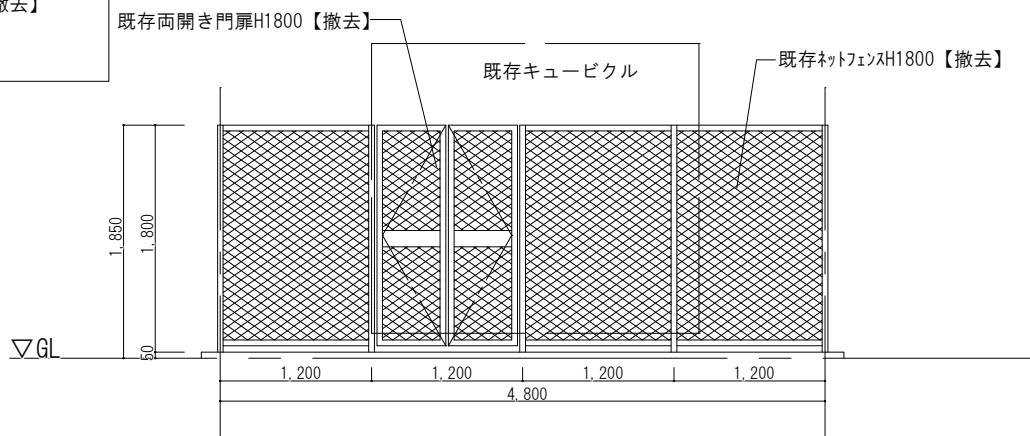


(屋外スロープ) C-C' 断面図
Scale=1:50 (A3)

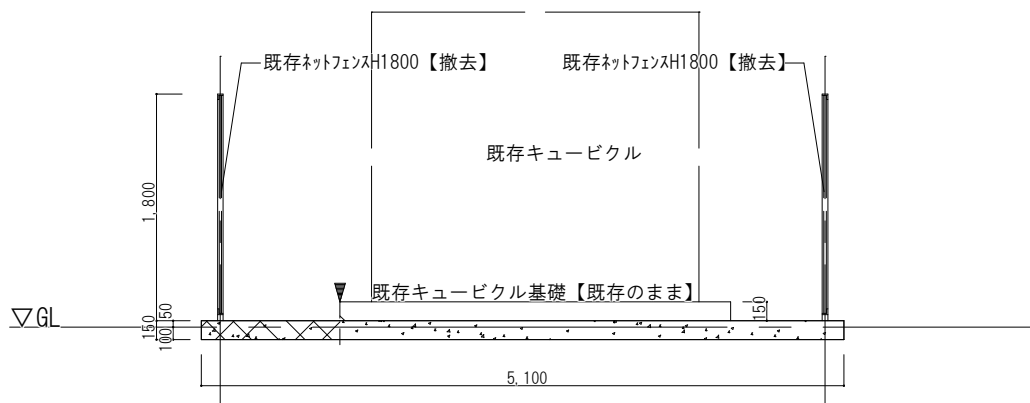
※誘発目地については、2mピッチで施工すること
※鉄筋の定着長さについては、40dとすること



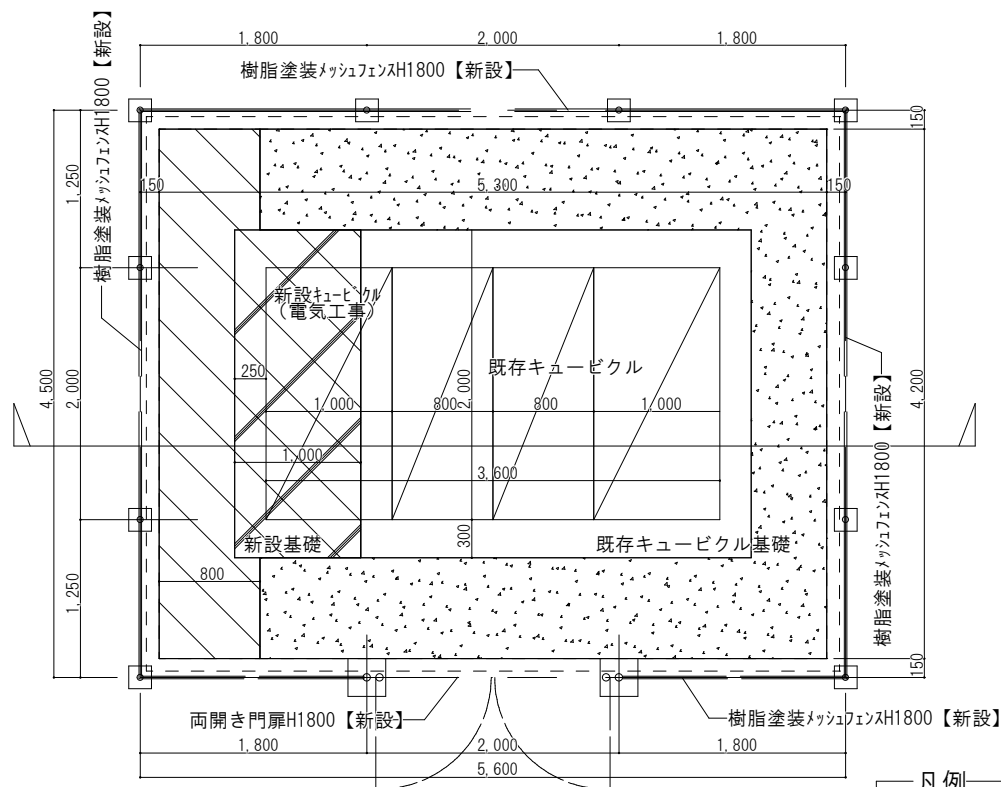
平面図（改修前）



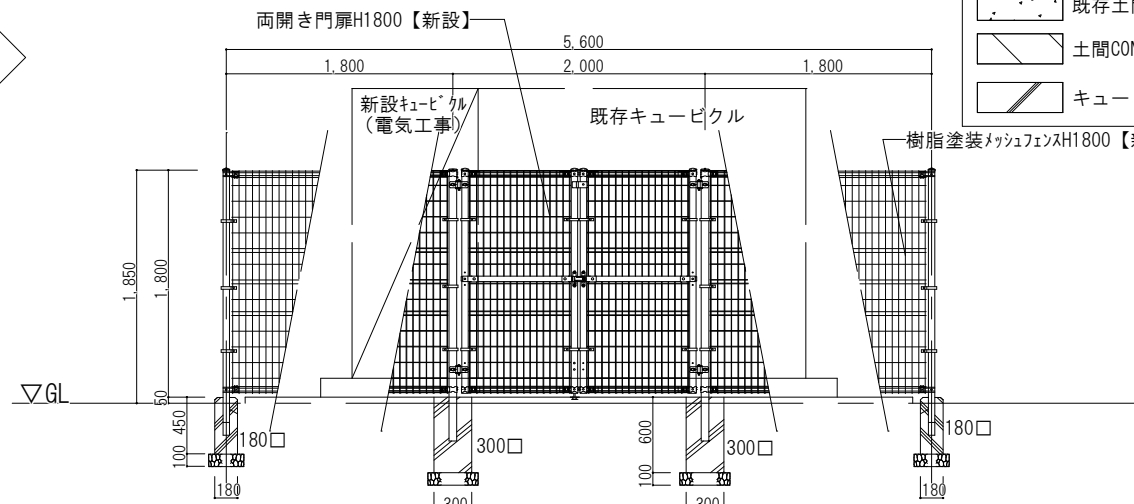
立面図（改修前）



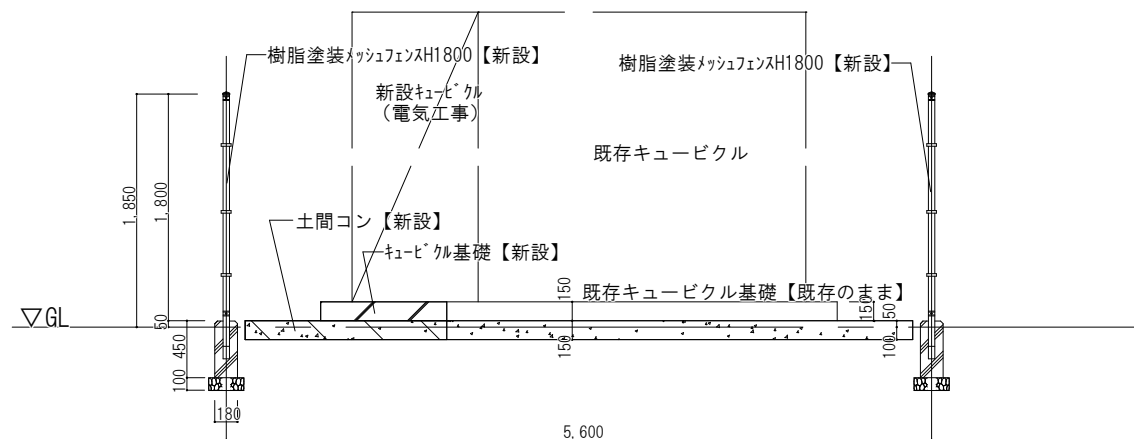
断面図（改修前）



平面図（改修後）



立面図（改修後）



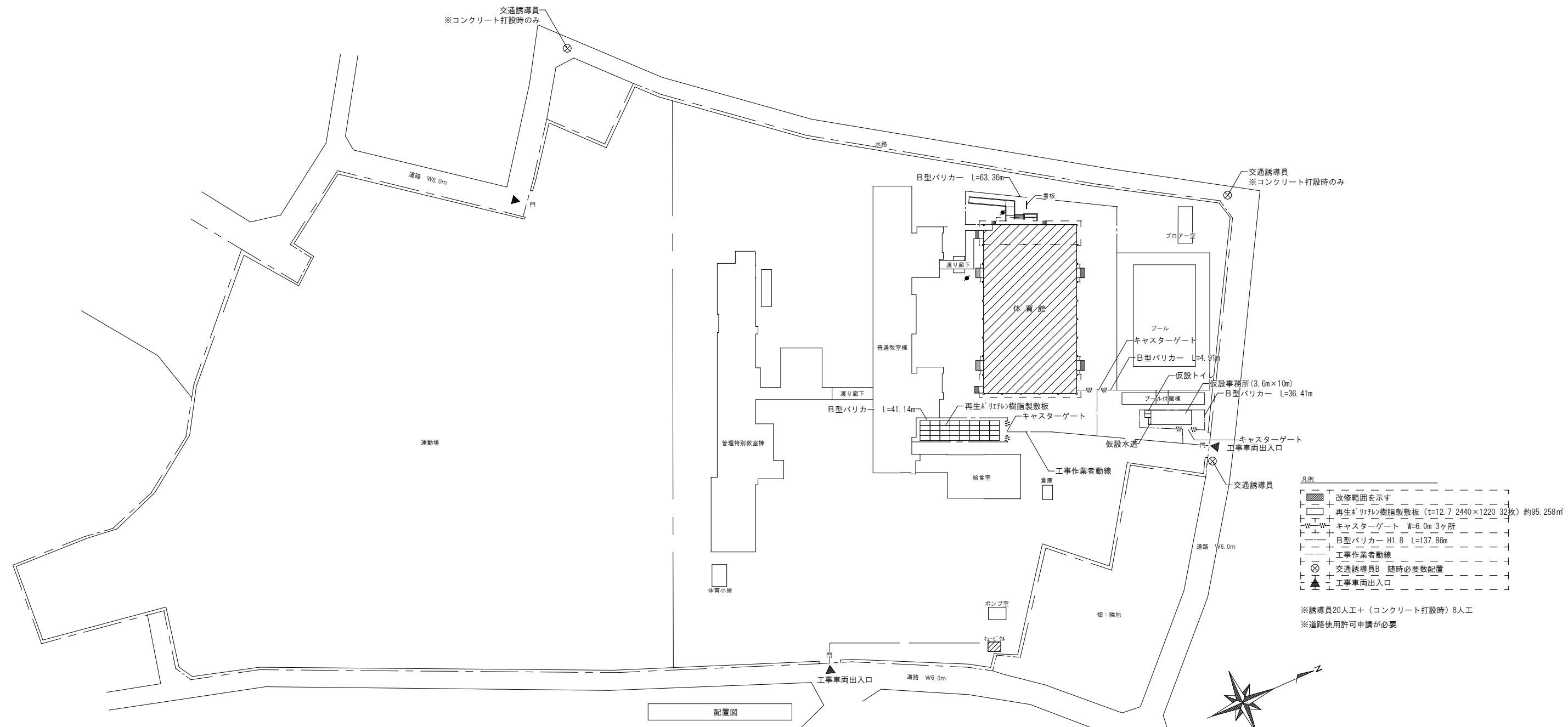
断面図（改修後）

凡例

- 既存キュービクル基礎【既存のまま】
- 既存土間CON t150【既存のまま】
- 既存土間CON t150【撤去】
- コンクリートカッターライン

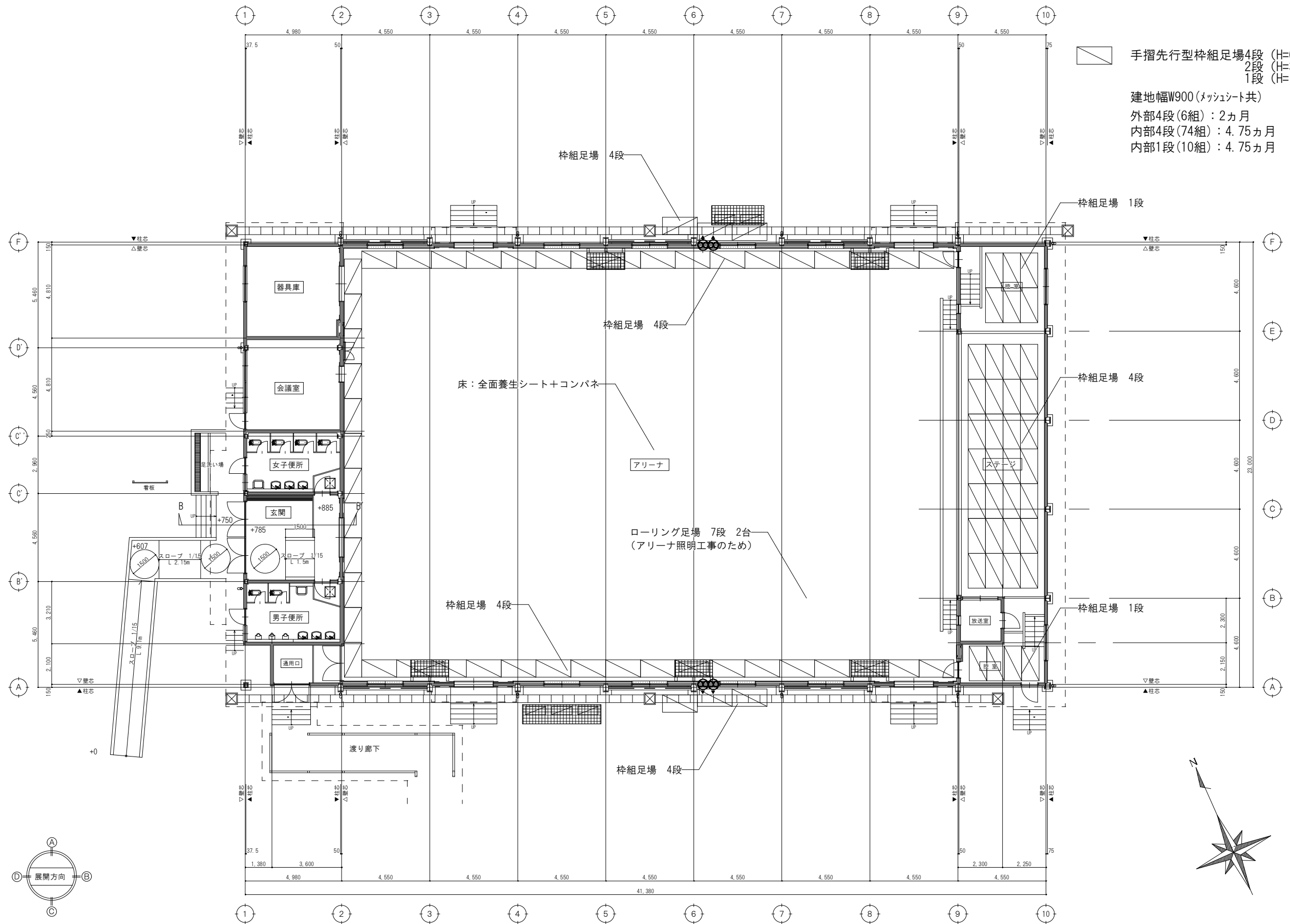
凡例

- 既存キュービクル基礎【既存のまま】
- 既存土間CON t150【既存のまま】
- 土間CON t150【新設】
- キュービクル基礎【新設】



配置図

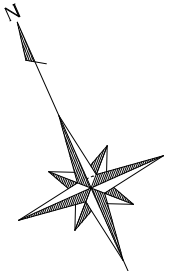
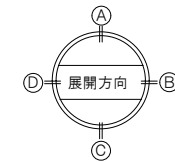
- 凡例
- 改修範囲を示す
 - 再生[※]リサイクル樹脂製敷板 (t=12.7 2440×1220 32枚) 約95.258㎡
 - キャスターゲート W=6.0m 3ヶ所
 - B型バリカー H1.8 L=137.86m
 - 工事業者動線
 - 交通誘導員B 随時必要数配置
 - 工事車両出入口
- ※誘導員20人工+ (コンクリート打設時) 8人工
※道路使用許可申請が必要

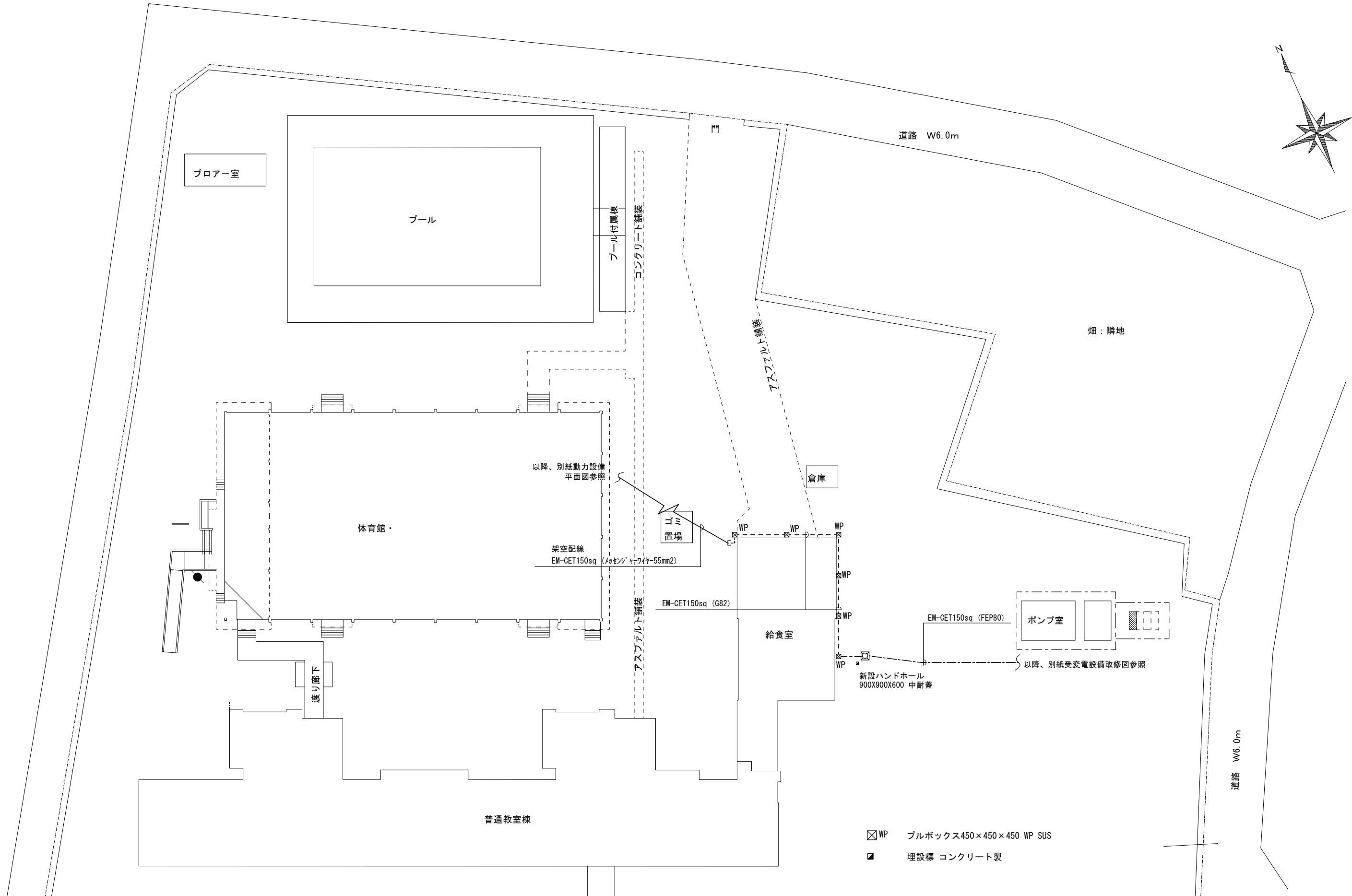


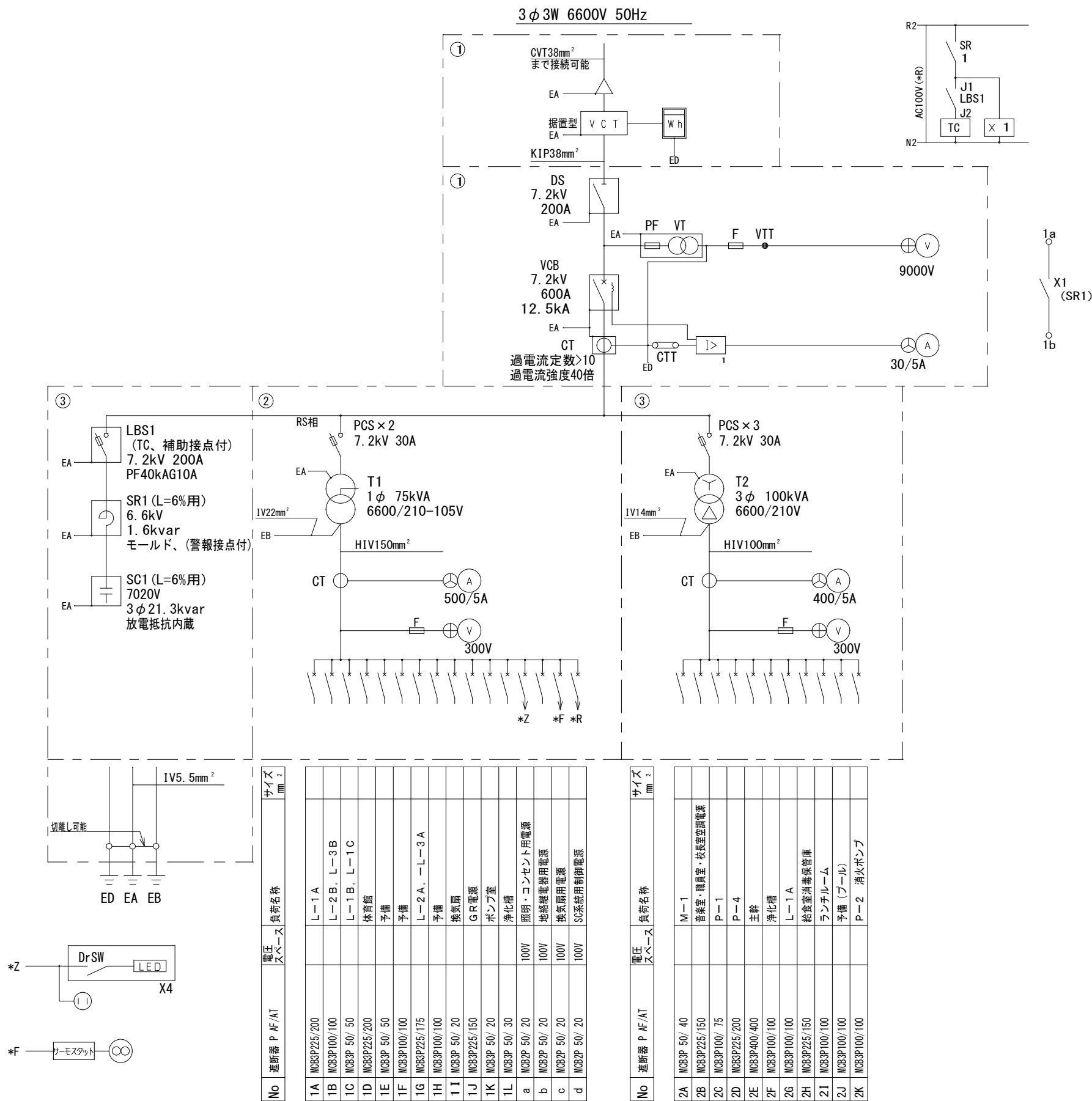
手摺先行型桷組足場4段 (H=6800)
2段 (H=3400)
1段 (H=1700)

建地幅W900 (メッシュシート共)
外部4段 (6組) : 2ヵ月
内部4段 (74組) : 4.75ヵ月
内部1段 (10組) : 4.75ヵ月

1 階 平 面 図 S=1/100





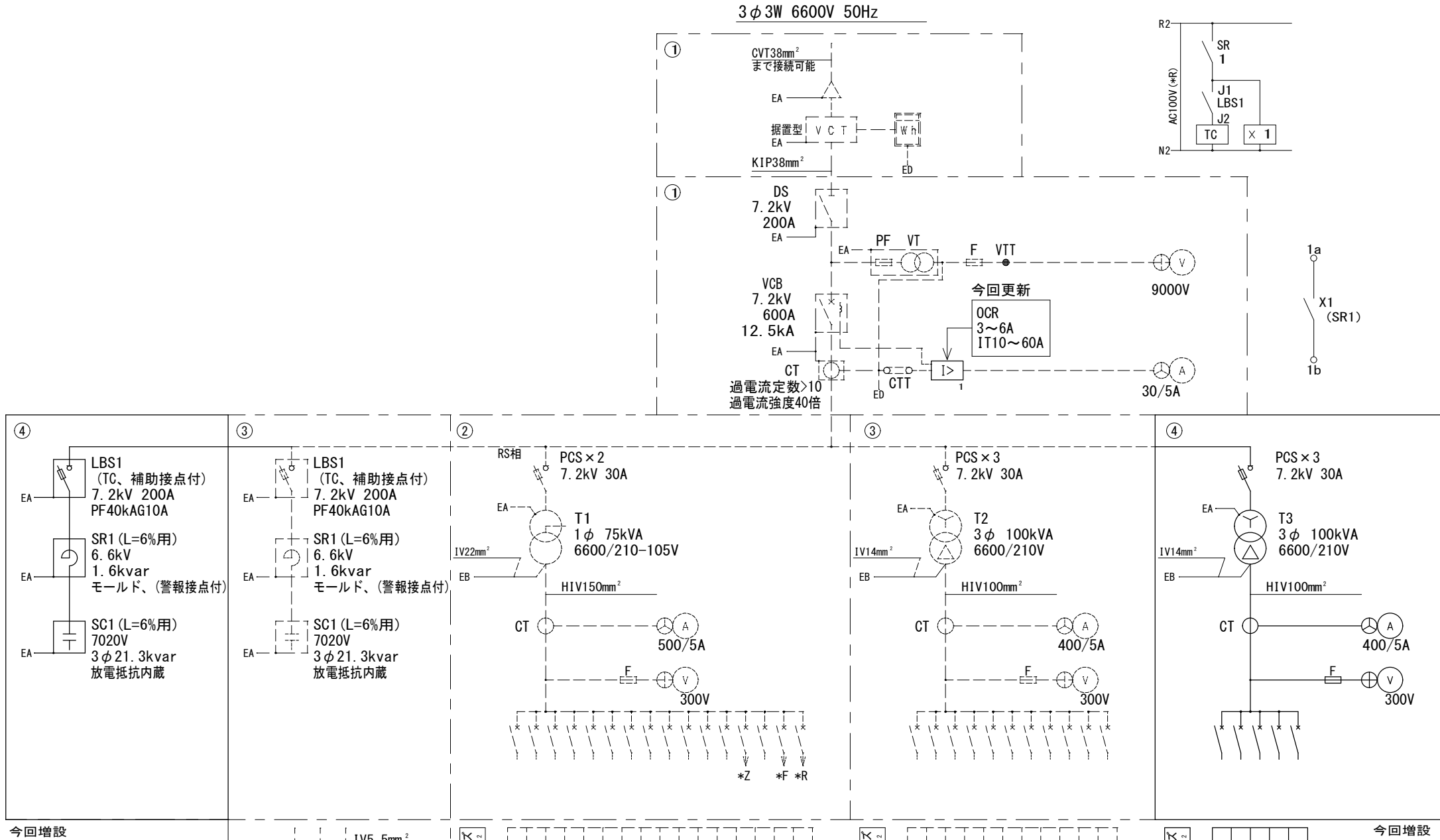


No	遮断器 P AF/AT	電圧 スベース	負荷名称	サイズ mm ²
----	-------------	------------	------	------------------------

1A	MC83P225/200		L-1 A	
1B	MC83P100/100		L-2 B, L-3 B	
1C	MC83P 50/ 50		L-1 B, L-1 C	
1D	MC83P225/200		体育館	
1E	MC83P 50/ 50		予備	
1F	MC83P100/100		予備	
1G	MC83P225/175		L-2 A, L-3 A	
1H	MC83P100/100		予備	
1I	MC83P 50/ 20		換気扇	
1J	MC83P225/150		GP電源	
1K	MC83P 50/ 20		ポンプ室	
1L	MC83P 50/ 30		浄化槽	
a	MC82P 50/ 20	100V	照明・コンセント用電源	
b	MC82P 50/ 20	100V	給湯機器用電源	
c	MC82P 50/ 20	100V	換気扇用電源	
d	MC82P 50/ 20	100V	SC系統用制御電源	

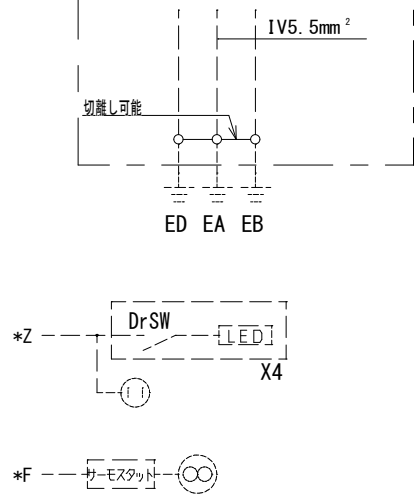
No	遮断器 P AF/AT	電圧 スベース	負荷名称	サイズ mm ²
----	-------------	------------	------	------------------------

2A	MC83P 50/ 40		M-1	
2B	MC83P225/150		音楽室・職員室・校長室空調電源	
2C	MC83P100/ 75		P-1	
2D	MC83P225/200		P-4	
2E	MC83P400/400		主幹	
2F	MC83P100/100		浄化槽	
2G	MC83P100/100		L-1 A	
2H	MC83P225/150		給湯室消毒保管庫	
2I	MC83P100/100		ランチルーム	
2J	MC83P100/100		予備 (ブール)	
2K	MC83P100/100		P-2 消火ポンプ	



今回増設

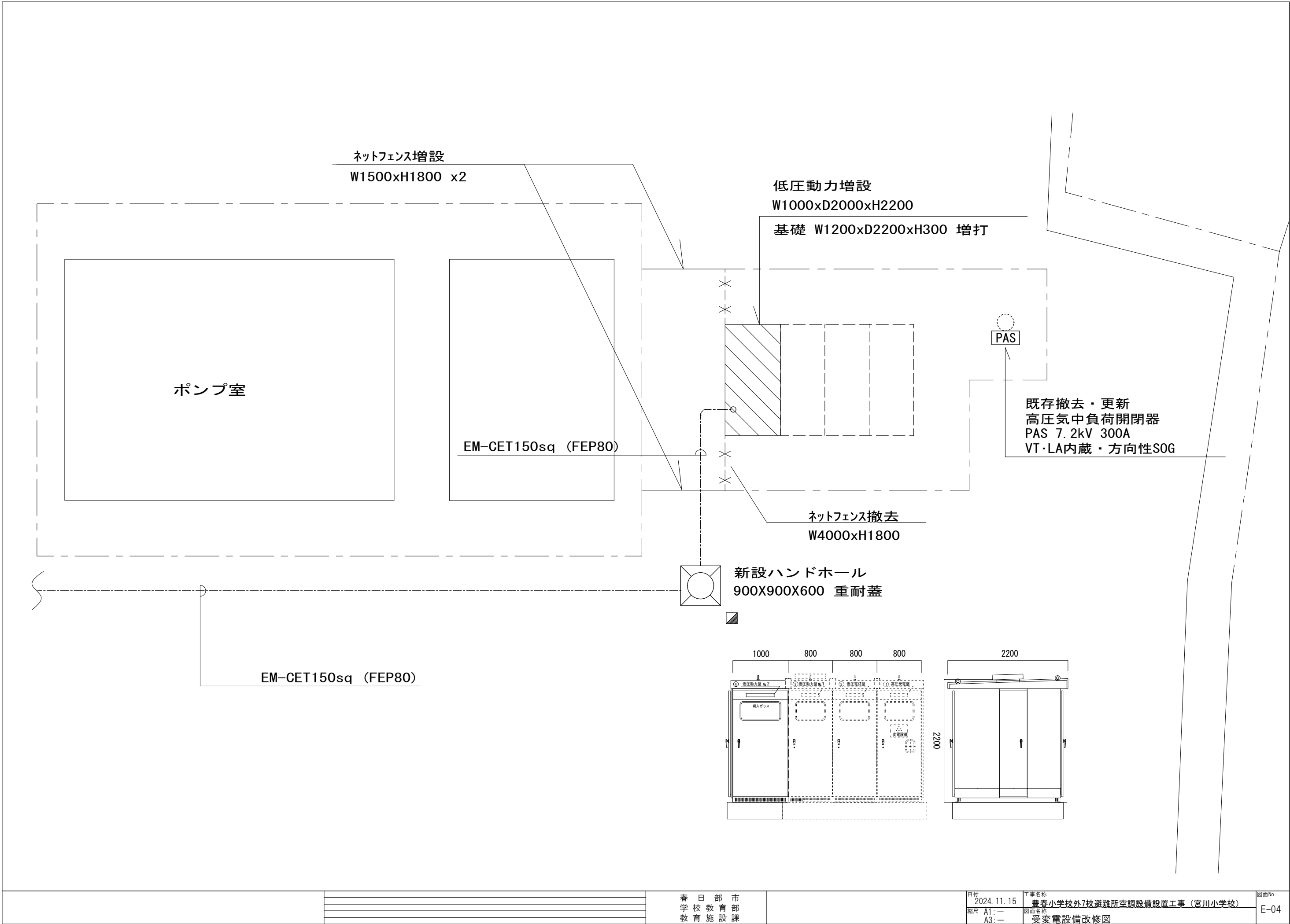
今回増設

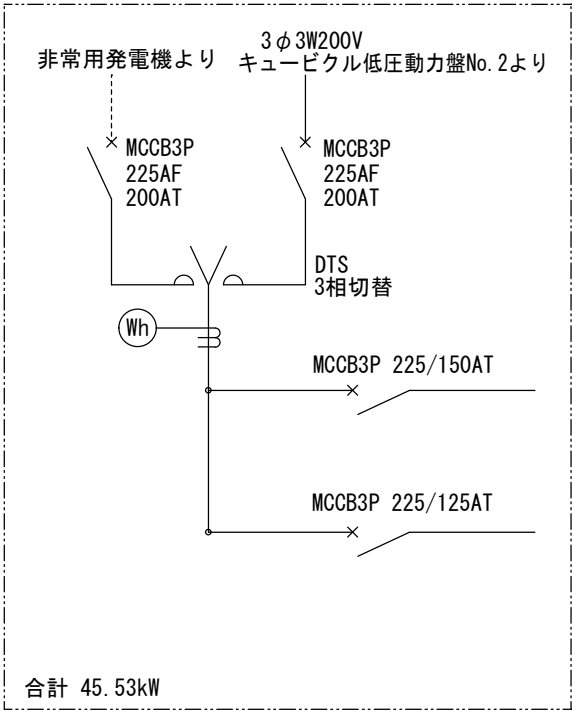


No	遮断器 P A/F/AT	電圧 スベース	負荷名称	サイズ mm ²
1A	MC83P225/200		L-1 A	
1B	MC83P100/100		L-2 B, L-3 B	
1C	MC83P 50/ 50		L-1 B, L-1 C	
1D	MC83P225/200		体育館	
1E	MC83P 50/ 50		予備	
1F	MC83P100/100		予備	
1G	MC83P225/175		L-2 A, L-3 A	
1H	MC83P100/100		予備	
1I	MC83P 50/ 20		換気扇	
1J	MC83P225/150		G P 電源	
1K	MC83P 50/ 20		ポンプ室	
1L	MC83P 50/ 30		浄化槽	
a	MC82P 50/ 20	100V	照明・コンセント用電源	
b	MC82P 50/ 20	100V	給湯器用電源	
c	MC82P 50/ 20	100V	換気扇用電源	
d	MC82P 50/ 20	100V	SC系統用制御電源	

No	遮断器 P A/F/AT	電圧 スベース	負荷名称	サイズ mm ²
2A	MC83P 50/ 40		M-1	
2B	MC83P225/150		音楽室・職員室・校長室空調電源	
2C	MC83P100/ 75		P-1	
2D	MC83P225/200		P-4	
2E	MC83P400/400		主幹	
2F	MC83P100/100		浄化槽	
2G	MC83P100/100		L-1 A	
2H	MC83P225/150		給食消毒保管庫	
2I	MC83P100/100		ランチルーム	
2J	MC83P100/100		予備 (プール)	
2K	MC83P100/100		P-2 消火ポンプ	

No	遮断器 P A/F/AT	電圧 スベース	負荷名称	サイズ mm ²
3A	MC83P225/125		P-1 特別教室用空調機	
3B	MC83P100/100		P-2 特別教室用空調機	
3C	MC83P225/225		P-M 体育館空調機	
3D	MC83P100/100		予備	
3E	MC83P 50/ 50		予備	

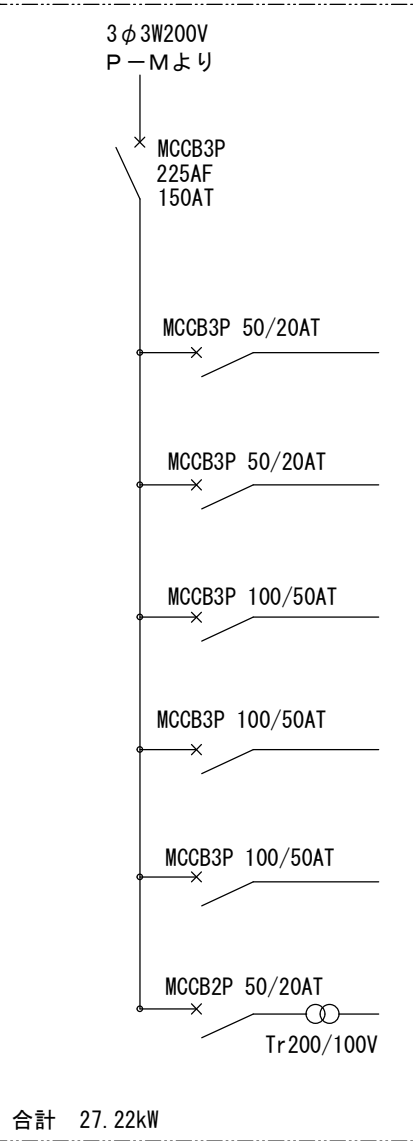




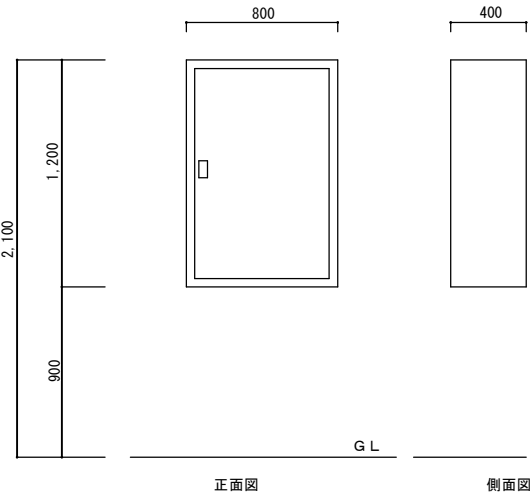
新設動力盤 **P-M**
(鋼製露出壁付自立防水型)

P-1	27.22kW
-----	---------

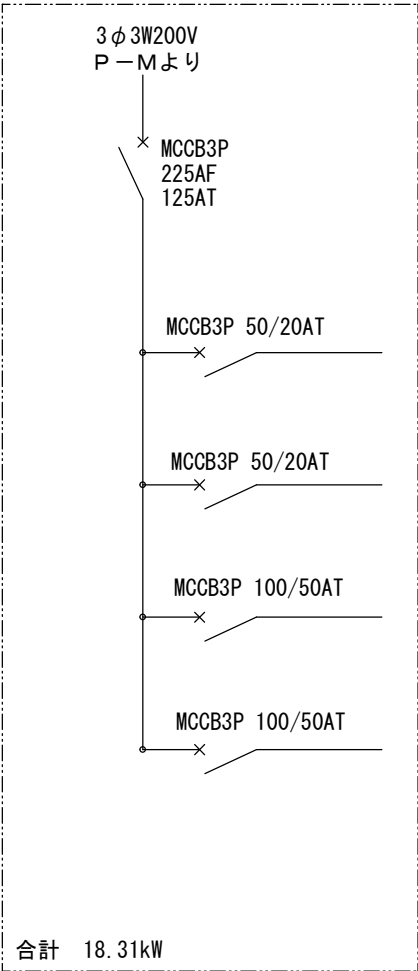
P-2	18.31kW
-----	---------



新設動力盤 **P-1**
(鋼製露出壁掛防水型)



動力盤(P-1)
(参考図)



新設動力盤 **P-2**
(鋼製露出壁掛防水型)

排気ファン	0.245kW
-------	---------

排気ファン	0.245kW
-------	---------

空調室外機 PAC-1	8.91kW
----------------	--------

空調室外機 PAC-2	8.91kW
----------------	--------

空調室外機 PAC-3	8.91kW
----------------	--------

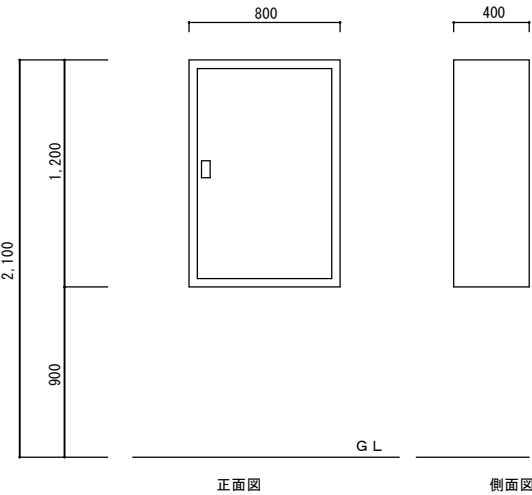
カードタイマー用電源 100V	
-----------------	--

排気ファン	0.245kW
-------	---------

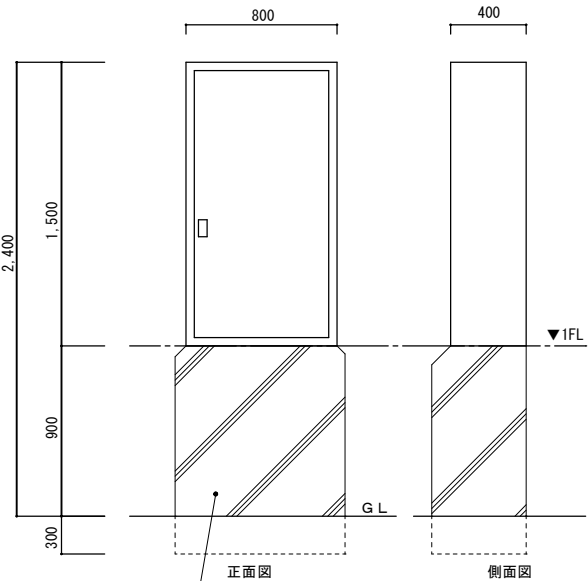
排気ファン	0.245kW
-------	---------

空調室外機 PAC-4	8.91kW
----------------	--------

空調室外機 PAC-5	8.91kW
----------------	--------



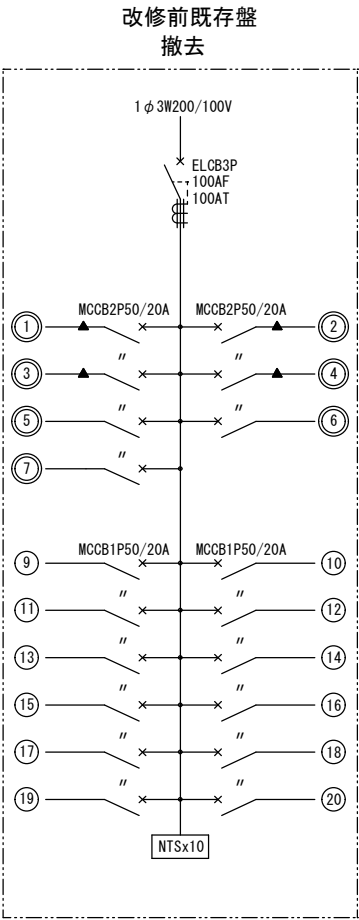
動力盤(P-2)
(参考図)



基礎 W900×H1200×D500
(建築工事)

動力盤(P-M)
(参考図)

負荷名称	電圧 (V)
アリーナ北側	200
アリーナ中央(水銀灯)	200
アリーナ中央(白熱, 水銀灯)	200
オートリフター	200
ステージ電灯 前側	100
外部灯	100
玄関、便所、会議室、器具庫	100
会議室、便所コンセント	100
ステージ前側コンセント	100
放送室コンセント	100

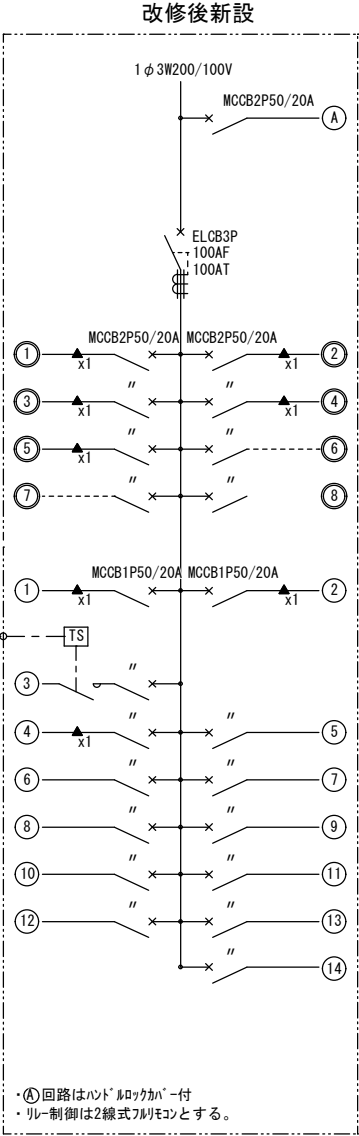


既設電灯分電盤 (L-1)
(銅製露出型)

・外形寸法 W450xH730xD120

電圧 (V)	負荷名称
200	アリーナ中央(白熱)
200	アリーナ南側
200	予備
100	ステージ電灯 後側
100	(不明)
100	控室 放送室
100	アリーナコンセント
100	ステージコンセント
100	アリーナコンセント

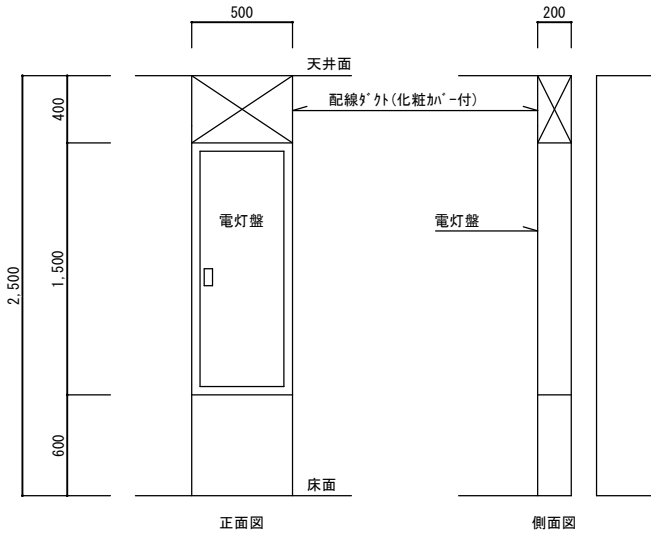
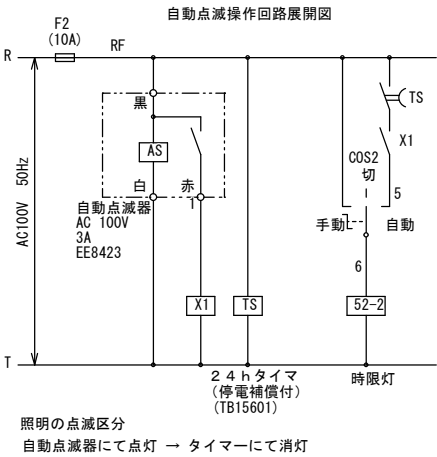
負荷名称	電圧 (V)
アリーナ北側	200
アリーナ中央	200
アリーナ南側	200
予備	200
ステージ電灯 前側	100
外部照明 (時限灯)	100
ステージ電灯 スポットライト	100
玄関、便所、会議室、器具庫照明	100
会議室、便所コンセント	100
ステージ前側コンセント	100
放送室コンセント	100



電灯分電盤 (L-1)
(銅製露出型)

電圧 (V)	負荷名称
100	誘導灯

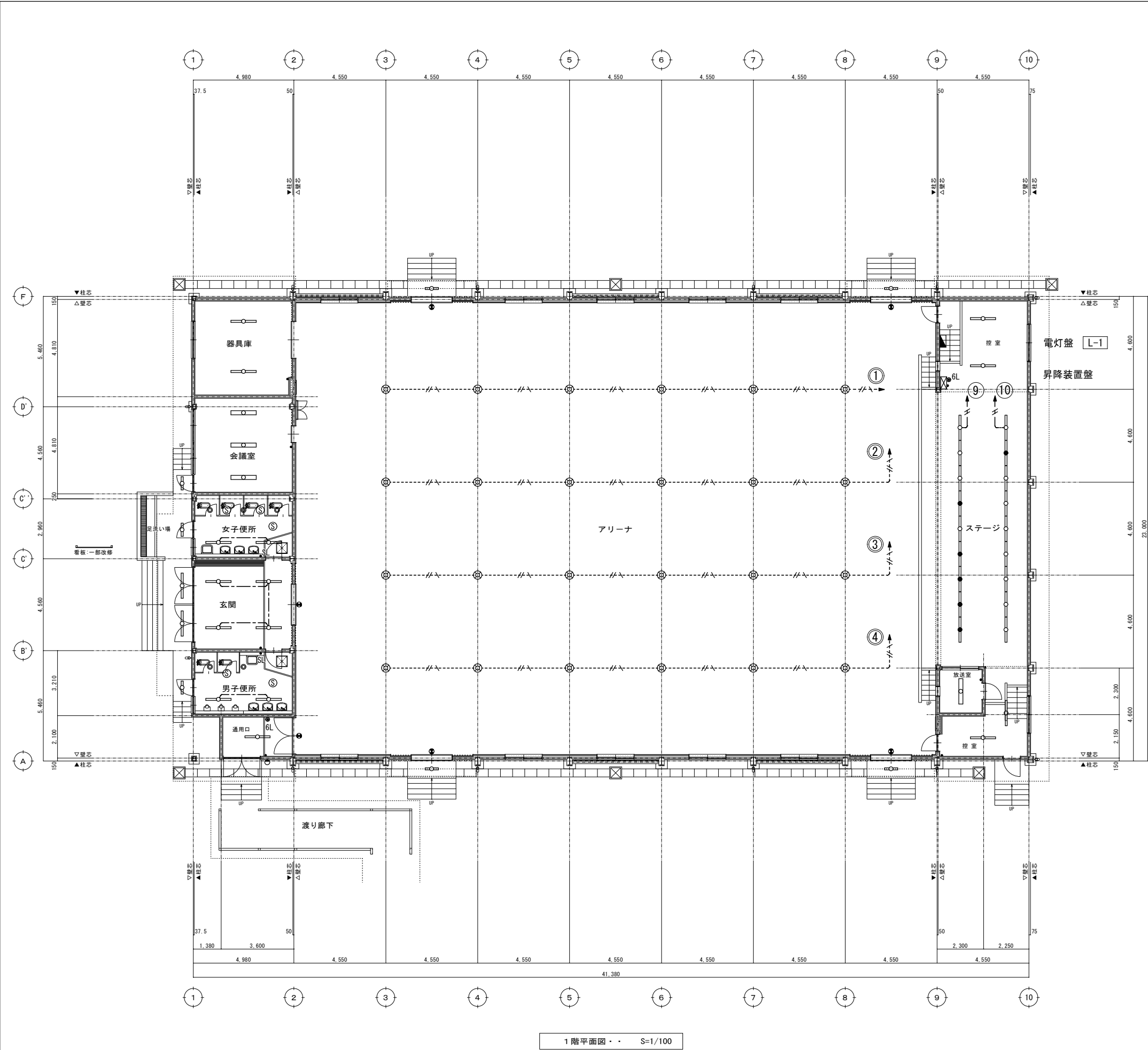
電圧 (V)	負荷名称
200	アリーナ北側2列目
200	アリーナ南側2列目
200	予備
200	予備
100	ステージ電灯 後側
100	(不明)
100	控室、放送室照明
100	アリーナコンセント
100	ステージコンセント
100	アリーナコンセント
100	リモコントランス



電灯盤 (L-1) 取付図
(参考図)

春日部市
学校教育課
教育施設課

日付 2024. 11. 15	工事名称 豊春小学校外7校避難所空調設備設置工事 (宮川小学校)	図面No. E-07
縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	図面名称 分電盤図	



撤去リスト				
	ブラケット	アクリル板	20W-1	8台
	スポットライト			5台
	直付 V型		40W-1	9台
	直付 V型		40W-2	4台
	直付 反射笠		40W-1	16台
	直付 反射笠		40W-1 ガード付	2台
	高天井器具		250W 昇降装置付	24台
	埋込		40W-1	2台
	直付 V型		LED	2台
	直付 反射笠		LED	4台
	避難口誘導灯		LED避難口誘導灯片面 C級 壁付形	6台
	電灯盤 L-1		100Ax1, 50Ax1, 20Ax19	1台
	昇降装置盤		4回路	1台
	埋込スイッチ		1P 15A×1	7個
	リモコンスイッチ		6L	2個

既存配線器具リスト			
	センサ用切換スイッチ		2個
	人感センサー		5個

1. 特記以外の配管配線は下記に準拠する。
- VVF1. 6-2C
 - VVF2. 0-2C
 - IV2. 0x3 (C19)
 - 天井内いんぺい
 - 床埋込
 - 露出配管
2. 特記事項
- ・撤去にあたっては改修図を十分参照のうえ撤去を行うこと。

凡 例

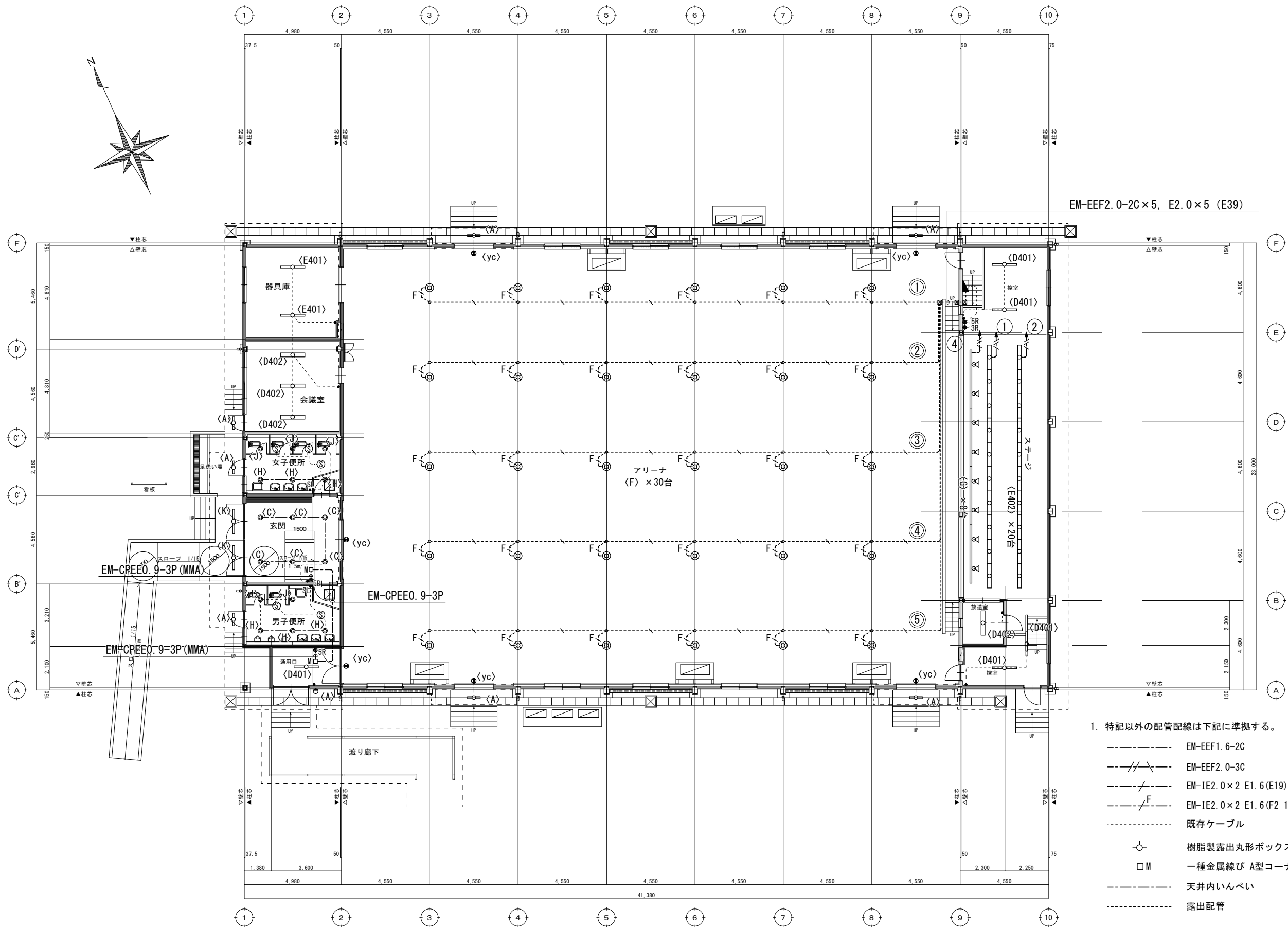
（配電図シンボル）	
記 名	名 称
	（幹線動力設備）
	電灯分電盤
	動力分電盤・開閉器盤
	電灯動力混合盤
	開閉器箱
	ブルボックス、ジャンクションボックス
	接地極（D種）
	（電灯コンセント設備）
	1灯用、2灯用
	同上埋込型
	ブラケット
	ダウンライト
	ブラケット
	スポットライト
	非難口誘導灯
•	スイッチ（1P15A）
•SL	センサー用操作スイッチ
•3 •4	スイッチ（3路及び4路）
	リモコンスイッチ
•AS	自動点滅器
	配管配線（天井いんべい、コロガシ）
	配管配線（天井いんべい、配管）
	配管配線（床埋込み）
	配管配線（露出）
	配管配線（露出、メタルモール配管）
	配管配線（地中埋設）
	配管配線（立上り、立下り、素通し）

注記）図面に記載なき記号は除外とする。

照明器具姿図

（新設姿図）							
＜A＞	LEDウォールライト (FL20Wx1灯相当) 防雨形 8台	＜B＞	LED防犯灯 (HF100W相当) 防雨型	＜C＞	LEDダウンライト (FHT42W相当) 6台	＜D401＞	直付LED灯 (FL40Wx1灯相当) 5台
公共施設型番	LBF3MP/RP-2-06	参考メーカ型番	東芝ライテック：LEDK-70928N-LS9	公共施設型番	LRS1-17	公共施設型番	LSS9-4-23
＜D402＞	直付LED灯 (FL40Wx2灯相当) 4台	＜E401＞	直付LED灯 (FL40Wx1灯相当) 反射笠付型 2台	＜F＞	高天井LED器具 (MH400W相当)（広角） 30台	＜G＞	LEDスポットライト (H1D70W相当) 広角タイプ 8台
公共施設型番	LSS9-4-37	参考メーカ型番	東芝ライテック：LEKT415203N-LS9	公共施設型番	LSR2W-200	参考メーカ型番	東芝ライテック：LEDS-30113WWK-LS1
		器具ガード 共 落下防止ワイヤ 共		拡散カバー付 下面ガード 落下防止ワイヤ 共			
＜H＞	LEDダウンライト (FHT32W相当) 6台	＜J＞	LEDダウンライト (1L60W相当) 5台	＜K＞	埋込LED灯 (FL40Wx1灯相当) 防雨形 2台	＜yc＞	LED避難口誘導灯片面 C級 壁付形 6台
公共施設型番	LRS1-13	公共施設型番	LRS1-05	公共施設型番	LRS10MP/RP-4-21	公共施設型番	SH1-FBF20-G + 器具ガード* (東芝ライテック FBG-104)
						器具ガード付	

注記）上記器具型番は参考とする。



1階平面図

1. 特記以外の配管配線は下記に準拠する。
- EM-EF1. 6-2C
 - EM-EF2. 0-3C
 - EM-IE2. 0×2 E1. 6 (E19)
 - EM-IE2. 0×2 E1. 6 (F2 17#)
 - 既存ケーブル
 - 樹脂製露出丸形ボックス E19 3方出
 - 一種金属線び A型コーナボックス
 - 天井内いんべい
 - 露出配管

2. 特記事項
- 金属管の支持間隔は2000mm以内とする。
ただしボックスから出たところは300mm以内とする。

空調機器表

記号	名称	仕様	定格消費電力(参考)	数量	場所	備考
PAC-1	空冷式パナソニック型空調和機	型式: 177空調機 能力: 冷房能力:25.00kw、暖房能力:28.00kw 冷媒配管:(12.7-25.4)φ	(3φ200V)	1	717-ナ	KBHP-ZP280-S1 相当品
PAC-2		付属品: ワイヤードリモコン、吹出ホース、吸込口カバー、防球カバー、777ワイヤードリモコン、防露カバー(室外機用)、他必要付属品一式共	冷房定格: 8.91kw 暖房定格: 7.30kw	1		室外電源: 50A
PAC-3				1		
PAC-4				1		
PAC-5				1		
	空調制御装置	カードタイマー連動 リモコン用意付きBOX、設定共 ワイヤードカード3,000枚(設定済)共				
	【特記事項】	空冷式パナソニック型空調和機の冷房能力、暖房能力、及び定格消費電力は、標準条件時(JIS B 8616)の能力を示す。 冷房時(室内側27℃DB、19℃WB、外気温度35℃DB)、暖房時(室内側20℃DB、外気温度7℃DB、6℃WB) 室内外機間の冷媒配管が、片道5m・水平時とする。				

特記事項

- 新規貫通孔の穴開けを行う場合は、非破壊検査の上、ワイヤードカードを用いる。
- 室内外連絡配線は、冷媒配管共巻きとする。
室内外連絡配線は、EM-EEF2.0mm-30+EM-EEF2.0mm-20+EM-IE2.0mmとする。
ワイヤード配線は、EM-CEE1.25mm-20とする。

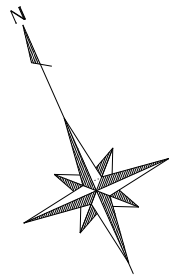
凡例

記号	仕様
□	新設配管支持架台を示す
□	新設壁貫通口を示す

冷媒管口径

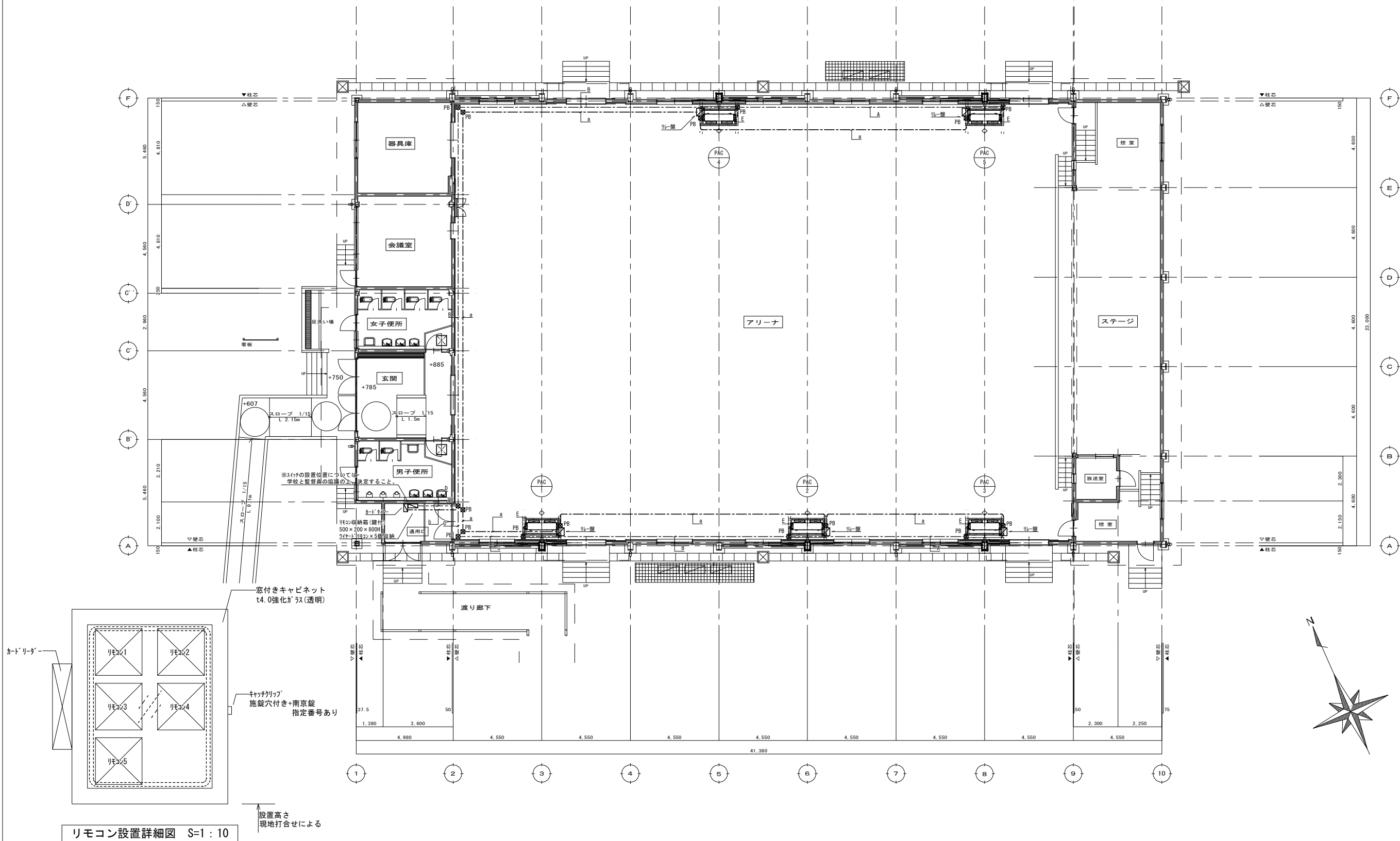
記号	液管	ガス管
(a)	φ12.7	φ25.4

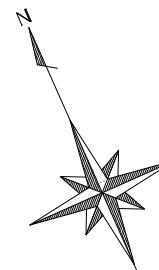
注)冷媒管は、ノカにより異なる。



凡 例	
■	PB プレート 200×200×200 錆止塗装 指定色仕上
- A -	EM-OEE 1.25mm2 -2C E25 屋内露出
- B -	EM-OEE 1.25mm2 -2C×2 E25 屋内露出
- C -	EM-OEE 1.25mm2 -2C×3 E25 屋内露出
- D -	EM-OEE 1.25mm2 -2C×5 天井内
- E -	EM-OEE 1.25mm2 -2C F2-24 屋内露出
- a -	EM-OE 2.0mm2 -2C E25 屋内露出
- b -	EM-OE 2.0mm2 -2C 天井内

注、屋内露出電線管及びプレートは塗装を行うこととする。





1) 機器記号に24hを印した換気機器は24時間換気機器を示し、そのスイッチには24時間換気のスイッチの旨を表示する。